

那須町地域公共交通網形成計画 (案)

平成29年3月

那 須 町

目次

1. 計画策定の概要	1
1.1 計画策定の趣旨	1
1.2 計画の区域	2
1.3 計画の期間	2
2. 地域概況	3
2.1 地域の現状と将来動向	3
2.2 交通の現状	8
3. 上位関連計画	31
3.1 第7次那須町振興計画	32
3.2 まち・ひと・しごと創生・那須町総合戦略	33
3.3 那須町都市計画マスタープラン	34
3.4 八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン	35
3.5 那須地域定住自立圏共生ビジョン	36
3.6 前計画の検証	38
4. 公共交通の利用実態や利用ニーズ	41
4.1 調査概要	41
4.2 町民アンケート調査（平成23年度）	42
4.3 町民アンケート調査（平成28年度）	43
4.4 町内バスOD調査	51
4.5 町内バス利用者アンケート調査	54
4.6 デマンド型乗合交通登録者アンケート調査	55
4.7 タクシー利用者調査	60
5. 地域公共交通に係る問題・課題と基本方針	62
5.1 個別調査結果からわかる現状と問題	62
5.2 課題の整理結果	63
5.3 基本方針	64
6. 計画目標と計画事業	65
6.1 施策体系	65
6.2 目標1 「くらしの足」として利用できる有機的な公共交通網の構築	67
6.3 目標2 町民及び来訪者の交流促進による公共交通利用者数の増加	71
6.4 目標3 利用の「きっかけづくり」による公共交通利用者数の増加	74
6.5 スケジュール	78
7. 進行管理	79
7.1 進行管理体制	79
7.2 進行管理内容	79

1. 計画策定の概要

1.1 計画策定の趣旨

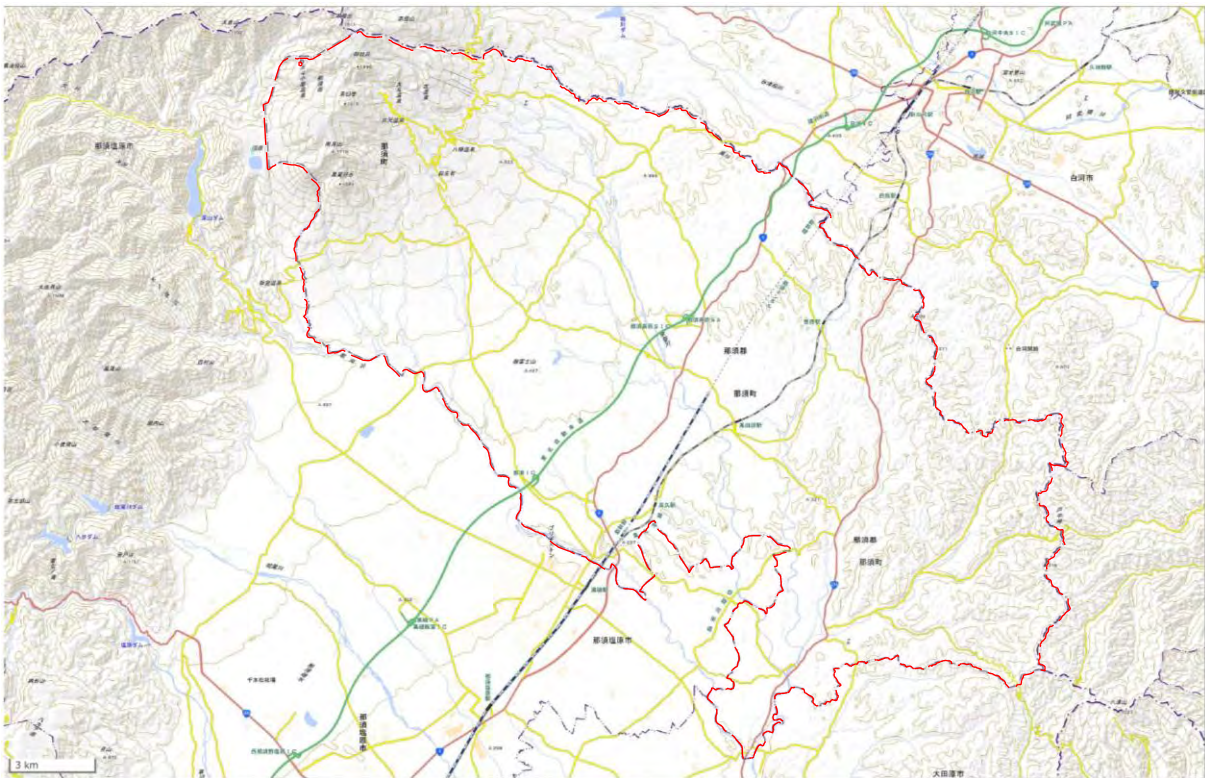
町は平成 24 年度に「生活交通に利用できる公共交通体系の構築」「地域特性に応じた運行形態の設定」「他の公共移送サービスとの連携による効率化の実現」を基本方針とした「那須町地域公共交通総合連携計画」を策定し、目標達成に向けた取り組みを行ってきました。平成 25 年 10 月には那須町デマンド型乗合交通の実証運行を開始し、平成 28 年 4 月からは本格運行に移行しました。現在は乗合輸送機関である鉄道、民間路線バス、町民バス、観光周遊シャトルバス及び個別輸送機関であるタクシーとともに、本町における地域公共交通網を形成しています。

このような中、国では、平成 25 年 12 月に交通政策基本法を公布・施行し、平成 26 年 5 月には、地域公共交通の活性化再生法の一部改正を公布し、同年 11 月に施行しました。これは、市町村等による地域公共交通網形成計画の作成、同計画に定められた地域公共交通再編事業を実施するための地域公共交通再編実施計画の作成、同事業の実施に関する道路運送法等の特例等について定めたもので、公共交通ネットワークについて、「コンパクトシティ+ネットワーク」を推進するため、まちづくりとの連携、広域性確保などに配慮した的確な計画を策定した際には、その計画推進に国の一層の支援を受けることが可能となりました。

そこで町では、急速に進む少子高齢化や人口減少への対応など、持続可能でまちづくりと一体となった公共交通体系を構築することを目的とし、「那須町地域公共交通網形成計画」を策定し、国等の支援を受けながら、計画的な公共交通網整備を進めることとしました。

1.2 計画の区域

計画区域は那須町内全域とします。ただし、町外の拠点へのアクセスに関しては町外も対象とします。



出典：国土地理院ホームページより作成

1.3 計画の期間

計画期間は5ヶ年間（平成29年度～平成33年度）とします。

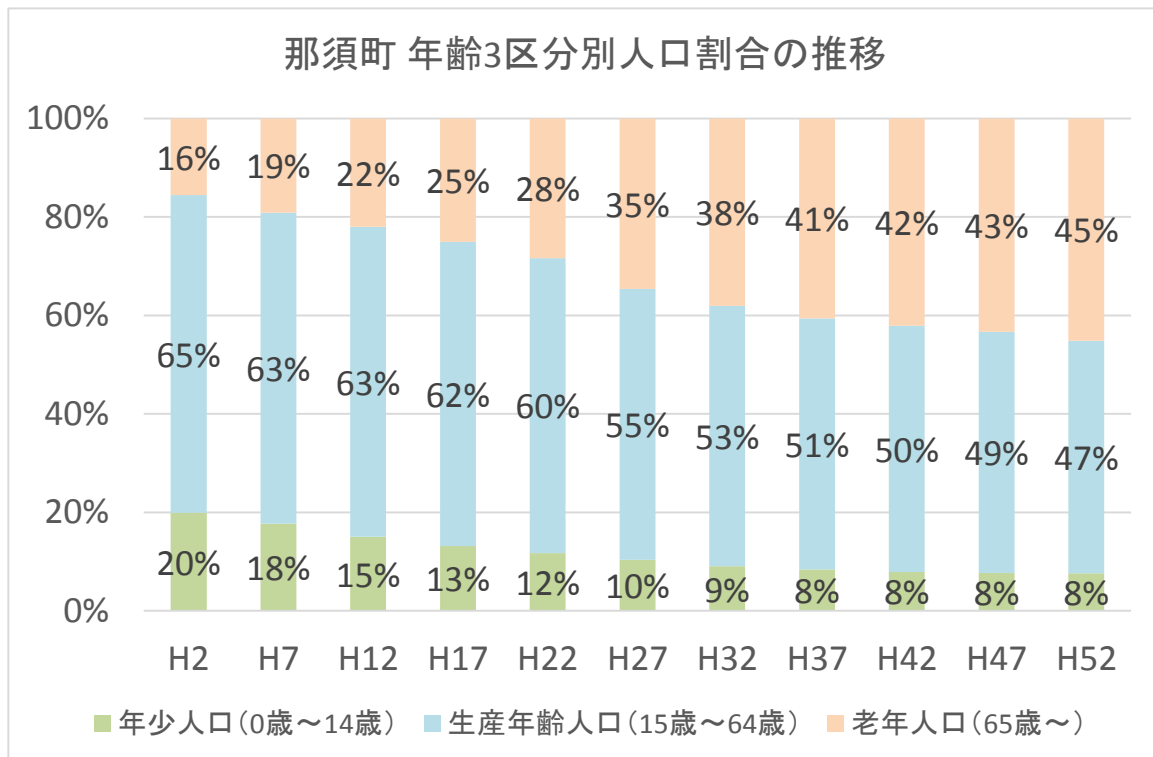
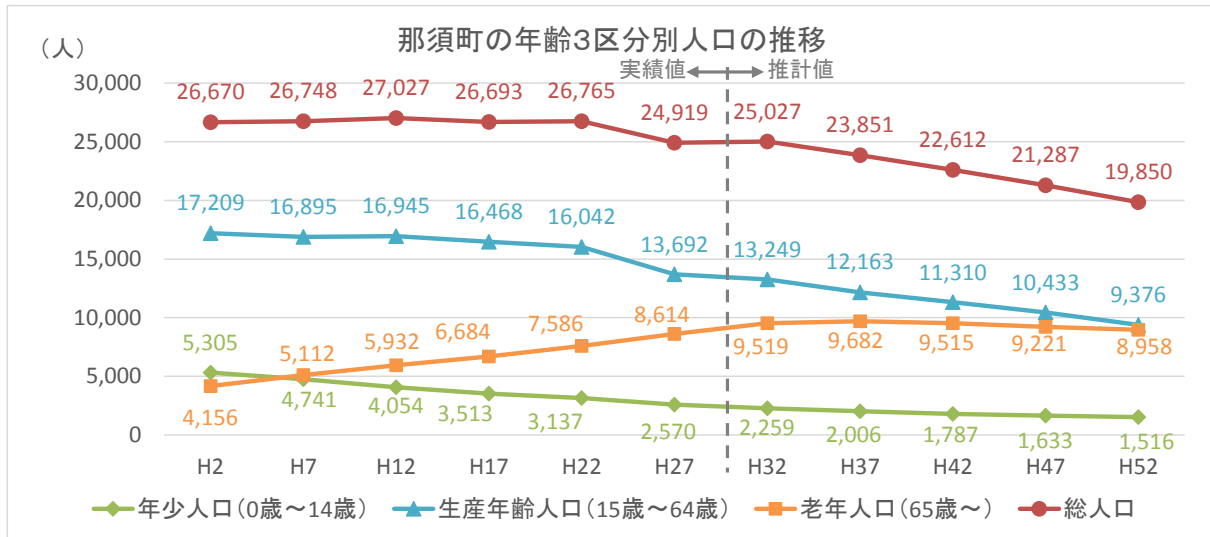
2. 地域概況

2.1 地域の現状と将来動向

2.1.1 人口

本町の人口は、平成52年（2040年）の予測値が19,850人と、平成27年（2015年）の実績値24,919人と比べて約5,000人（約20%）減少します。

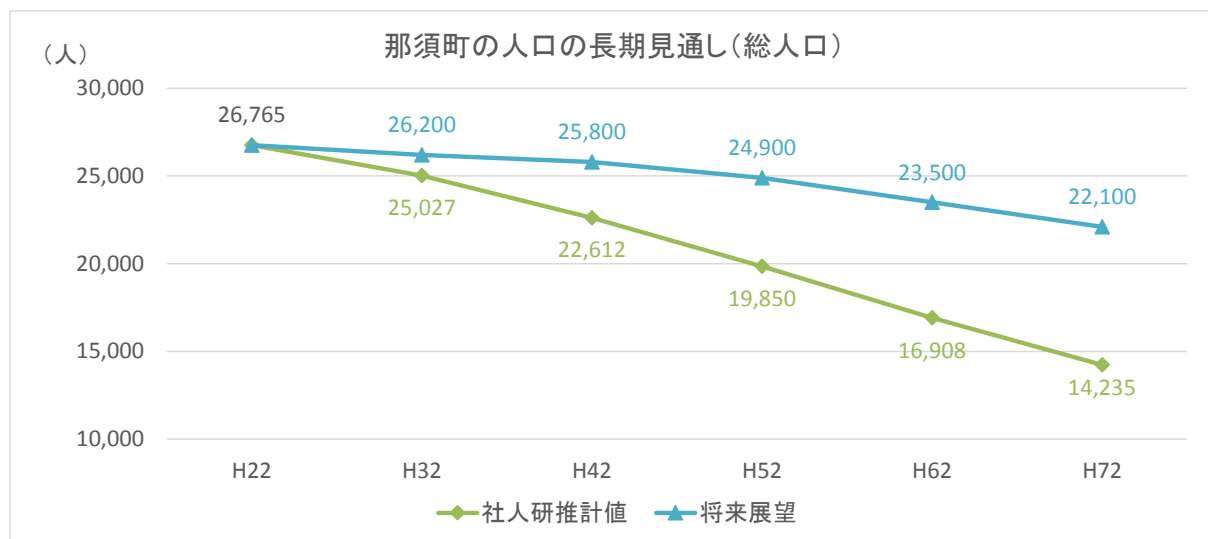
また、平成52年（2040年）の高齢化率が約45%、年少人口は8%と予測されており、少子高齢化が進みます。



データ：国勢調査、那須町人口ビジョン（国立社会保障・人口問題研究所推計）より作成

参考) 人口の将来展望

那須町人口ビジョンでは、合計特殊出生率や純移動率の改善によって、平成 72 年（2060 年）に人口規模 22,100 人の維持を長期的目標に掲げています。



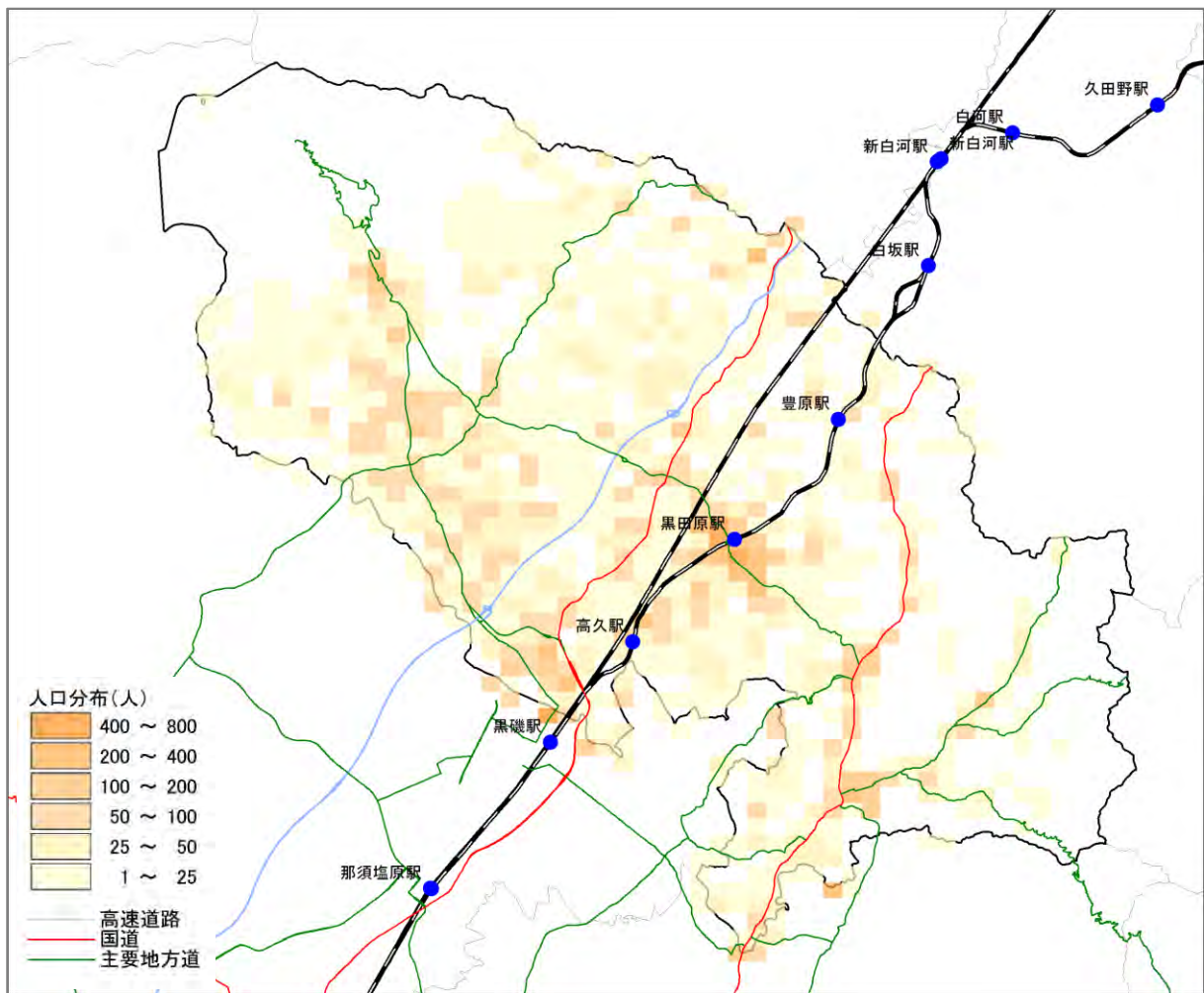
出典：那須町人口ビジョン（平成 27 年 10 月）より作成

※社人研：国立社会保障・人口問題研究所

2.1.2 人口分布

本町全体の人口密度は 66.9 人/km²（平成 27 年国勢調査）となっています。

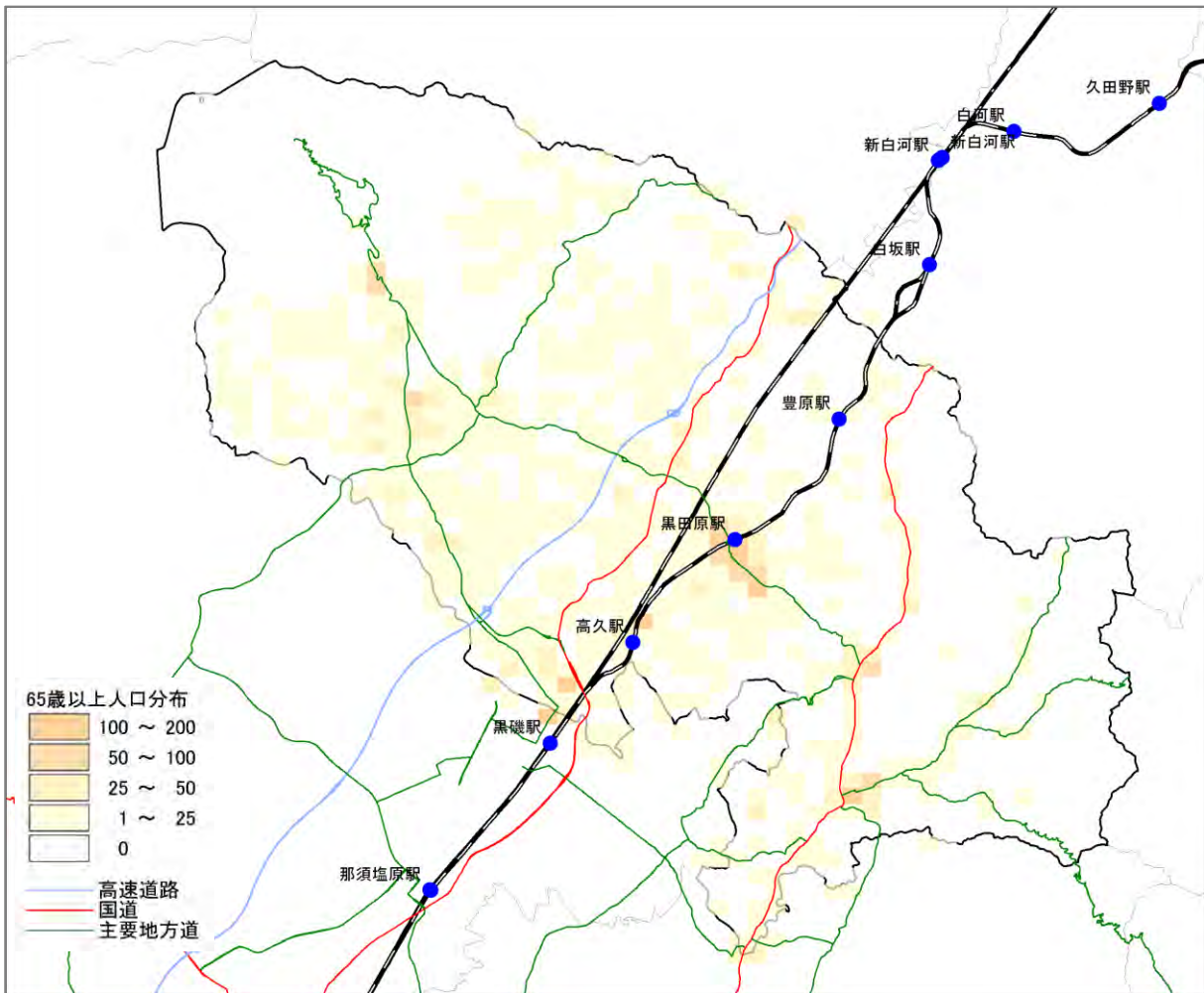
黒田原駅周辺の地域では人口が集中していますが、人口集中地区に該当する地域はみられません。



データ：平成 22 年国勢調査（500m メッシュ）より作成

2.1.3 65歳以上人口分布

人口分布と同様に、黒田原駅周辺を中心に65歳以上人口が集中している地区がみられます。

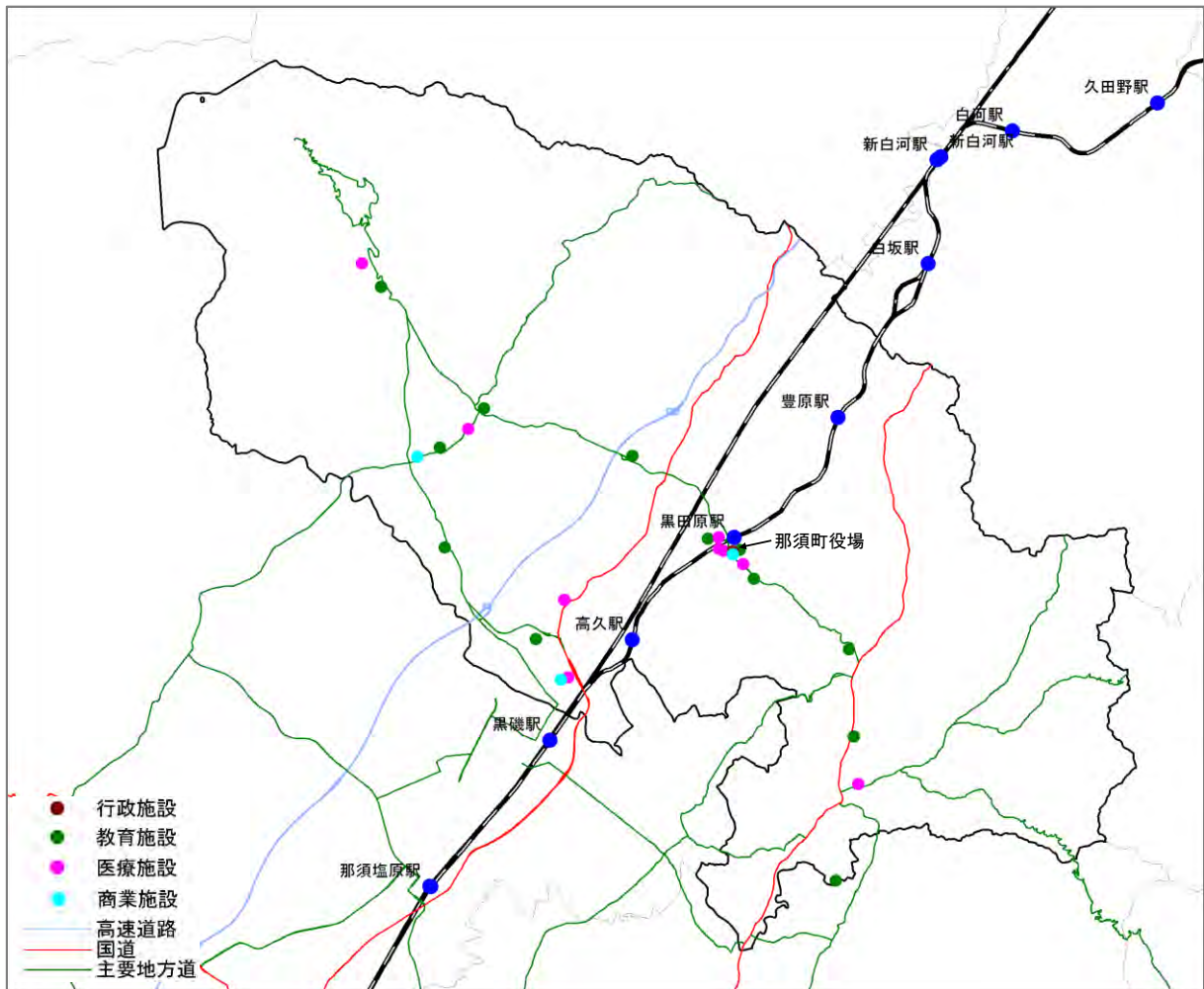


出典：平成22年国勢調査（500mメッシュ）より作成

2.1.4 施設分布

本町の各種施設は、黒田原駅周辺に立地しています。

町北部や南部には、医療施設や商業施設が立地していない地区があります。



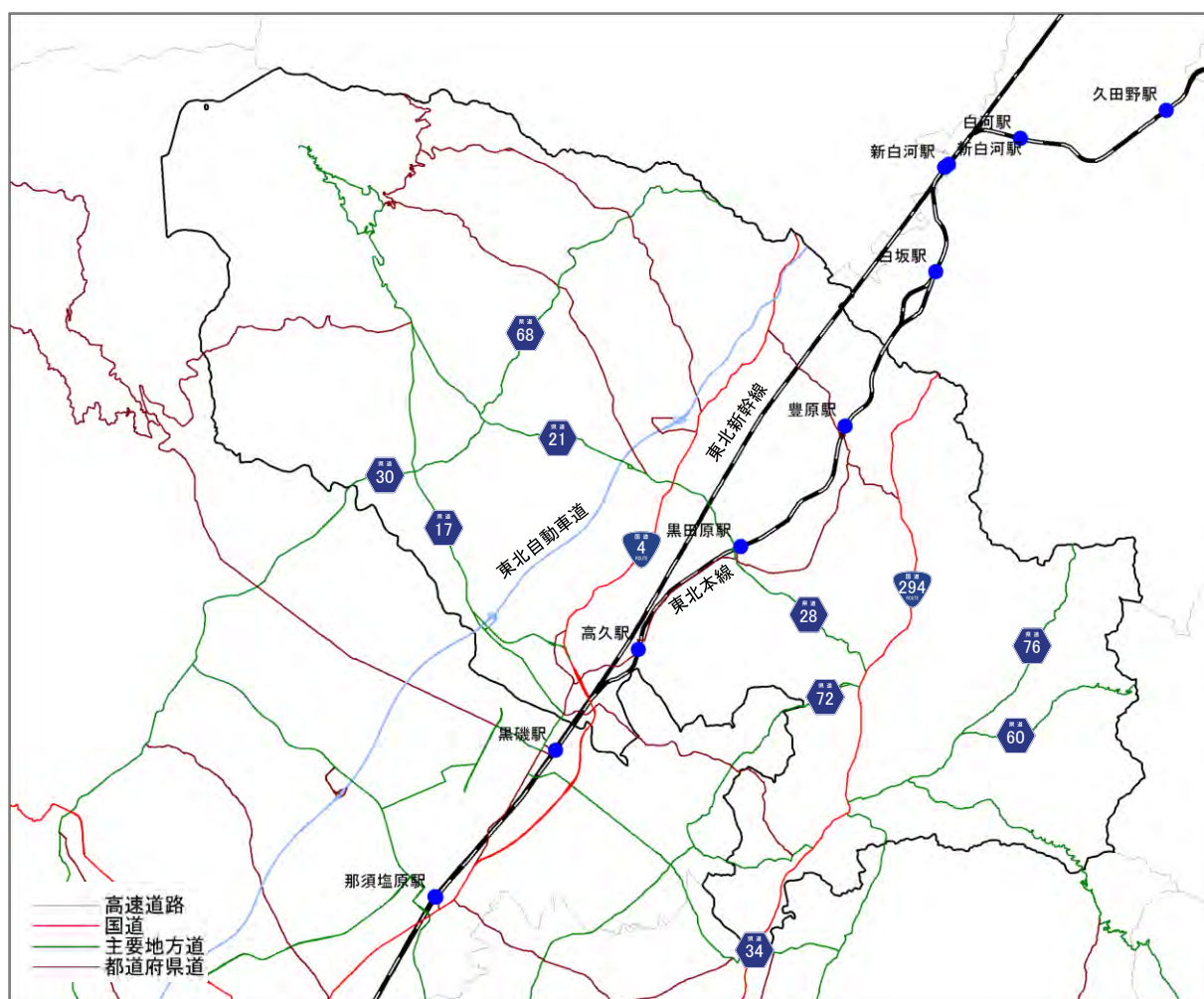
施設分類	主な施設
行政施設	那須町役場
教育施設	小学校：那須小学校、東陽小学校など7箇所 中学校：那須中学校、東陽中学校、黒田原中学校 ※東陽中学校は黒田原中学校を拠点校として統合し、平成29年4月より那須中央中学校に校名変更 高等学校：那須高校、幸福の科学学園（中高一貫）
医療施設	那須高原病院、田崎医院など
商業施設	スーパーダイユー、ザ・ビッグ

2.2 交通の現状

2.2.1 道路網と鉄道網

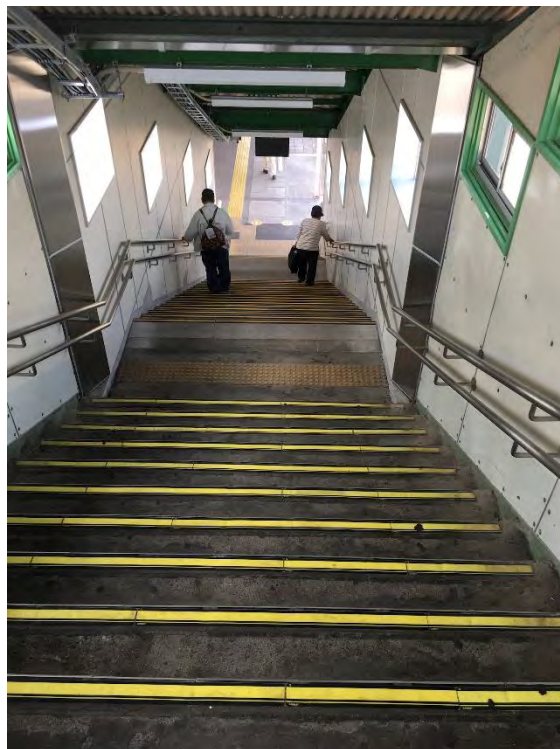
本町の道路網は、高速自動車国道である東北自動車道、一般国道4号・一般国道294号、県道17号那須高原線・県道21号湯本漆塚線・県道28号大子那須線等で形成されています。東北自動車道には那須IC及び那須高原スマートICが設けられており、東京圏や東北圏、県都宇都宮との広域的な交流を担っています。

鉄道網としては、JR東北本線が町内を横断しています。黒田原駅・高久駅・豊原駅の3駅が設けられており、町内から新幹線停車駅で東京圏からの那須観光の玄関口となっている那須塩原駅や町外の商業施設や病院に近接する黒磯駅・新白河駅等への移動需要を担っています。



参考. 町内各駅のバリアフリー対応について

町内3駅とも構内には跨線橋が設けられていますが、エレベーター等は設置されておりません。加えて那須町の主要駅である黒田原駅の上り線ホームでは、車両とホームとの間に大きな段差が生じているため、車両の乗降においてもバリアが生じている状況でした。ただし、平成28年12月より車両とホームとの間の段差を解消する工事が開始されており、このバリアについては近々解消される予定となっています。



出典：現地撮影による

参考. 黒田原駅の時刻表（※平成 28 年 11 月時点）

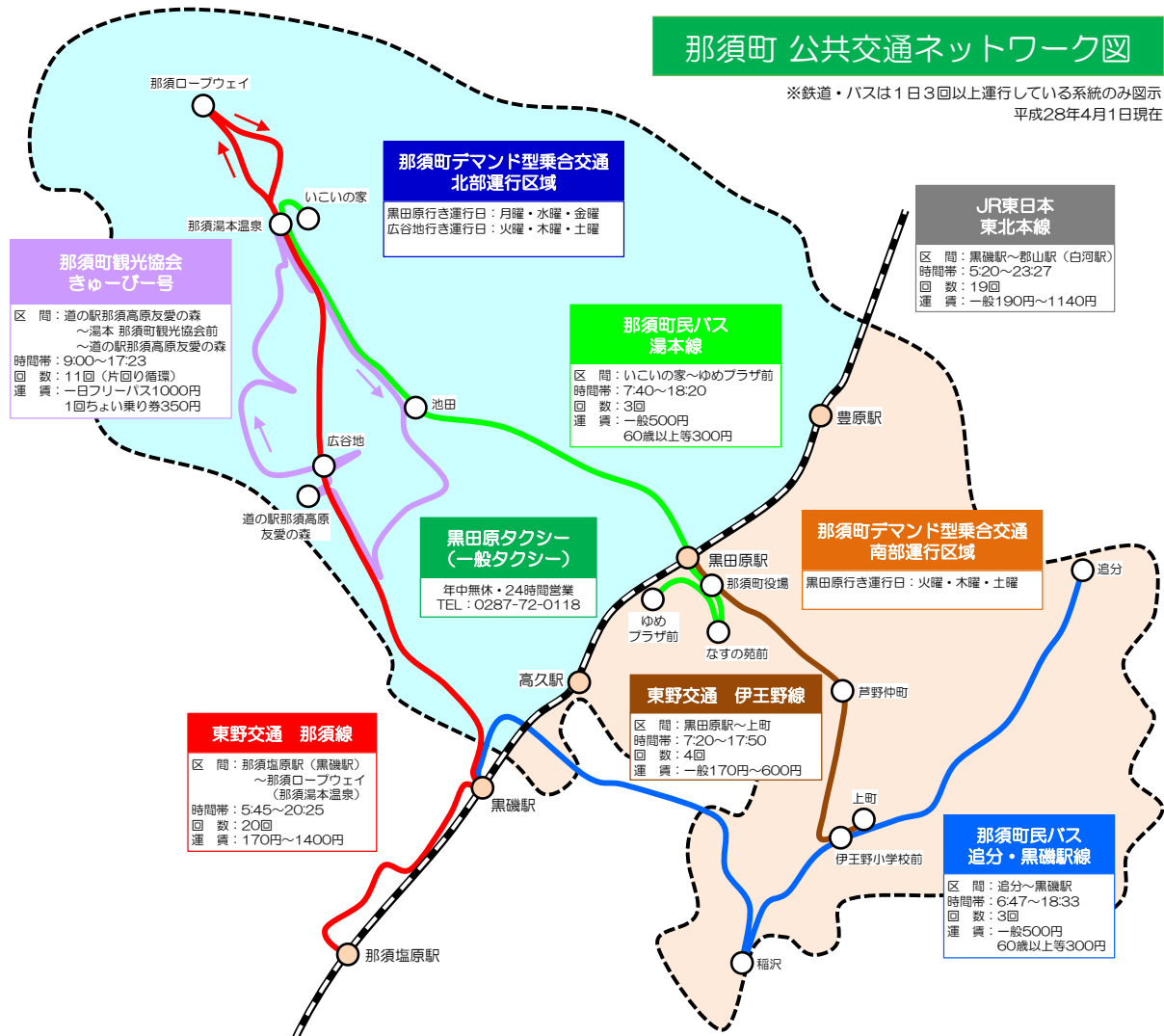
那須町の主要駅である黒田原駅では、上下線ともに概ね 1 時間に 1 本が運行されています。

時	時刻表（平日・土休日共通）	
	黒磯・宇都宮方面（上り）	郡山・福島方面（下り）
5時	37	56
6時	33	31
7時	14・51	14
8時	36	03
9時	58	04・47
10時	49	36
11時	38	42
12時	38	43
13時	45	42
14時	44	28
15時	45	41
16時	24	42
17時	20	15
18時	22	23
19時	16	52
20時	36	55
21時	36	—
22時	22	09
23時	—	09

2.2.2 公共交通網（バス路線・タクシーなど）

本町のバス路線網は、民間路線バスが2路線、町営バスが2路線、観光周遊シャトルバスが1路線により形成されています。

町内に営業所を置くタクシー事業者は1社のみで、町内全域（JR東北本線を境に北部地域と南部地域に区分）を対象にデマンド型乗合交通を運行しています。このデマンド型乗合交通は、自宅近くのごミステーション等を基本にきめ細かく設置した「自宅側停留所」と黒田原駅周辺及び広谷地周辺に設置した「目的地側停留所」との間を運行しており、北部運行区域（黒田原行）は月曜・水曜・金曜日に、北部運行区域（広谷地行）と南部運行区域は火曜・木曜・土曜日に運行し、それぞれ4便／日運行しています。



参考. バス路線の運行本数

町内の民間路線バスについて、町外的那須塩原駅・黒磯駅と那須湯本地区を結ぶ那須線は6時台から19時台の間、概ね1時間に1本以上の運行本数が確保され、観光客需要に対応しています。一方で黒田原駅と伊王野地区を結ぶ伊王野線は運行本数が1日に4本で、10時台～13時台の間は運行されていません。

【民間路線バスの時間帯別運行本数】※平成28年11月時点

①那須線

時間帯	運行本数			
	黒磯駅・那須塩原駅方面 (上り)		那須湯本方面 (下り)	
	平日	土休日	平日	土休日
5時台			1	
6時台	1	1	2	3
7時台	2	1	2	2
8時台	2	2	2	2
9時台	1	2	2	2
10時台	2	2	1	2
11時台	1	2	1	1
12時台	1	1	1	1
13時台	1	1	1	1
14時台	1	1	1	1
15時台	1	1	2	2
16時台	2	4	1	1
17時台	2	1	1	1
18時台	1	1	1	
19時台	2	1	1	1
合計	20	20	20	20

②伊王野線

時間帯	運行本数 (平日・土休日共通)	
	黒田原駅方面 (上り)	上町方面 (下り)
5時台		
6時台		
7時台	1	
8時台		1
9時台	1	
10時台		
11時台		
12時台		
13時台		
14時台		1
15時台	1	
16時台	1	1
17時台		1
18時台		
19時台		
合計	4	4

町民バスについて、町内南部地域を運行する追分・黒磯駅線、町内北部地域を運行する湯本線ともに、運行本数が1日に3本と少ない状況にあります。

【町民バスの時間帯別運行本数】 ※平成28年11月時点

①追分・黒磯駅線

時間帯	運行本数（平日・土休日共通）	
	黒磯駅方面	追分方面
5時台		
6時台	1	
7時台		
8時台		
9時台		
10時台		
11時台		1
12時台	1	
13時台		
14時台		1
15時台		
16時台	1	
17時台		1
18時台		
19時台		
合計	3	3

②湯本線

時間帯	運行本数（平日・土休日共通）	
	ゆめプラザ方面	湯本方面
5時台		
6時台		
7時台	1	
8時台		1
9時台		
10時台		
11時台		
12時台		
13時台	1	
14時台		
15時台		1
16時台		
17時台	1	1
18時台		
19時台		
合計	3	3

参考. デマンド型乗合交通の運行本数

デマンド型乗合交通は黒田原行・広谷地行ともに1日4便運行（※事前予約があった場合のみ）されています。運賃は一般（高校生以上）500円、小中学生・60歳以上300円（幼児・障害者・生活保護受給者は無料）です。



○黒田原行き(北部:月水金、南部:火木土)

■目的地側停留所



■運行時間

自宅側 に設定された 出発目安時刻 (1日4便)	黒田原		帰宅時は希望 により自宅ま でお送りしま す。
	行き の便	帰り の便	
	黒田原駅		
	到着時刻	出発時刻	
	8:40	9:00	
	11:50	11:50	
	14:00	14:00	
	16:30	16:50	

○広谷地行き(北部:火木土)

■目的地側停留所



■運行時間

自宅側 に設定された 出発目安時刻 (1日4便)	広谷地		帰宅時は希望 により自宅ま でお送りしま す。
	行き の便	帰り の便	
	道の駅・友愛の森		
	到着時刻	出発時刻	
	10:20	10:20	
	11:50	12:40	
	14:10	14:40	
	16:30	16:50	

※平成28年11月時点

参考. タクシーの状況

町内に営業所を置く唯一のタクシー会社である黒田原タクシーは、車両6台にて営業を行っています。（平成28年11月時点）。

2.2.3 鉄道の利用実態

(1) 鉄道駅の乗車人員の推移

町内3駅の内、高久駅と豊原駅は駅員無配置駅であり、平成24年度以降はデータが公開されていません。高久駅の乗車人員は年間1万5千人程度、豊原駅の乗車人員は年間2万人前後で推移しており、1日当りの乗車人員は高久駅が約40人、豊原駅が約55人です。両駅とも定期券利用者が利用者の大半を占めています。

黒田原駅の平成25年度の乗車人員は19万9千人で、1日当りの乗車人員は523人です。この駅も定期券利用者が大半を占めています。

町外的那須塩原駅と黒磯駅は町内3駅に比べ乗車人員が格段に多く、また観光客の利用が多いことから普通（定期外）利用者数の割合が高いのが特徴です。特に那須塩原駅では、定期券利用者よりも普通利用者の割合が高くなっています。

■ 駅別旅客乗車人員（単位：千人）

年度	種別	駅名				
		那須塩原	黒磯	高久	黒田原	豊原
H20	合計	1,791	912	13	196	20
	普通	1,065	299	2	33	1
	定期	726	613	11	163	19
H21	合計	1,697	876	14	191	18
	普通	973	278	2	30	1
	定期	725	598	11	162	18
H22	合計	1,728	862	16	179	20
	普通	976	257	2	26	1
	定期	752	605	14	153	19
H23	合計	1,679	865	14	176	20
	普通	909	235	2	23	1
	定期	770	630	12	153	19
H24	合計	1,804	875	—	193	—
	普通	990	248	—	25	—
	定期	814	627	—	168	—
H25	合計	1,860	883	—	199	—
	普通	1,037	247	—	25	—
	定期	824	636	—	174	—

出典：栃木県統計年鑑

(2) 駅別利用実態

平成 23 年度～24 年度の調査結果となりますが、町内の黒田原駅と町外で本町の玄関的な役割を担う黒磯駅と那須塩原駅の利用実態は以下のとおりです。

1) 黒田原駅

平日は、「那須塩原市や宇都宮市への通学」が多く、駅までの交通手段は徒歩 5 割、送迎 3 割となっています。また、来訪者は「学生の利用」が 8 割となっています。

休日は、平日同様に「学生の割合」が依然として高いものの、平日に比べて大幅に利用者数が少なくなっています。

黒田原駅 利用実態調査結果				
曜日	利用者区分	降車数	利用者属性	
平日	町民等 (午後降車)	209 人 (学生 66.5%)	出発地	那須町 (100.0%)
			目的地	那須塩原市 (28.6%) , 宇都宮市 (23.8%)
			利用目的	通学 (66.7%) , 買物(9.5%) , 通院(9.5%)
			交通手段	徒歩(52.4%) , 送迎車(33.3%) , 自分で運転する自動車 (9.5%)
	来訪者 (午前降車)	283 人 (学生 85.2%)	出発地	アンケート回答者が 4 名のため、傾向不明
			目的地	
			利用目的	
			交通手段	
休日	町民等 (午後降車)	83 人 (学生 78.3%)	出発地	アンケート回答者が 5 名のため、傾向不明
			目的地	
			利用目的	
			交通手段	
	来訪者 (午前降車)	39 人 (学生 56.4%)	出発地	アンケート回答者が 1 名のため、傾向不明
			目的地	
			利用目的	
			交通手段	

【調査日】 平日：平成 24 年 10 月 11 日 (木)、休日：平成 24 年 10 月 14 日 (日)

2) 黒磯駅

平日は、「学生の利用」が半数を占め、「那須塩原市民・那須町民が宇都宮及び周辺市への通勤・通学目的」で利用しています。駅までの交通手段は、「自動車」が6割を占めています。来訪者は「首都圏からの通勤・観光目的」が多く、バス利用者が全体の3割を占めています。

休日は、「町民等は主に首都圏への観光や買物目的等」、来訪者は「首都圏からの観光目的等」が多く、バス利用者が4割を占めています。

黒磯駅 利用実態調査結果				
曜日	利用者区分	降車数	利用者属性	
平日	町民等 (午後降車)	1,453人 (学生 51.1%)	出発地	那須塩原市(52.2%)，那須町(41.8%)
			目的地	宇都宮市(34.3%)，矢板市(11.9%)， 那須塩原市(7.5%)
			利用目的	通勤(44.8%)，通学(26.9%)
			交通手段	自分で運転する自動車(35.8%)， 送迎車(23.9%)，徒歩(16.4%)
	来訪者 (午前降車)	751人 (学生 49.5%)	出発地	宇都宮市(15.4%)，那須塩原市(11.5%)， 東京・埼玉・神奈川(36.5%)
			目的地	那須塩原市(50.0%)，那須町(30.8%)
			利用目的	通勤(38.5%)，観光等(30.8%)
			交通手段	バス(30.8%)，徒歩(26.9%)， 送迎車(25.0%)
休日	町民等 (午後降車)	750人 (学生 23.5%)	出発地	那須塩原市(56.5%)，那須町(30.4%)
			目的地	東京・埼玉(54.1%)，宇都宮市(13.0%)， 白河市(13.0%)
			利用目的	観光等(26.1%)，買物(17.4%)， 帰省(13.0%)
			交通手段	自分で運転する自動車(43.5%)， 送迎車(26.1%)，徒歩(32.7%)
	来訪者 (午前降車)	651人 (学生 12.0%)	出発地	東京・埼玉・千葉(57.1%)， 県内(その他10.2%)
			目的地	那須塩原市(34.7%)，那須町(30.6%)
			利用目的	観光等(61.2%)，その他(16.3%)
			交通手段	バス(40.8%)，徒歩(22.4%)， 送迎車(16.3%)

【調査日】平日：平成24年10月11日(木)、休日：平成24年10月14日(日)

3) 那須塩原駅

平日は「那須塩原市民」の利用が多く、主に「通勤目的で東京・宇都宮方面への利用」が多くなっています。駅までの交通手段は「自分で運転する自動車」が大半を占めていて、「宇都宮市等から那須塩原市への通勤目的」、「東京都等から那須町への観光目的」での来訪者も多い状況です。来訪者の半数は「駅からバス」で目的地に移動しています。

休日は「大田原市民」の利用も多く、「観光目的等で首都圏への利用」が多くなっています。来訪者は「首都圏から那須塩原市へ、通勤目的」での利用が多い状況です。

那須塩原駅 利用実態調査結果				
曜日	利用者区分	降車数	利用者属性（※市外からの学生は除く）	
平日	町民等 (午後降車)	2,305 人 (学生 15.5%)	出発地	那須塩原市 (70.4%), 大田原市 (23.9%)
			目的地	東京都 (41.7%), 宇都宮市等 (27.8%)
			利用目的	通勤 (56.9%), 観光等 (11.1%)
			交通手段	自分で運転する自動車 (62.5%), 送迎車 (16.7%)
	来訪者 (午前降車)	1,391 人 (学生 5.7%)	出発地	宇都宮市等 (30.2%), 東京都 (27.9%)
			目的地	那須塩原市 (35.0%), 那須町 (27.5%)
利用目的			通勤 (30.2%), 観光等 (27.9%)	
交通手段			バス (46.5%), 自分で運転する自動車 (16.3%), 送迎車 (16.3%)	
休日	町民等 (午後降車)	1,870 人 (学生 7.9%)	出発地	那須塩原市 (53.1%), 大田原市 (40.8%)
			目的地	東京都 (36.7%), 神奈川・千葉等 (36.7%)
			目的	観光等 (24.5%), その他 (20.4%)
			交通手段	自分で運転する自動車 (49.0%), 送迎車 (30.6%)
	来訪者 (午前降車)	1,076 人 (学生 6.7%)	出発地	神奈川・千葉等 (34.4%), 那須塩原市等 (28.1%)
			目的地	那須塩原市 (58.1%), 大田原市 (19.4%)
			目的	通勤 (43.8%), 観光等 (34.4%)
			交通手段	徒歩 (31.3%), バス (25.0%)

【調査日】 平日：平成 23 年 10 月 26 日（水）、休日：平成 23 年 10 月 30 日（日）

2.2.4 バスの利用実態

(1) 東野交通路線及び町民バス路線の利用者数

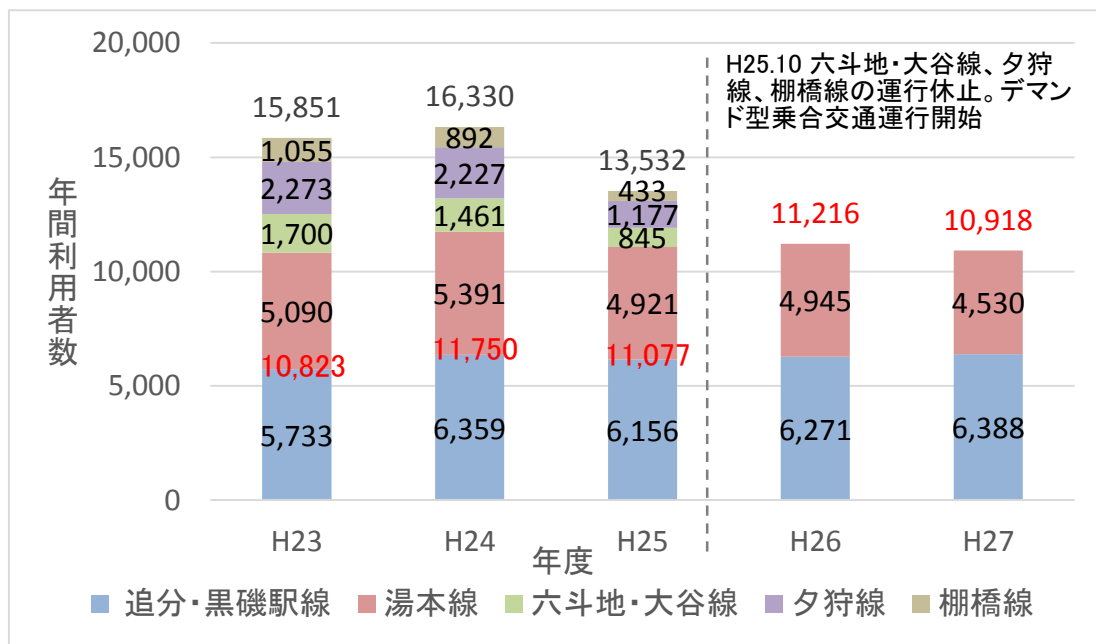
東野交通那須線の利用者数は日平均 132 人ですが、観光ピーク時期の利用者数はさらに多く、平成 28 年 10 月調査時の利用者数は平日 604 人（10 月 18 日（火））、休日 819 人（10 月 10 日（月・祝日））でした。

■バス利用者数（平成 27 年度）

運営主体	東野交通		那須町（町民バス）	
	那須線	伊王野線	追分・黒磯駅線	湯本線
年間利用者数	48,379 人	9,744 人	6,388 人	4,530 人
年間運行日数	366 日	366 日	366 日	366 日
日平均利用者数	132 人	27 人	17 人	12 人

(2) 町民バス利用者数の推移

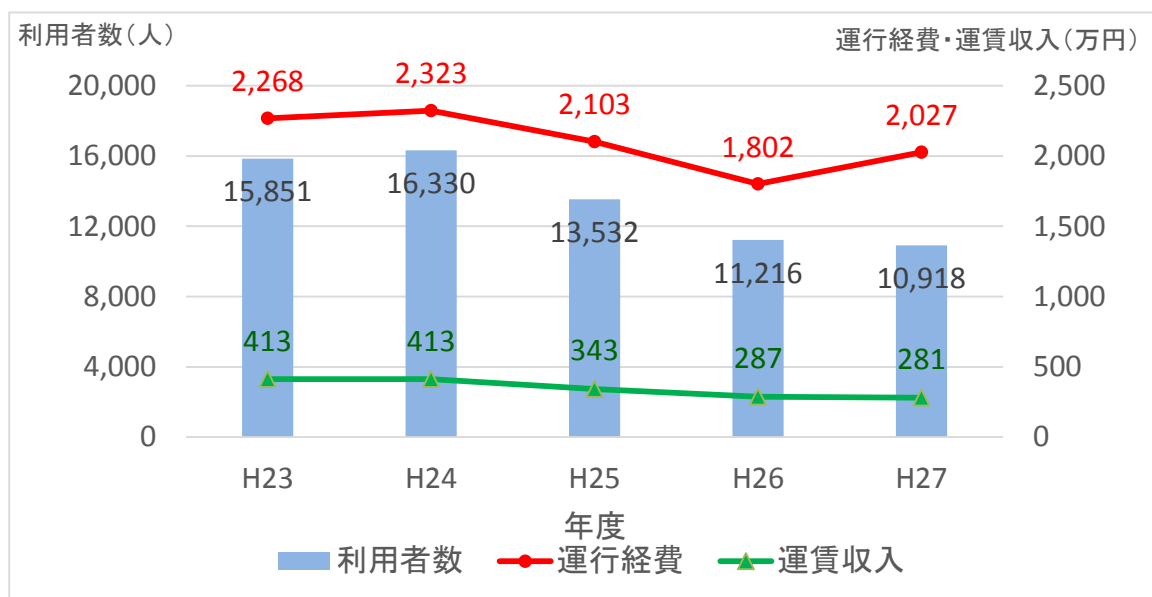
現在運行している追分・黒磯駅線と湯本線の利用者数に大きな変化はなく、ほぼ横ばいで推移している状況にあります。



※赤字は現在運行している追分・黒磯駅線と湯本線の合計利用者

(3) 運行収支

町民バスの運行収支状況を整理すると、平成 27 年度の運行経費が 2,027 万円、運賃収入が 281 万円であり、収支率は 14%となっています。1 人 1 乗車当たりの運行経費は 1,857 円、1 人 1 乗車当たりの運賃収入は 257 円となっています。



※運賃収入は補助金を含まない数値

2.2.5 デマンド型乗合交通の利用実態

(1) 利用実績の概要

登録者数は 1,468 人（平成 28 年 10 月 1 日時点）です。ただし、登録者アンケート発送時点（平成 28 年 8 月時点）で、登録後に亡くなられた方・転出された方が計 122 人、町外に住み票があり登録時の住所に郵便が届かなかった方が 123 人存在しています。登録者は「60 歳以上」が 71%、「障害者等」12%となっています。

自宅側停留所の設置箇所数は増加傾向にあり、実証運行開始当初の 2.1 倍になりました。（平成 28 年 10 月 1 日時点）

利用者数は運行開始 1 年目は 4,499 人でしたが、年々増加傾向にあり、3 年目には 6,408 人となっています。北部運行区域の利用者が多く、1 日平均利用者数は北部運行区域が黒田原行き 23.3 人、広谷地行き 9.7 人、南部運行区域が 5.7 人です。利用者の 69%が「小中学生・60 歳以上」、28%が「障害者等」となっています。

運行区域	登録者数	停留所数	行き先	利用者数 (人) ※ () 内は日平均			
				1年目	2年目	3年目	3年間合計
北部	1,129	214	黒田原	3,596	3,580	3,786	10,962 (23.3)
			広谷地	—	1,307	1,740	3,047 (9.7)
南部	236	75	黒田原	903	919	882	2,704 (5.7)
合計	1,365	289	—	4,499	5,806	6,408	16,713 (21.3)

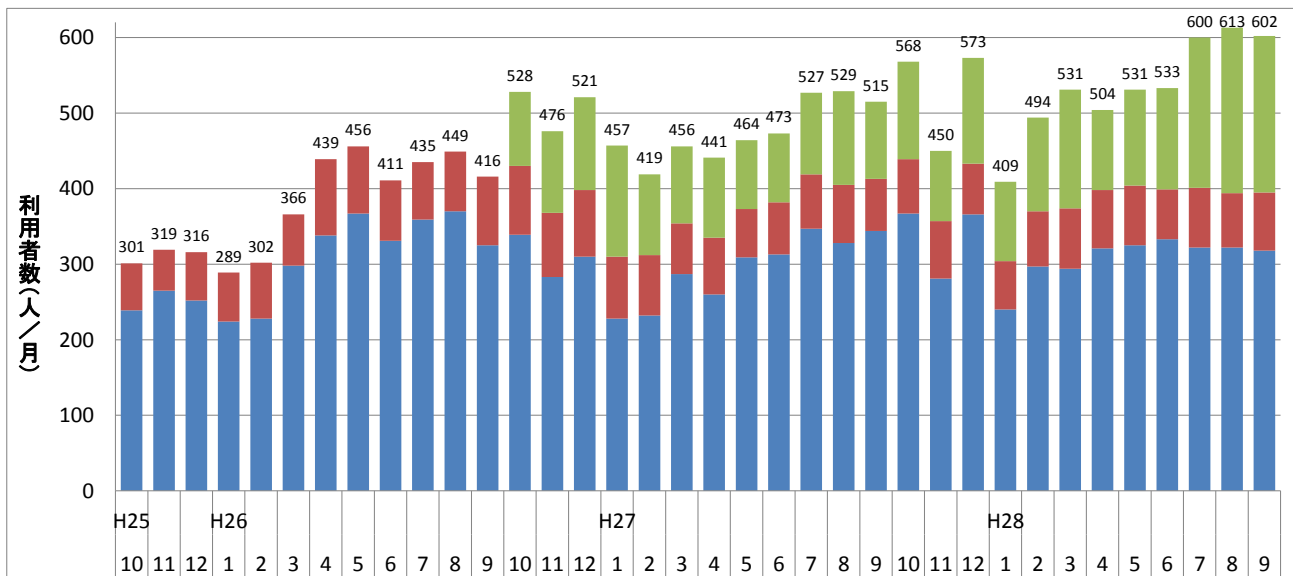
※登録者数及び停留所数は平成28年10月1日時点

※1年目：H25/10/1～H26/9/30、2年目：H26/10/1～H27/9/30、

3年目：H27/10/1～H28/9/30

(2) 利用者数の変化

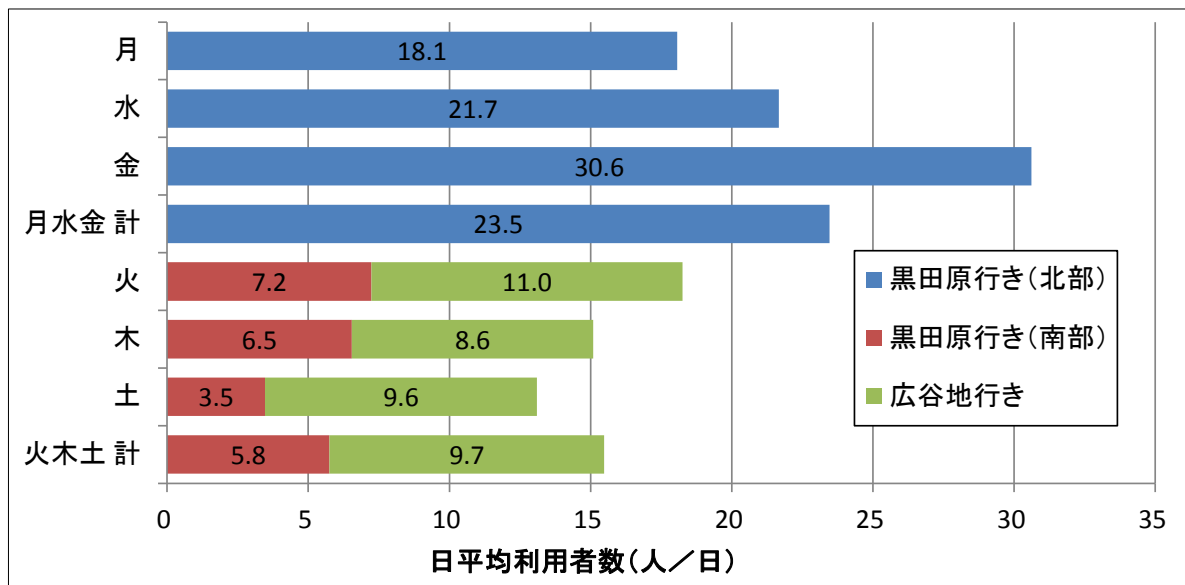
利用者数は夏季に増加、冬季に減少する傾向にあります。利用者数は増加傾向にあり、直近3ヶ月間は600人を超えています。



(3) 広谷地行き運行開始後 (H26/10/1~H28/9/30) の利用実績詳細

1) 曜日別利用者数

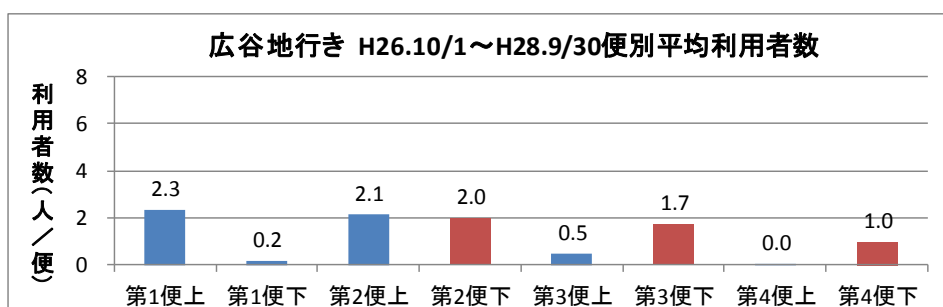
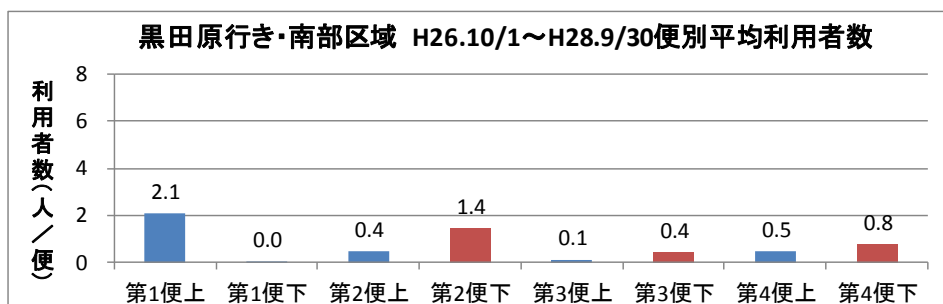
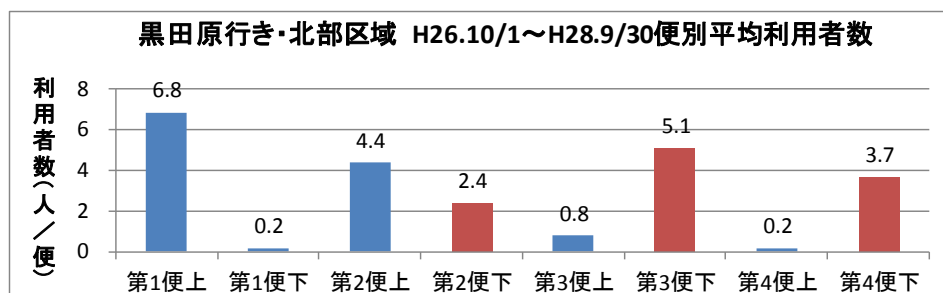
黒田原行き(北部運行区域)は「金曜日」の利用者数が多く、月曜日の1.7倍となっています。一方で黒田原行き(南部運行区域)及び広谷地行きは火曜日の利用が多くなっています。



2) 便別利用者数

黒田原行きの上りは南北両運行区域とも1便の利用が多く、下りは北部運行区域は3便、南部運行区域は2便の利用が比較的多い状況です。

広谷地行きは、上りは1・2便の利用が、下りは2便・3便の利用が多くなっています。



3) 稼働率

「稼働率(最大稼働可能台数に対する稼働台数の割合)」は黒田原行き(北部運行区域)を運行する「月・水・金」曜日で76%、黒田原行き(南部運行区域)と広谷地行きを運行する「火・木・土」曜日で60%です。

便当たり稼働台数は「月・水・金」曜日で3.1台/便、「火・木・土」曜日で1.7台/便、台当たり利用者数は「月・水・金」曜日で1.9人/台、「火・木・土」曜日で1.5人/台です。

■稼働率(最大稼働可能台数に対する稼働台数の割合)

運行日	運行日数(日)	運行便数(便/日)	車両台数(台/便)	最大稼働可能台数(台)	実稼働台数(台)	稼働率
月・水・金	314	4	4	5024	3831	76.3%
火・木・土	313	4	4	5008	3118	62.3%

※稼働率

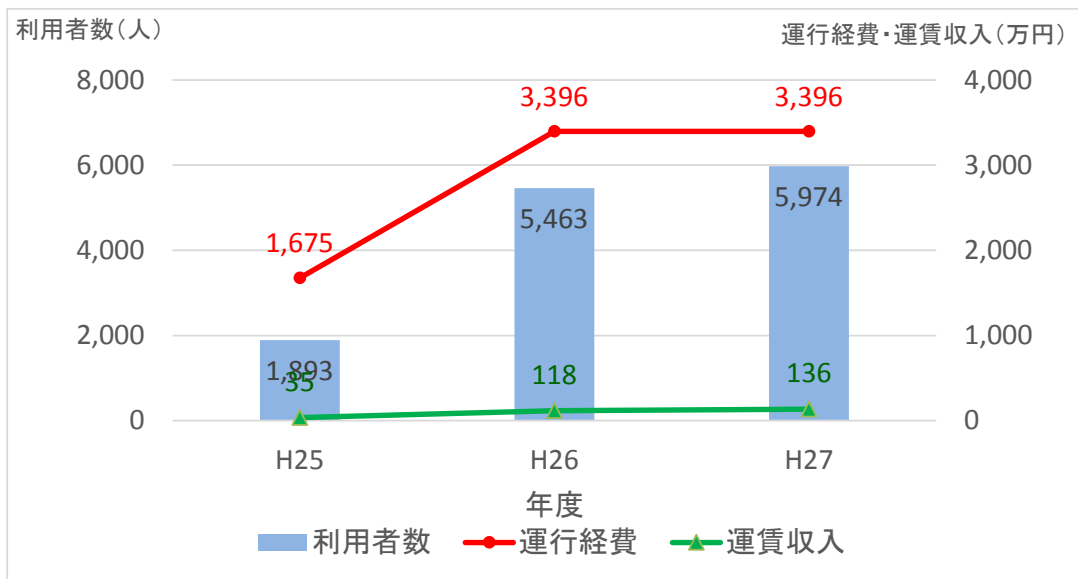
: 集計対象期間に運行のために待機していた車両の総数(1便当たり4台。運行日数が314日なら、1日4便なので5,024台)を「最大稼働可能台数」とし、実際に稼働した車両の総数を「実稼働台数」として、「実稼働台数」÷「最大稼働可能台数」で「稼働率」を算出した。

■便当たり稼働台数・便当たり利用者数・台当たり利用者数

運行日	運行区域	利用者数 (人)	稼働便数 (便)	実稼働数 (台)	便当たり 稼働台数 (台/便)	便当たり 利用者数 (人/便)	台当たり 利用者数 (人/台)
月・水・金	黒田原行き (北部区域)	7,368	1,232	3,831	3.1	6.0	1.9
火・木・土	黒田原行き (南部区域)	1,801	798	3,118	1.7	2.3	1.6
	広谷地行き	3,045	997			3.1	

(4) 運行収支

平成 27 年度の運行経費は 3,396 万円、運賃収入が 136 万円であり、収支率は 4%となっています。1 人 1 乗車当たりの運行経費は 5,685 円、1 人 1 乗車当たりの運賃収入は 228 円となっています。



※運賃収入は補助金を含まない数値

※平成 25 年 10 月から運行開始しているため、H25 のデータは半年分の実績を集計

2.2.6 国勢調査による通勤・通学流動

(1) 通勤・通学

1) 通勤流動

前回（平成22年）国勢調査の結果となりますが、通勤流動は以下のとおりです。

■常住地集計結果

- ・内々（那須町居住者が那須町内で就業）：65.9%
- ・内外（那須町居住者が県内他市町村で就業）：28.6%
- ・内外（那須町居住者が県外で就業）：3.9%

■従業地集計結果

- ・内々（那須町就業者のうち那須町内居住者）：58.7%
- ・内外（那須町就業者のうち県内他市町村居住者）：33.2%
- ・内外（那須町就業者のうち県外居住者）：6.7%

■那須町常住地集計

	15歳以上就業者	割合
当地に常住する就業者	12,417	-
自市町村で従業	8,184	65.9%
他市区町村で従業	4,212	33.9%
県内	3,555	28.6%
宇都宮市	137	1.1%
足利市	2	0.0%
栃木市	1	0.0%
佐野市	2	0.0%
鹿沼市	7	0.1%
日光市	9	0.1%
小山市	7	0.1%
真岡市	2	0.0%
大田原市	685	5.5%
矢板市	66	0.5%
那須塩原市	2,568	20.7%
さくら市	23	0.2%
那須烏山市	6	0.0%
下野市	1	0.0%
上三川町	2	0.0%
西方町	1	0.0%
益子町	2	0.0%
茂木町	1	0.0%
芳賀町	7	0.1%
壬生町	3	0.0%
塩谷町	3	0.0%
高根沢町	6	0.0%
那珂川町	14	0.1%
他県	486	3.9%
宮城県	2	0.0%
秋田県	1	0.0%
山形県	1	0.0%
福島県	292	2.4%
茨城県	10	0.1%
群馬県	1	0.0%
埼玉県	40	0.3%
千葉県	5	0.0%
東京都	123	1.0%
神奈川県	4	0.0%
富山県	1	0.0%
静岡県	4	0.0%
山口県	1	0.0%
福岡県	1	0.0%

■那須町従業地集計

	15歳以上就業者	割合
当地で従業する者	13,939	-
自市町村に常住	8,184	58.7%
他市区町村に常住	5,563	39.9%
県内	4,626	33.2%
宇都宮市	48	0.3%
栃木市	5	0.0%
鹿沼市	4	0.0%
日光市	18	0.1%
小山市	2	0.0%
真岡市	1	0.0%
大田原市	621	4.5%
矢板市	62	0.4%
那須塩原市	3,787	27.2%
さくら市	16	0.1%
那須烏山市	9	0.1%
下野市	5	0.0%
上三川町	3	0.0%
益子町	3	0.0%
市貝町	1	0.0%
芳賀町	2	0.0%
壬生町	1	0.0%
岩舟町	1	0.0%
塩谷町	4	0.0%
高根沢町	8	0.1%
那珂川町	25	0.2%
他県	937	6.7%
岩手県	1	0.0%
宮城県	6	0.0%
山形県	2	0.0%
福島県	843	6.0%
茨城県	8	0.1%
群馬県	3	0.0%
埼玉県	28	0.2%
千葉県	11	0.1%
東京都	19	0.1%
神奈川県	11	0.1%
新潟県	2	0.0%
長野県	1	0.0%
静岡県	1	0.0%
鹿児島県	1	0.0%

平成22年国勢調査（常住地、従業地・通学地集計データ）より作成

2) 通学流動

前回（平成 22 年）国勢調査の結果となりますが、通勤流動は以下のとおりです。

■ 常住地集計結果

- ・ 内々（那須町居住者が那須町内に通学）：44.7%
- ・ 内外（那須町居住者が県内他市町村に通学）：47.4%
- ・ 内外（那須町居住者が県外に通学）：4.9%

■ 通学地集計結果

- ・ 内々（那須町通学者のうち那須町内居住者）：71.3%
- ・ 内外（那須町通学者のうち県内他市町村居住者）：22.0%
- ・ 内外（那須町通学者のうち県外居住者）：1.8%

■ 那須町常住地集計

	15歳以上通学者	割合
当地に常住する通学者	1,267	-
自市町村で通学	566	44.7%
他市区町村で通学	700	55.2%
県内	600	47.4%
宇都宮市	124	9.8%
足利市	2	0.2%
栃木市	2	0.2%
佐野市	1	0.1%
小山市	11	0.9%
大田原市	89	7.0%
矢板市	55	4.3%
那須塩原市	302	23.8%
さくら市	3	0.2%
上三川町	1	0.1%
壬生町	1	0.1%
塩谷町	3	0.2%
那珂川町	6	0.5%
他県	62	4.9%
岩手県	1	0.1%
宮城県	1	0.1%
秋田県	1	0.1%
福島県	23	1.8%
茨城県	2	0.2%
群馬県	1	0.1%
埼玉県	5	0.4%
東京都	22	1.7%
神奈川県	3	0.2%
新潟県	1	0.1%
山梨県	1	0.1%
和歌山県	1	0.1%

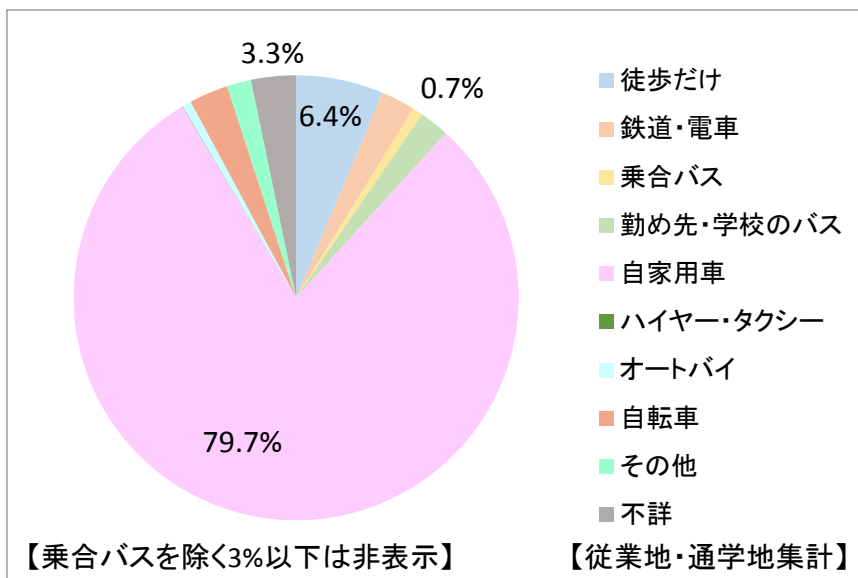
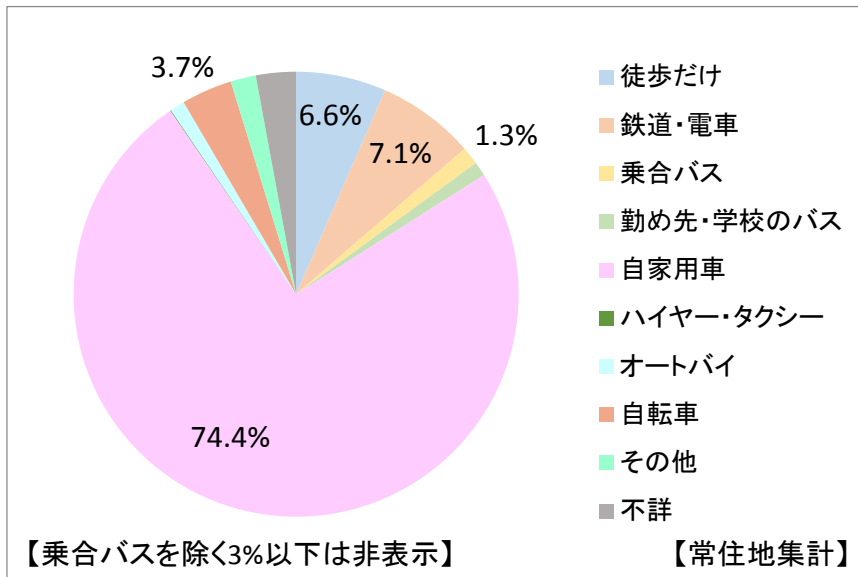
■ 那須町通学地集計

	15歳以上通学者	割合
当地で通学する者	794	-
自市町村に常住	566	71.3%
他市区町村に常住	189	23.8%
県内	175	22.0%
宇都宮市	1	0.1%
大田原市	14	1.8%
那須塩原市	158	19.9%
高根沢町	2	0.3%
那珂川町	-	-
他県	14	1.8%
埼玉県	2	0.3%
千葉県	1	0.1%
東京都	9	1.1%
神奈川県	2	0.3%

平成 22 年国勢調査（常住地、従業地・通学地集計データ）より作成

(2) 通勤・通学時の交通手段

前回（平成 22 年）国勢調査の結果となりますが、通勤・通学時の交通手段は以下のとおりです。
 通勤通学時における交通手段は、常住地、従業地・通学地集計結果ともに、自家用車の利用率が7割以上を占めており、乗合バスの利用率は極めて低い状況となっています。

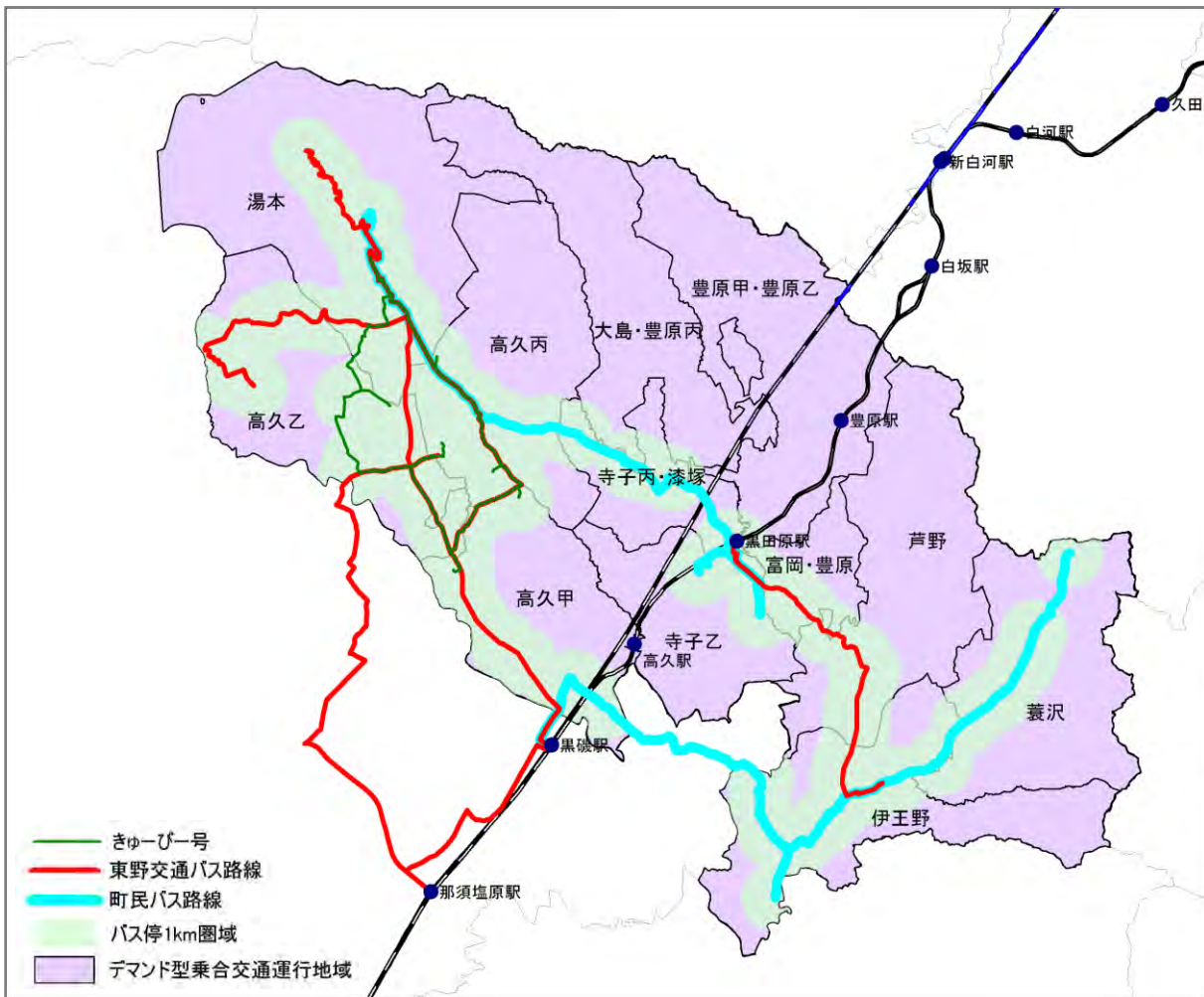


平成 22 年国勢調査（常住地、従業地・通学地集計データ）より作成

2.2.7 公共交通空白地域

本町の公共交通空白地域を「バス停から1km圏外かつデマンド型乗合交通運行地域外」と定義した場合、デマンド型乗合交通は町内全域を運行していることから、町内に公共交通空白地域はありません。ただしデマンド型乗合交通は隔日の運行であるため、運行日以外の日には「バス停から1km圏外」の地域が公共交通空白地域となります。

参考として、バス停1km圏域の面積は約131km²（町域の35%）で、バス停1km圏域の人口は10,797人（総人口の42%）となっています。



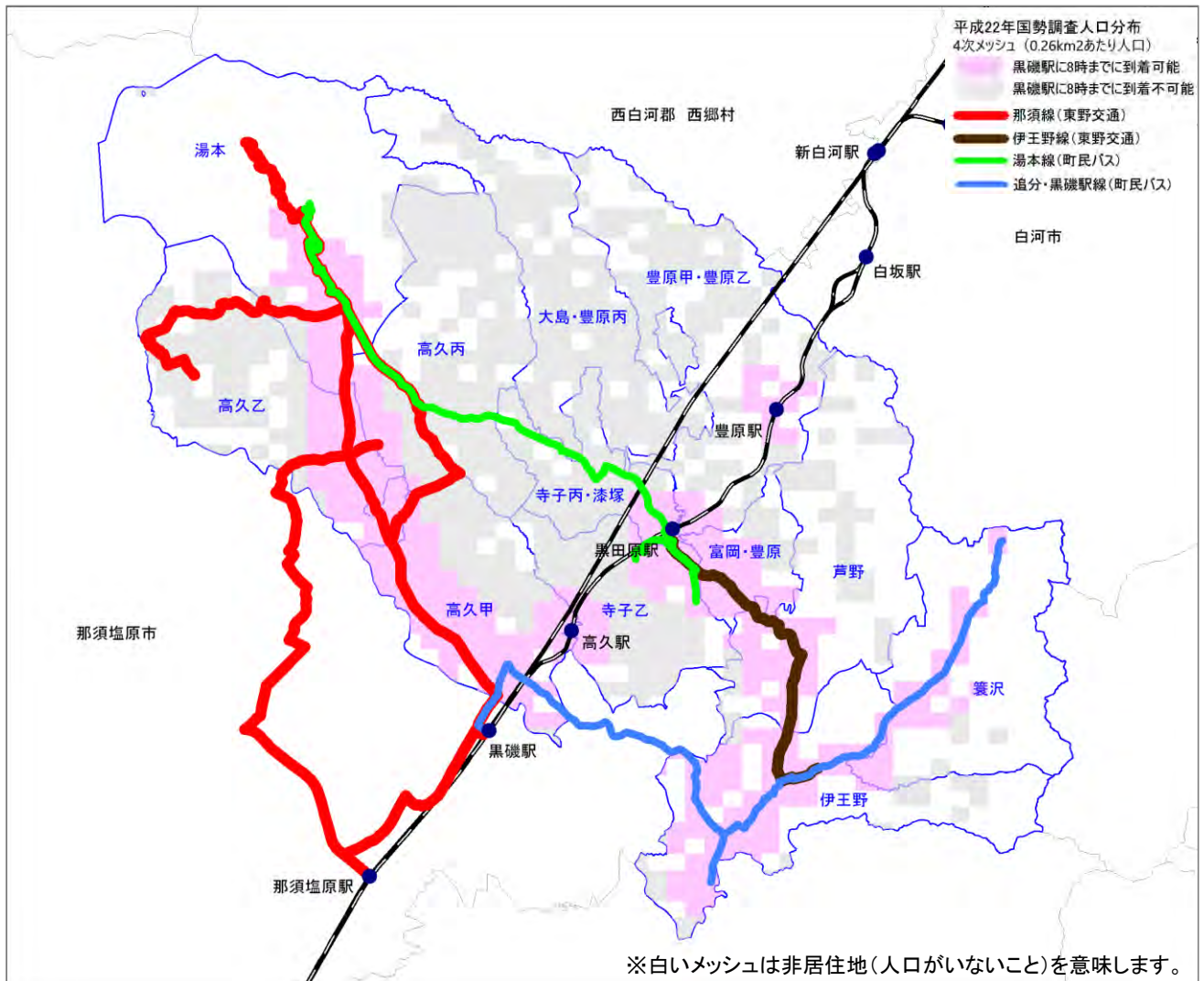
地域名	面積(km ²)	人口(人)	バス停1km圏域面積(km ²)	バス停1km圏域人口(人)	バス停1km圏域面積比率	バス停1km圏域人口比率	バス停1km圏域+デマンド運行地域面積(km ²)	バス停1km圏域+デマンド運行地域人口(人)	バス停1km圏域+デマンド運行地域面積比率	バス停1km圏域+デマンド運行地域人口比率
湯本	55.07	1,412	19.88	510	36.1%	36.1%	55.1	1,412	100.0%	100.0%
高久乙	32.13	2,650	22.52	1,859	70.1%	70.2%	32.1	2,650	100.0%	100.0%
高久丙	34.62	2,898	13.93	1,166	40.2%	40.2%	34.6	2,898	100.0%	100.0%
大島・豊原丙	34.70	1,610	1.81	84	5.2%	5.2%	34.7	1,610	100.0%	100.0%
豊原甲・豊原乙	39.63	1,678	0.74	31	1.9%	1.8%	39.6	1,678	100.0%	100.0%
寺子丙・漆塚	13.04	2,876	7.44	1,643	57.1%	57.1%	13.0	2,876	100.0%	100.0%
高久甲	27.81	3,837	16.43	2,268	59.1%	59.1%	27.8	3,837	100.0%	100.0%
寺子乙	21.09	3,425	5.84	949	27.7%	27.7%	21.1	3,425	100.0%	100.0%
富岡・豊原	8.67	1,063	4.25	521	49.0%	49.0%	8.7	1,063	100.0%	100.0%
芦野	36.57	1,603	7.19	316	19.7%	19.7%	36.6	1,603	100.0%	100.0%
伊王野	34.98	2,300	18.49	1,216	52.9%	52.9%	35.0	2,300	100.0%	100.0%
養沢	34.01	659	12.08	234	35.5%	35.5%	34.0	659	100.0%	100.0%
合計	372.32	26,011	130.6	10,797	35.1%	41.5%	372.32	26011	100.0%	100.0%

※人口は平成28年4月住民基本台帳人口、面積は平成22年国勢調査

2.2.8 アクセシビリティの評価

本町は那須塩原市との流動が多い状況にあります（後述する調査結果では那須塩原市の黒磯駅周辺に外出している人が多い状況）。

そこで、黒磯駅周辺への外出状況として、「黒磯駅に8時に到着すること」を想定して、町内の鉄道駅またはバス時刻表と鉄道乗り継ぎ状況を整理した結果、鉄道駅（黒田原駅・高久駅・豊原駅）と東野交通の「那須線（直通）」と「伊王野線（黒田原駅での鉄道乗り継ぎ）」、町民バスの「追分・黒磯駅線（直通）」でアクセスが可能な状況となっています。アクセス圏域（各鉄道駅の1km圏域または各路線のバス停1km圏域）の人口は約16,259人で総人口の約61%となっています。



※アクセシビリティ：交通の便の良さ、利用しやすさを意味します。

参考. アクセシビリティの評価に用いた時刻表

■鉄道駅（黒磯駅を8時着とした場合の各駅の最終便）

豊原駅：7:46 発、黒田原駅：7:51 発、高久駅：7:56 発 ⇒ 黒磯駅：8:01 着

■東野交通路線バス

①那須線

平日(休校日を除く)上り 那須線

- ①那須湯本～黒磯駅
- ②那須湯本～黒磯営業所～那須塩原駅
- ③那須湯本～那須中学校
- ④大丸温泉～那須湯本～那須塩原駅
- ⑤大丸温泉～那須平成の森～那須塩原駅

2/28まで
3/1から

水曜日のみ運行
水曜日以外の日運行

※黒磯駅に8時までに到着可能

	①	②	③	②	④	②	②	②	②	②	④	⑤	②	③	③	②	①	①	①	①			
那須ハイランドパーク																							
登山橋																							
登山14号通り																							
登山10号通り																							
三沢台4号通り																							
三沢台																							
唐松平																							
もみヶ丘																							
あけほの平																							
平和郷																							
南が丘牧場																							
藤城清治美術館入口																							
那須ロープウェイ																							
大丸温泉					9:42							15:27	15:12										
弁天東口					9:42							15:27	15:12										
北湯入口					9:44							15:29	15:14										
矢野岩北					9:46							15:31	15:16										
白戸川					9:46							15:31	15:16										
八幡崎												15:28											
那須平成の森												15:28											
八幡温泉					9:48							15:33	15:33										
なす高原自然の家					9:49							15:34	15:34										
つつし吊橋入口(おだん)					9:51							15:36	15:36										
那須高原ビクターセンター入口					9:53							15:38	15:38										
那須湯本温泉	6:25	7:20	7:30	8:25	9:00	10:00	10:40	11:25	11:50	12:35	13:50	14:50	15:45	15:45	15:55	16:22	16:37	16:50	17:25	17:55	18:50	19:30	
湯本2丁目	6:25	7:20	7:30	8:25	9:00	10:00	10:40	11:25	11:50	12:35	13:50	14:50	15:45	15:45	15:55	16:22	16:37	16:50	17:25	17:55	18:50	19:30	
湯本1丁目	6:26	7:21	7:31	8:26	9:01	10:01	10:41	11:26	11:51	12:36	13:51	14:51	15:46	15:46	15:56	16:23	16:38	16:51	17:26	17:56	18:51	19:31	
湯本旭町	6:27	7:22	7:32	8:27	9:02	10:02	10:42	11:27	11:52	12:37	13:52	14:52	15:47	15:47	15:57	16:24	16:39	16:52	17:27	17:57	18:52	19:32	
仲町	6:28	7:23	7:33	8:28	9:03	10:03	10:43	11:28	11:53	12:38	13:53	14:53	15:48	15:48	15:58	16:25	16:40	16:53	17:28	17:58	18:53	19:33	
新那須	6:29	7:24	7:34	8:29	9:04	10:04	10:44	11:29	11:54	12:39	13:54	14:54	15:49	15:49	15:59	16:26	16:41	16:54	17:29	17:59	18:54	19:34	
つつしヶ丘	6:30	7:25	7:35	8:30	9:05	10:05	10:45	11:30	11:55	12:40	13:55	14:55	15:50	15:50	16:00	16:27	16:42	16:55	17:30	18:00	18:55	19:35	
一軒茶屋	6:30	7:25	7:35	8:30	9:05	10:05	10:45	11:30	11:55	12:40	13:55	14:55	15:50	15:50	16:00	16:27	16:42	16:55	17:30	18:00	18:55	19:35	
国際ゴルフ場																							
スタンドグラス美術館前																							
上池田																							
池田																							
下池田																							
ロイヤルホテル入口																							
りんどう湖																							
御富士山前																							
太白岡																							
蒸気機関車前																							
春葉本店前(高湯台)	6:30	7:25	7:35	8:30	9:05	10:05	10:45	11:30	11:55	12:40	13:55	14:55	15:50	15:50	16:00	16:27	16:42	16:55	17:30	18:00	18:55	19:35	
那須高原保育園入口(養魚場入)	6:32	7:27	7:37	8:32	9:07	10:07	10:47	11:32	11:57	12:42	13:57	14:57	15:52	15:52	16:02	16:29	16:44	16:57	17:32	18:02	18:57	19:37	
高湯入口	6:33	7:28	7:38	8:33	9:08	10:08	10:48	11:33	11:58	12:43	13:58	14:58	15:53	15:53	16:03	16:30	16:45	16:58	17:33	18:03	18:58	19:38	
ジョイ・ミーア前(上守子)	6:33	7:28	7:38	8:33	9:08	10:08	10:48	11:33	11:58	12:43	13:58	14:58	15:53	15:53	16:03	16:30	16:45	16:58	17:33	18:03	18:58	19:38	
守子坂	6:35	7:30	7:40	8:35	9:10	10:10	10:50	11:35	12:00	12:45	14:00	15:00	15:55	15:55	16:05	16:32	16:47	17:00	17:35	18:05	19:00	19:40	
サファリパーク入口(下守子)	6:36	7:31	7:41	8:36	9:11	10:11	10:51	11:36	12:01	12:46	14:01	15:01	15:56	15:56	16:06	16:33	16:48	17:01	17:36	18:06	19:01	19:41	
上新屋	6:37	7:32	7:42	8:37	9:12	10:12	10:52	11:37	12:02	12:47	14:02	15:02	15:57	15:57	16:07	16:34	16:49	17:02	17:37	18:07	19:02	19:42	
新屋	6:37	7:32	7:42	8:37	9:12	10:12	10:52	11:37	12:02	12:47	14:02	15:02	15:57	15:57	16:07	16:34	16:49	17:02	17:37	18:07	19:02	19:42	
広谷地	6:38	7:33	7:43	8:38	9:13	10:13	10:53	11:38	12:03	12:48	14:03	15:03	15:58	15:58	16:08	16:35	16:50	17:03	17:38	18:08	19:03	19:43	
那須中学校			7:48													16:40	16:55						
友愛の森	6:39	7:34		8:39	9:14	10:14	10:54	11:39	12:04	12:49	14:04	15:04	15:59	15:59	16:09								
上白沢橋	6:39	7:34		8:39	9:14	10:14	10:54	11:39	12:04	12:49	14:04	15:04	15:59	15:59	16:09								
チーズガーデン前(白沢橋)	6:41	7:36		8:41	9:16	10:16	10:56	11:41	12:06	12:51	14:06	15:06	16:01	16:01	16:11								
田代	6:42	7:37		8:42	9:17	10:17	10:57	11:42	12:07	12:52	14:07	15:07	16:02	16:02	16:12								
田代小前	6:43	7:38		8:43	9:18	10:18	10:58	11:43	12:08	12:53	14:08	15:08	16:03	16:03	16:13								
お菓子の城(田代南)	6:43	7:38		8:43	9:18	10:18	10:58	11:43	12:08	12:53	14:08	15:08	16:03	16:03	16:13								
上松子	6:44	7:39		8:44	9:19	10:19	10:59	11:44	12:09	12:54	14:09	15:09	16:04	16:04	16:14								
下松子	6:45	7:40		8:45	9:20	10:20	11:00	11:45	12:10	12:55	14:10	15:10	16:05	16:05	16:15								
護国橋	6:47	7:42		8:47	9:22	10:22	11:02	11:47	12:12	12:57	14:12	15:12	16:07	16:07	16:17								
新高久	6:48	7:43		8:48	9:23	10:23	11:03	11:48	12:13	12:58	14:13	15:13	16:08	16:08	16:18								
那珂川	6:51	7:46		8:51	9:26	10:26	11:06	11:51	12:16	13:01	14:16	15:16	16:11	16:11	16:21								
晩翠楼	6:51	7:46		8:51	9:26	10:26	11:06	11:51	12:16	13:01	14:16	15:16	16:11	16:11	16:21								
宮町	6:52	7:47		8:52	9:27	10:27	11:07	11:52	12:17	13:02	14:17	15:17	16:12	16:12	16:22								
中央町	6:52	7:47		8:52	9:27	10:27	11:07	11:52	12:17	13:02	14:17	15:17	16:12	16:12	16:22								
黒磯駅(黒磯営業所)	7:00	7:55		9:00	9:35	10:35	11:15	12:00	12:25	13:10	14:25	15:25	16:20	16:20	16:30								
市民健康センター		7:57		9:02	9:37	10:37	11:17	12:02	12:27	13:12	14:27	15:27	16:22	16:22	16:32								
住吉町		7:58		9:03	9:38	10:38	11:18	12:03	12:28	13:13	14:28	15:28	16:23	16:23	16:33								
共栄社		7:59		9:04	9:39	10:39	11:19	12:04	12:29	13:14	14:29	15:29	16:24	16:24	16:34								
市役所入口		8:00		9:05	9:40	10:40	11:20	12:05	12:30	13:15	14:30	15:30	16:25	16:25	16:35								
豊浦入口		8:00		9:05	9:40	10:40	11:20	12:05	12:30	13:15	14:30	15:30	16:25	16:25	16:35								
那須グロコ乳業前		8:00		9:05	9:40	10:40	11:20	12:05	12:30	13:15	14:30	15:30	16:25	16:25	16:35								
下厚崎		8:01		9:06	9:41	10:41	11:21	12:06	12:31	13:16	14:31	15:31	16:26	16:26	16:36								

②伊王野線

全日上り 伊王野線

上町	7:20	9:10	15:50	16:50
小学校前	7:20	9:10	15:50	16:50
下町	7:21	9:11	15:51	16:51
伊王野車庫	7:21	9:11	15:51	16:51
下岩崎	7:22	9:12	15:52	16:52
東岩崎	7:23	9:13	15:53	16:53
東陽中	7:24	9:14	15:54	16:54
下芦野	7:25	9:15	15:55	16:55
唐木田	7:26	9:16	15:56	16:56
上野町	7:27	9:17	15:57	16:57
芦野仲町	7:28	9:18	15:58	16:58
芦野支所前	7:29	9:19	15:59	16:59
白井入口	7:31	9:21	16:01	17:01
塩阿久津	7:33	9:23	16:03	17:03
上塩阿久津	7:35	9:25	16:05	17:05
那須高校	7:37	9:27	16:07	17:07
登記所前	7:38	9:28	16:08	17:08
本町	7:39	9:29	16:09	17:09
役場前	7:40	9:30	16:10	17:10
黒田原駅	7:45	9:35	16:15	17:15

※黒磯駅に8時までには到着可能(黒田原駅7:51～黒磯駅:8:01)
黒磯駅に8:01着となるので対象とします

■町民バス

①湯本線

湯 本 線 (毎日運行)

乗降所	ゆめプラザ行		乗降所	湯本行	
1 いこいの家	7:40	13:40 17:00	1 ゆめプラザ前	8:50	15:46
2 湯本	7:42	13:42 17:02	2 余笹川ふれあい公園	8:51	15:47
3 旭町	7:44	13:44 17:04	3 幸町3	8:53	15:49
4 仲町	7:45	13:45 17:05	4 なすの苑前	9:01	15:57
5 新那須	7:46	13:46 17:06	5 那須高等学校前	9:04	16:00 17:44
6 一軒茶屋前	7:48	13:48 17:08	6 那須町役場	9:07	16:03 17:47
7 教会前	7:51	13:51 17:11	7 黒田原駅	9:09	16:05 17:49
8 池田	7:53	13:53 17:13	8 音羽町	9:11	16:07 17:51
9 四ツ川橋	7:54	13:54 17:14	9 小島	9:15	16:11 17:55
10 北条	7:56	13:56 17:16	10 大島1	9:19	16:15 17:59
11 藤塩	7:58	13:58 17:18	11 戸能	9:20	16:16 18:00
12 戸能	8:00	14:00 17:20	12 藤塩	9:22	16:18 18:02
13 大島1	8:01	14:01 17:21	13 北条	9:24	16:20 18:04
14 小島	8:05	14:05 17:25	14 四ツ川橋	9:26	16:22 18:06
15 音羽町	8:09	14:09 17:29	15 池田	9:27	16:23 18:07
16 黒田原駅	8:11	14:11 17:31	16 教会前	9:29	16:25 18:09
17 那須町役場	8:13	14:13 17:33	17 一軒茶屋前	9:32	16:28 18:12
18 那須高等学校前	8:16	14:16 17:36	18 新那須	9:34	16:30 18:14
19 なすの苑前	8:19	14:19	19 仲町	9:35	16:31 18:15
20 幸町3	8:27	14:27	20 旭町	9:36	16:32 18:16
21 余笹川ふれあい公園	8:29	14:29	21 湯本	9:38	16:34 18:18
22 ゆめプラザ前	8:30	14:30	22 いこいの家	9:40	16:36 18:20

※黒田原駅到着は8:11のため、7:51発～黒磯駅:8:01着に間に合わない

②追分・黒磯駅線

町民バス時刻表(追分・黒磯駅線)【毎日運行】

乗降所	黒磯駅行		乗降所	追分行	
1 追分	6:47	12:22 16:00	1 黒磯駅	11:00	14:37 17:30
2 碓石	6:51	12:26 16:04	2 宮町	11:01	14:38 17:31
3 打尾木	6:52	12:27 16:05	3 晩翠橋	11:02	14:39 17:32
4 大畑	6:53	12:28 16:06	4 那珂川	11:04	14:41 17:34
5 美野沢小前	6:54	12:29 16:07	5 愛宕前	11:05	14:42 17:35
6 養沢	6:55	12:30 16:08	6 高原病院前	11:06	14:43 17:36
7 梓入口	6:57	12:32 16:10	7 芦ノ又	11:07	14:44 17:37
8 下平	6:59	12:34 16:12	8 熊久保	11:08	14:45 17:38
9 坂本	7:01	12:36 16:14	9 赤坂	11:10	14:47 17:40
10 伊王野支所	7:05	12:37 16:15	10 平場	11:11	14:48 17:41
11 伊王野小前	7:07	12:42 16:20	11 望田	11:12	14:49 17:42
12 下町	7:08	12:43 16:21	12 寺子小	11:13	14:50 17:43
13 上睦家	7:10	12:45 16:23	13 寺子十文字	11:14	14:51 17:44
14 梁瀬入口	7:11	12:46 16:24	14 大林	11:15	14:52 17:45
15 樋世原	7:13	12:48 16:26	15 沼野井	11:17	14:54 17:47
16 稲沢	7:18	12:53 16:31	16 根柄下	11:18	14:55 17:48
17 番掛	7:23	12:58 16:36	16 番掛	11:19	14:56 17:49
18 根柄下	7:24	12:59 16:37	17 稲沢	11:24	15:01 17:54
19 沼野井	7:25	13:00 16:38	18 樋世原	11:29	15:06 17:59
20 大林	7:27	13:02 16:40	19 梁瀬入口	11:31	15:08 18:01
21 寺子十文字	7:28	13:03 16:41	20 上睦家	11:32	15:09 18:02
22 寺子小	7:29	13:04 16:42	21 下町	11:34	15:11 18:04
23 望田	7:30	13:05 16:43	22 伊王野小前	11:38	15:15 18:08
24 平場	7:31	13:06 16:44	23 伊王野支所	11:39	15:16 18:09
25 赤坂	7:32	13:07 16:45	24 坂本	11:40	15:17 18:10
26 熊久保	7:34	13:09 16:47	25 下平	11:42	15:19 18:12
27 芦ノ又	7:35	13:10 16:48	26 梓入口	11:44	15:21 18:14
28 高原病院前	7:36	13:11 16:49	27 養沢	11:46	15:23 18:16
29 愛宕前	7:37	13:12 16:50	28 美野沢小前	11:47	15:24 18:17
30 那珂川	7:38	13:13 16:51	29 大畑	11:48	15:25 18:18
31 晩翠橋	7:39	13:15 16:53	30 打尾木	11:49	15:26 18:19
32 宮町	7:40	13:16 16:54	31 碓石	11:50	15:27 18:20
33 黒磯駅	7:55	13:25 17:03	32 追分	12:03	15:40 18:33

※黒磯駅に8時までには到着可能

※いずれも平成29年1月時点

3. 上位関連計画

上位・関連計画として整理した計画は次のとおりです。

上位・関連計画	策定年度	計画期間
(1) 第7次那須町振興計画	H27	前期：H28～H32 後期：H33～H37
(2) まち・ひと・しごと創生・那須町総合戦略	H27	H27～H31
(3) 那須町都市計画マスタープラン	H23	H27*・H37**
(4) 八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン	H26	H26～H30
(5) 那須地域定住自立圏共生ビジョン	H27	H27～H31
(6) 那須町地域公共交通総合連携計画	H24	H25～H28

※土地利用・都市施設等の決定の方針の目標年次

※※将来の市街地像の目標年次

3.1 第7次那須町振興計画

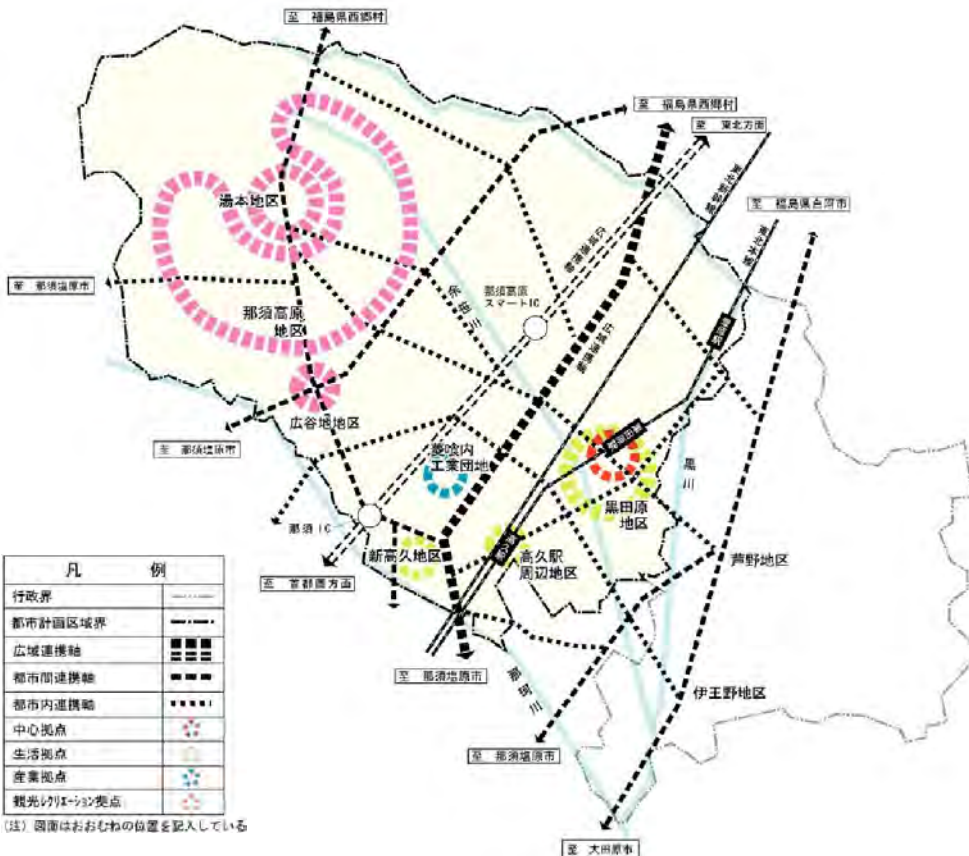
項目	内容
策定	平成28年3月
計画期間	基本構想：平成28年度～平成37年度 計画期間：前期 平成28年度～平成32年度 後期：平成33年度～平成37年度
町の将来像	<p>「みどり輝き活気と笑顔あふれるまち ふるさと那須」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「みどり輝き」とは本町の重要産業である農業、林業等の活性化が図られ生産者、消費者双方にとって魅力あふれるまちとなる姿をイメージする。 「活気」とは那須町に住んでいる人、仕事や学業、観光で訪れる人、皆で協力し、より良いまちづくりのため常に新しいことに挑戦している姿をイメージする。 「笑顔あふれる」とは町民はもとより、那須町を訪れる全ての人の安全が確保され安心して過ごし、皆が元気に笑顔で過ごしている姿をイメージする。 「ふるさと那須」とは那須町に関わる全ての人、企業、団体が協働のまちづくりのもと、多くの人にとって新たな「ふるさと」になることをイメージする。
将来市街地像	<p>町の将来像の実現に向けて、「拠点」、「ゾーン」、「軸」により「まちの空間構造」を形成。</p> <p>Legend:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活力拠点 ○ 定住拠点 ○ 観光拠点 ○ 交流拠点（道の駅等の拠点施設周辺） ■ 自然環境ゾーン（那須連山） ■ 森林ゾーン（八溝山地） ■ 田園・平地林ゾーン ■ 住宅ゾーン ■ 商業・業務ゾーン ■ 工業ゾーン ⇄ 広域交流軸（高速道路） ⇄ 広域交流軸（国道） ⇄ 交流軸

<p>交通体系の整備の方針</p>	<p>【基本方針4】観光・交流・連携のまち</p> <p>①路線バス運行支援と町民バスの運行</p> <p>○地域の生活の足である民間バス路線について、事業者と連携し、路線維持に努めます。</p> <p>○町民バスの運行については、既存公共交通機関とのアクセスや通勤通学等の住民ニーズを的確に捉え、運行ダイヤの工夫に努めます。</p> <p>②デマンド型乗合交通の運行</p> <p>○高齢者などの交通手段の確保を図るため、町内を広範囲にカバーするデマンド型乗合交通の運行を行うとともに、他の交通機関とのネットワーク整備を進め、更なる利便性向上を目指します。</p> <p>③那須高原の渋滞対策</p> <p>○那須高原の渋滞緩和と、観光客の周遊性向上、環境負荷の軽減を図るため、那須高原パークアンドバスライド社会実験の結果を踏まえ、交通情報の提供等による渋滞対策を推進します。</p> <p>④JR宇都宮線の利便性向上への取り組み</p> <p>○JR宇都宮線の白河駅までの延伸要望活動を行い、運行本数の増加による利便性の向上を目指します。</p>												
<p>目標値</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標名</th> <th>単位</th> <th>基準値/H26年度</th> <th>目標値/H32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デマンド型乗合交通利用者</td> <td>人</td> <td>5,446</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>町民バス利用者(1日平均)</td> <td>人</td> <td>30</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	成果指標名	単位	基準値/H26年度	目標値/H32年度	デマンド型乗合交通利用者	人	5,446	8,000	町民バス利用者(1日平均)	人	30	40
成果指標名	単位	基準値/H26年度	目標値/H32年度										
デマンド型乗合交通利用者	人	5,446	8,000										
町民バス利用者(1日平均)	人	30	40										

3.2 まち・ひと・しごと創生・那須町総合戦略

項目	内容
<p>策定</p>	<p>平成28年3月</p>
<p>計画期間</p>	<p>平成27年度～平成31年度</p>
<p>基本的な視点</p>	<p>【視点1】人口減少の克服と地域経済の活性化</p> <p>①那須町に住み、働き、豊かな生活を送りたい人の希望を実現する。</p> <p>②若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する。</p> <p>③地域の課題を解決する。</p> <p>【視点2】まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立</p> <p>①地域経済の活性化、産業の高付加価値等による「しごとの創生」</p> <p>②地方就労の促進や移住定住促進等による「ひとの創生」</p> <p>③安心できる暮らしの確保や町のコンパクト化、広域連携等による「まちの創生」</p>
<p>交通体系の整備の方針</p>	<p>【戦略目標1】産業振興による活力ある地域戦略</p> <p>○インバウンド観光の受入れ体制整備として、二次交通の整備を加速化させ、外国人観光客がストレスなく町内を周遊する環境を整える。</p> <p>【戦略目標2】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>○町内にある2つの道の駅について、情報発信機能や交通ハブ機能を強化するとともに、インバウンド対応も強化していく。</p> <p>【戦略目標4】安心で確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>○町民バス、デマンド型乗合交通等の利用により、外出困難地域や買い物難民の解消</p>

3.3 那須町都市計画マスタープラン

項目	内容																				
策定	平成 23 年 7 月																				
目標年次	土地利用・都市施設等の決定の方針：平成 27 年 将来の市街地像：平成 37 年																				
都市づくりの基本理念	①地域特性を生かした集約型都市づくり ②広域公共交通を生かした交通ネットワークの構築 ③環境に配慮した都市づくり ④歴史・文化等を生かした魅力ある国際観光都市づくり																				
将来市街地像	 <p>The map illustrates the future urban landscape of Nasu City, showing various zones and transportation routes. Key areas include the Nasu Plateau (那須高原) and Nasu Plateau Smart Interchange (那須高原スマートインターチェンジ). The map also shows the location of major roads and public transportation lines, as well as the positions of various landmarks and facilities.</p> <table border="1" data-bbox="375 1097 598 1355"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行政界</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>都市計画区域界</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>広域連携軸</td> <td>■ ■ ■ ■</td> </tr> <tr> <td>都市間連携軸</td> <td>■ ■ ■ ■</td> </tr> <tr> <td>都市内連携軸</td> <td>■ ■ ■ ■</td> </tr> <tr> <td>中心拠点</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>生活拠点</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>産業拠点</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>観光レクリエーション拠点</td> <td>◇</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 図面はおおむねの位置を記入している</p>	凡 例		行政界	---	都市計画区域界	---	広域連携軸	■ ■ ■ ■	都市間連携軸	■ ■ ■ ■	都市内連携軸	■ ■ ■ ■	中心拠点	●	生活拠点	○	産業拠点	△	観光レクリエーション拠点	◇
凡 例																					
行政界	---																				
都市計画区域界	---																				
広域連携軸	■ ■ ■ ■																				
都市間連携軸	■ ■ ■ ■																				
都市内連携軸	■ ■ ■ ■																				
中心拠点	●																				
生活拠点	○																				
産業拠点	△																				
観光レクリエーション拠点	◇																				
交通体系の整備の方針	<p>【3-2 (1) 交通施設の都市計画の決定の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京圏、東北圏、県都宇都宮との連携・交流を強化する広域連携軸形成 ○隣接する那須塩原市、大田原市等の周辺市町を結ぶ都市間連携軸の整備 ○行政、生活の拠点である黒田原地区と区域内各地を連携する道路網強化 ○JR東北本線、東北縦貫自動車道の那須高原スマートインターチェンジの有効活用や観光周遊を支援する道路の機能向上 ○バスなどの公共交通機関や大規模駐車場の設置及びパーク・アンド・バスライドの導入などにより、観光交通ネットワークの形成 ○ユニバーサルデザインの視点から道路等の交通施設を計画・整備推進 ○ゆとりある歩行者空間の創出 ○路線バス等の運行の円滑化や利便性の向上 ○鉄道駅へのアクセスの強化を図る施設のバリアフリー化推進 																				

3.4 八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン

項目	内容
策定	平成 26 年 10 月
期間	平成 26 年度～平成 30 年度
圏域形成 市町村	<p>【栃木県】 大田原市（中心市）、那須塩原市、那須町、那珂川町</p> <p>【福島県】 棚倉町、矢祭町、塙町</p> <p>【茨城県】 大子町</p>
将来像	<p>“持続的、魅力的で幸福感あふれる圏域づくりをめざして” 構成する市町が「選択と集中」、「集約とネットワーク」の視点に立った新しい広域連携のあり方に着目し、機能的な連携を図ることによって、個性的で創意豊かな地域づくりを目指し、交流から定住に結びつく人口の確保を図りながら持続的、魅力的で幸福感あふれる圏域づくりを進めていきます。</p>
取組	<p>圏域内住民のニーズの高度化・多様化にも応えられる行政サービスを実現するため、以下の視点・分野による取組を実施します。</p> <p>【生活機能の強化】 ○保健医療、福祉、教育、産業振興、環境、防災消防、その他</p> <p>【結びつきやネットワークの強化】 ○地域公共交通、インフラ整備に関する要望活動等、圏域内の交流促進、文化・芸術等の連携</p> <p>【圏域マネジメント能力の強化】 ○人材育成、外部からの人材確保、コンピュータシステムの共同利用等、地域人材の活用</p>
公共交通 関連	<p>地域公共交通は「結びつきやネットワークの強化に係わる政策分野」に位置付けられていて、取組方針や事業などは以下となります。</p> <p>【取組方針】 ○圏域内住民の移動手段の確保と利便性の向上を図るため、地域公共交通の維持・確保や整備など、県境、市町境を越えた運行可能な形態の検証、検討を行う必要があることから、圏域全体における地域公共交通について調査研究等を行います。特に、バス事業については、路線バスの近隣市町への相互乗り入れや、市町間における路線バスの乗り継ぎの強化などが喫緊の課題となっていることから、運行可能な形態の検証、検討を行っていきます。</p> <p>【事業】 ○広域的な地域公共交通の研究事業として、路線バスの相互乗り入れ、市町間における路線バスの乗り継ぎの強化など、運行可能な形態の検証と検討します。</p>

3.5 那須地域定住自立圏共生ビジョン

項目	内容
策定	平成 27 年 11 月
期間	平成 27 年度～平成 31 年度
圏域形成市町村	【栃木県】 那須塩原市（中心市）、大田原市、那須町、那珂川町
将来像	<p>「多自然地域と居住都市の新たな共生」 ～自然を育み、魅力・活気に満ちた圏域の創出を目指して～</p> <p>①～③などの恵まれた地域特性を最大限に活かしていくため、構成市町との連携を図って事業に取り組んでいきます。</p> <p>①エネルギーや食料を地域で自給できる多くの可能性を秘めた圏域 ②地域固有の他に誇れる歴史・文化を有した生活・経済圏域 ③那須塩原駅をはじめ那須地域の玄関口にあたる地域</p>
取組	<p>本圏域の将来像を実現するため、重点テーマを「地域内のエネルギー・食料等の自給構造の確立」と「他地域との差別化による交流人口・定住人口増」に設定します。</p> <p>【地域内のエネルギー・食料等の自給構造の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域内のエネルギー・食料等の地産地消 ○地域住民が中心となって、地域内で人材・資源・資金が循環する仕組みの創設 <p>【他地域との差別化による交流人口・定住人口増】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本圏域の観光資源及び交通拠点施設（新幹線駅、高速 IC 等）を活用した交流ネットワークの構築 ○観光戦略、公共交通ネットワークの拡充、地域プロモーション等 <p>那須地域定住自立圏の地域特性並びに重点テーマを推進するため、本圏域においては、特に「公共交通」、「観光」そして「環境」の分野について重点的に取り組むこととし、本圏域の将来像の実現を目指していきます。</p> <div data-bbox="399 1232 1308 1971" style="text-align: center;"> <p>公共交通</p> <p>公共交通のネットワーク化を図り、利用者の利便性を向上させることにより、公共交通の利用を促進し、圏域内の交流の活性化を図る。</p> <p>将来像</p> <p>「多自然地域と居住都市の新たな共生」 ～自然を育み、魅力・活気に満ちた 圏域の創出を目指して～</p> <p>観光</p> <p>圏域内の自然景勝地や温泉、歴史・文化、農産物等の魅力あふれる観光、物産資源を有効に活用し、観光客の増加や販路の拡大に向けた PR 活動に連携して取り組む。</p> <p>環境</p> <p>圏域の豊かな自然環境を保全育成するとともに、地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入を促進し、低炭素社会に対応した圏域のエネルギーの創造及び利活用を図る。</p> </div>

<p style="text-align: center;">公共交通 関連</p>	<p>地域公共交通は「結びつきやネットワークの強化に係わる政策分野」に位置付けられていて、取組方針や事業などは以下となります。</p> <p>【目指すべき方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域内外の往来を活発化し、日常生活圏の拡大や利便性の向上を図るためのバス路線の再編等の支援、その他の地域公共交通サービスの提供等に向けた連携を図ります。 <p>【形成協定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共交通のネットワーク化を図り、利用者の利便性を向上させることにより、公共交通の利用を促進し、圏域内の交流の活性化を図ります。 <p>【事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共交通需要調査事業として、利用者を含めた住民アンケート調査等による交通実態調査を実施し、圏域内の公共交通に関する現状の分析や課題の整理を行うとともに、各市町の取組の調整を図り、圏域内の公共交通ネットワークの構築を図ります。 ○那須塩原駅東口バリアフリー化事業として、圏域の拠点となり得る那須塩原駅のバリアフリー化を行うことで、那須塩原駅の東西連絡通路を利用者が安全で快適に利用できるよう、東西連絡通路東口にエレベーターを設置します。
--	--

3.6 前計画の検証

前計画と位置づけられる「那須町地域公共交通総合連携計画」策定時の課題や基本方針、目標などは以下になります。

■前計画の課題

課題	内容
①マイカー利用に頼らざるを得ない交通事情の改善	<ul style="list-style-type: none"> 町民アンケート調査の結果から、「自動車を運転しているから公共交通を利用する必要がない」回答者の割合は若い世代で9割、60～70代でも7割と高く、マイカー依存の状況が伺える。一方で、自動車運転が困難になった場合の移動手段を不安視する意見も多い。特に、自動車運転事故の危険を感じながらも手放すことが出来ない高齢者の存在も明らかとなっている。 以上のことから、マイカー利用に頼らざるを得ない交通事情を改善することが課題と考えられる。
②町民の移動需要を踏まえた運行サービスの設定	<ul style="list-style-type: none"> 現在の町民バスは、3路線が1日1往復運行となっている。運行時間帯は朝から昼過ぎまでとなっており、町民アンケート調査結果との比較検証から、外出時に往復で利用可能な町民は限られていると考えられる。片道しか利用できない場合、町民バスの利用促進が困難であり、外出意欲を阻害すること等も懸念される。 町の費用負担額との兼ね合いはあるが、町民の移動需要を踏まえながら、運行サービスを設定することが課題と考えられる。
③町民バスの運行効率化	<ul style="list-style-type: none"> 人口が町域全体に低密度で点在している状況に対し、定路線型の運行形態で広範囲をカバーしようとしているため、運行サービスは低下し、1便あたりの利用者数が少ない等、運行効率が悪い状態となっている。現況整理の結果から、地形的な特性や施設の集積状況等により、町内にはいくつかの地域特性が見られる。一律のサービスを広範囲で展開するのではなく、それら地域特性を踏まえた運行サービス設定等により、町民バスの運行を効率化することが課題と考えられる。

■前計画の基本方針

①生活交通に利用できる公共交通体系の構築

- 自動車等を利用できない人の移動手段を確保することを念頭に、民間路線バス及びタクシーと連携し、通院や買物等に利用できる公共交通体系を構築する。
- 町民の移動需要を踏まえた運行サービスを設定することにより、マイカー利用に頼らざるを得ない交通事情の改善を目指す。（課題1・課題2に対応）

②地域特性に応じた運行形態の設定

- 人口分布や観光施設の集積状況等、地域特性に応じて効率的な運行形態を設定し、町民バスの運行効率化を実現する。（課題3に対応）

③他の公共移送サービスとの連携による効率化の実現

- スクールバスや観光周遊バス、福祉タクシー等、町内に展開している他の公共移送サービスとの連携を図る。
- 那須町全体の地域公共交通サービスを効率化し、町民バスの運行効率化を実現する。（課題3に対応）

■前計画の目標

目標	内容
①通学・買物・通院に利用できる公共交通の実現	<ul style="list-style-type: none"> 現況の町民バスは利用できる人が路線の沿線に住み、かつ少ない運行本数に予定を合わせることができる人に限定されている。そのため、多くの町民が通学・買物・通院に公共交通を利用できない状況にある。 町民バスのデマンド型運行等、地域の需要特性に応じた運行の実施により、町民が通学・買物・通院に利用できる公共交通の実現を目指す。
②わかりやすく利用しやすい公共交通の実現	<ul style="list-style-type: none"> デマンド型運行は定時定路線型の運行に比べ利用方法がわかりづらく、運行エリアの拡大により利用者の増加が期待できる反面、利用方法がわからないことによる利用者離れが懸念される。また、利用を促進するためには路線再編に加え、運賃制度の見直しも必要である。 デマンド型運行の利用方法等を町民に向けわかりやすくPRするとともに、高頻度利用者や相乗り利用に貢献した人に対する割引運賃を導入し、わかりやすく、利用しやすい公共交通の実現を目指す。
③町内公共移送サービスの相互連携による効率化の実現	<ul style="list-style-type: none"> 町は町民バス以外にも路線バス及び観光交通への運行補助、スクールバスの運行を行っており、相互連携による効率化については検討の余地が残されている。 連携によりサービス向上・効率化が可能な部分を模索し、相互連携の実現を目指す。

前計画の検証結果は下表のとおりです。

町民バスの路線再編事業（デマンド型乗合交通の導入）により町内の公共交通体系を再構築し、利用者数を増加させることができました。一方で「町民バスの通学利用促進」及び「わかりやすい公共交通情報の提供」では施策の実施効果が発現しておらず、また「利用しやすい運賃制度の導入」は実施課題として残されています。「町民バスの通学利用促進」については見直しダイヤによる運行を継続し効果発現に向けたPRを行います。また「わかりやすい公共交通情報の提供」及び「利用しやすい運賃制度の導入」については、課題解決に向けた新たな取り組みを検討します。

事業	実施	目標			地域公共交通総合連携計画の目標達成状況の評価
		指標	現状	目標値(H28)	
1. 町民バスの路線再編事業					
【1-1】町内全域におけるデマンド型実証運行	○	<ul style="list-style-type: none"> 町民バス（デマンド型運行）の利用者数 	<ul style="list-style-type: none"> 13,251人 (H23) ※学生を除く (学生利用者数：2,600人) 	<ul style="list-style-type: none"> 17,400人 ※学生を除く 	<ul style="list-style-type: none"> △ 17,326人 (H27) ※学生を含む • 目標値には至らなかったが、学生を含む総利用者数は15,851人から9%増加した。
【1-2】通学需要対応路線の運行	△	<ul style="list-style-type: none"> 町民バス（通学目的）の利用者数 	<ul style="list-style-type: none"> 10人/日 (H24) 	<ul style="list-style-type: none"> 22人/日 	<ul style="list-style-type: none"> × 10人/日 (H28) • 湯本線で通学需要に対応したダイヤ編成を実施したが、利用者数は減少した。

事業	実施	目標			地域公共交通総合連携計画の 目標達成状況の評価	
		指標	現状	目標値 (H28)		
2. 町民バスの利用促進事業						
【2-1】 町民バス利用方法に関する情報提供の実施	○	• 公共交通のわかりやすさ向上に向けた情報提供の実施	• 未実施	• 実施	○	• 町内公共交通マップの作成やデマンド型乗合交通の利用案内を作成した。
【2-2】 利用しやすい運賃制度の導入	×	• 利用しやすい運賃制度の導入	• 未実施	• 実施	×	• 相乗り割引券の発行とサポーター制度の導入を検討したが、導入当初における制度の複雑化を回避するため導入は見送られた。
3. 町内公共移送サービスの効率化促進事業						
【3-1】 観光者対応バスの活用検討	○	• 観光交通との連携に関する取り組みの実施	• 未実施	• 実施	○	• 1日フリーパス券以外に、1回乗車券（ちょいのり券）を開始し、利用促進を図った。
【3-2】 スクールバスの活用検討	×	• スクールバスとの連携に関する取り組みの実施	• 未実施	• 実施	×	• 庁内関係機関との協議の結果、スクールバスとの連携は実施できなかった。

4. 公共交通の利用実態や利用ニーズ

4.1 調査概要

那須町の公共交通の利用実態や利用ニーズを把握するため、那須町民、町内バス利用者、デマンド型乗合交通登録者を対象としたヒアリング・アンケート調査を実施し、町内バスについてはバス停間OD調査も実施しました。そして、町内に営業所を置く黒田原タクシーの利用状況も調査しました。

平成23年に実施した町民アンケート調査は前計画である「那須町地域公共交通総合連携計画」策定時の町民の公共交通の利用実態や利用ニーズを調査したものです。前計画をうけて再編した公共交通に対する利用実態を調査するため、平成28年にも町民アンケート調査を実施しました。

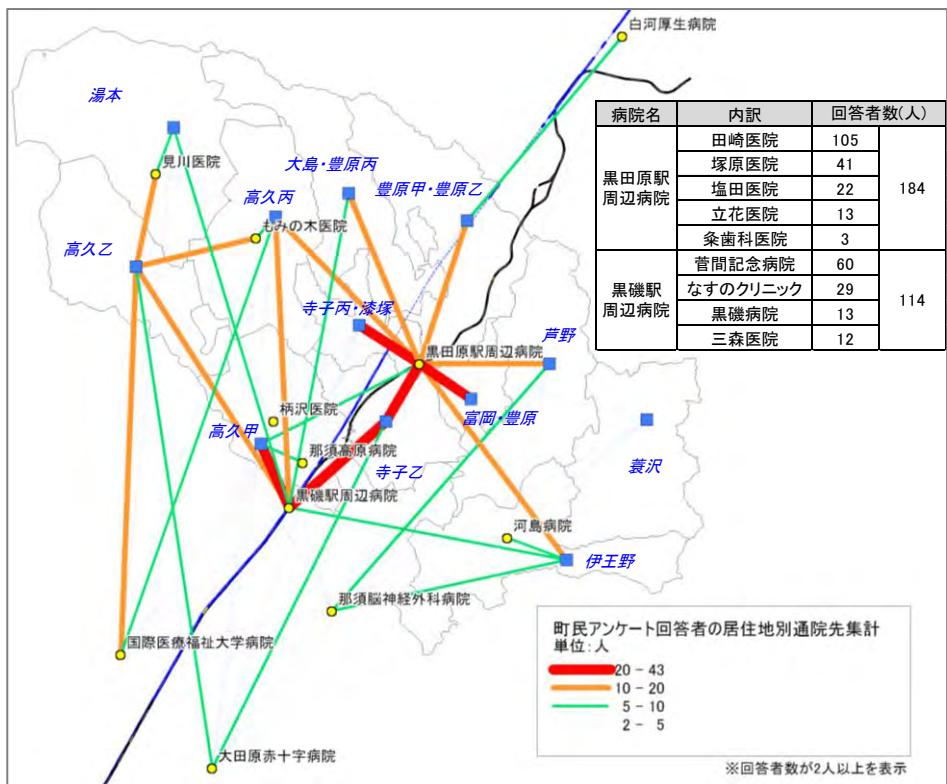
調査	主な調査内容	調査日	回収・回答状況
町民アンケート調査	外出状況など	H23.12	配布数：2,500 回収数：1,024 回収率：41%

調査	主な調査内容	調査日	回収・回答状況
町民アンケート調査	町外への移動状況など	H28.8.11（木）～22（月）	配布数：1,500 回収数：593 回収率：40%
町内バスOD調査	バス利用者の属性など	H28.10.10（月・祝日） H28.10.18（火）	平日：916 休日：1,030
町内バス利用者アンケート調査	バス利用状況 バス満足度など	H28.10.10（月・祝日） H28.10.18（火）	平日：68 休日：86
デマンド型乗合交通登録者アンケート調査	デマンド交通利用状況 デマンド交通満足度など	H28.8.11（木）～22（月）	配布数：1,291 回収数：625 回収率：48%
タクシー利用者調査	タクシーの利用状況など	H28.8.11（木）～13（土） H28.10.10（月・祝日） H28.10.18（火）	8月：147 10月：73

4.2 町民アンケート調査（平成23年度）

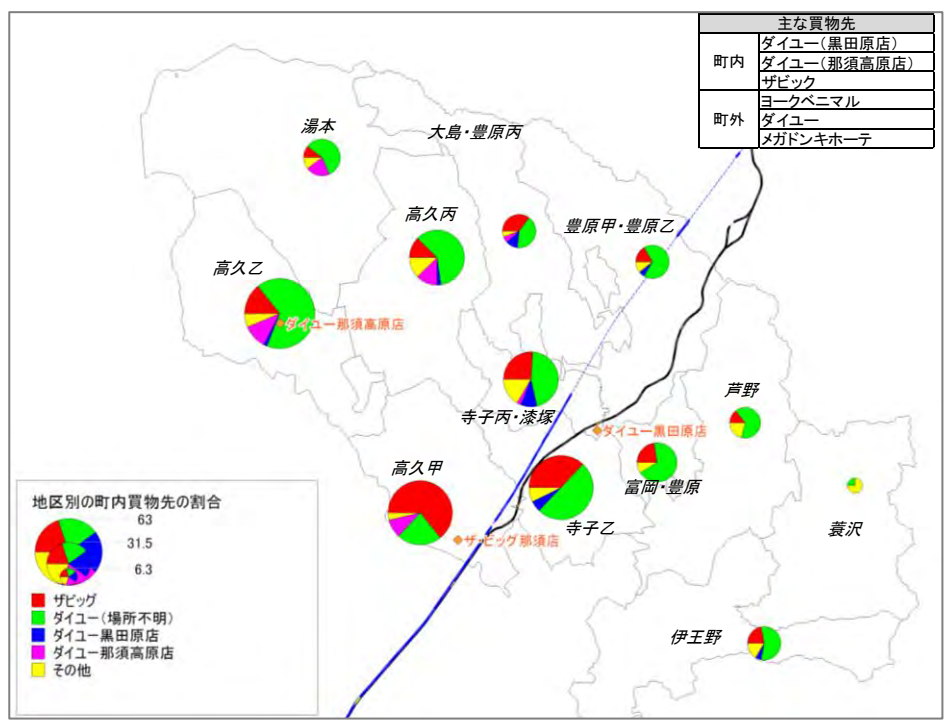
4.2.1 通院状況

通院状況は「黒田原駅周辺（田崎医院・塚原医院など）」や「黒磯駅周辺（菅間記念病院・なすのクリニックなど）」が多くなっています。



4.2.2 買物状況

町内では「ダイユー」や「ザ・ビッグ」を利用し、町外では那須塩原市の「ヨークベニマル」などを利用しています。

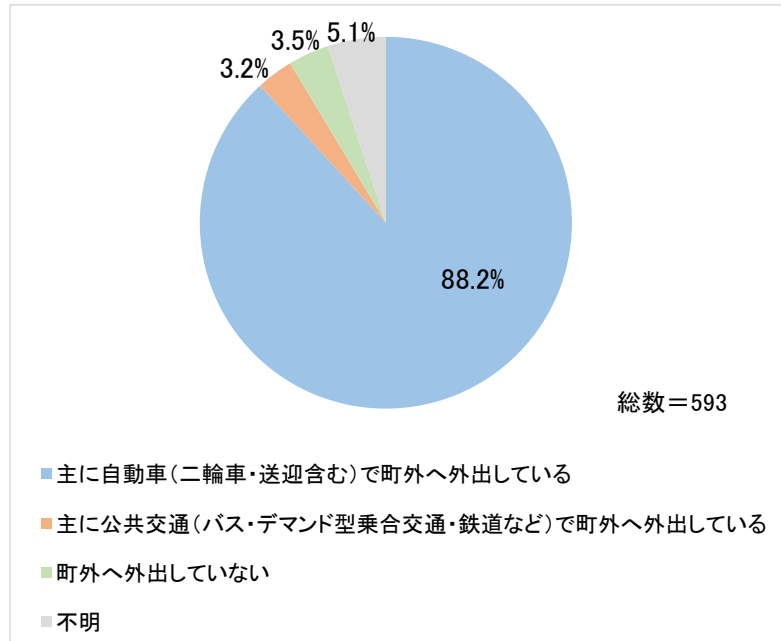


【調査日】平成23年12月調査（町民アンケート調査）

4.3 町民アンケート調査（平成28年度）

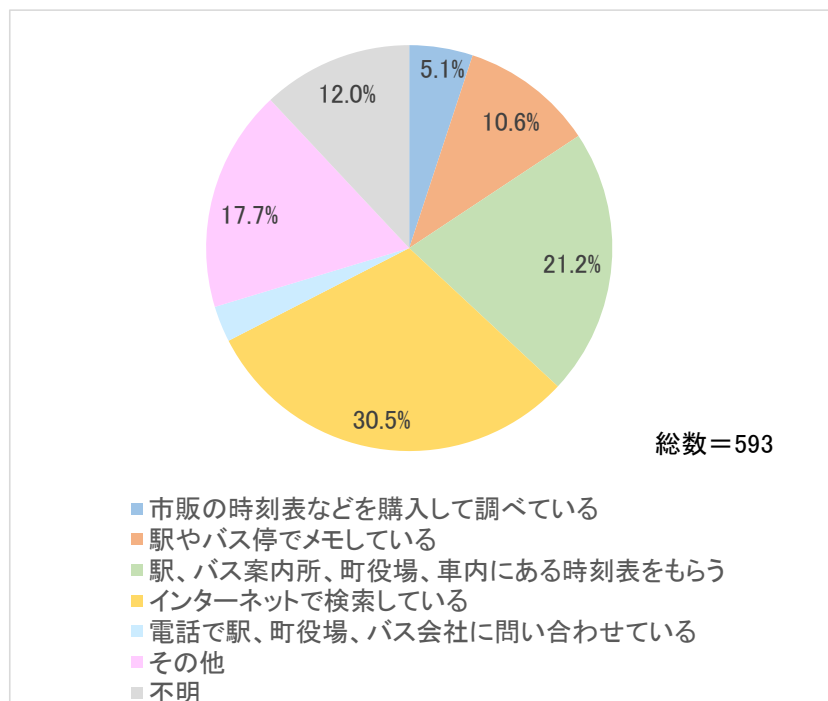
4.3.1 町外への移動手段

町民アンケート調査結果より、町外への移動手段については「主に自動車（二輪車・送迎含む）」の割合が88%と高く、「主に公共交通（バス・デマンド型乗合交通・鉄道など）」の割合は3%と非常に低くなっています。



4.3.2 バス運行情報の入手方法

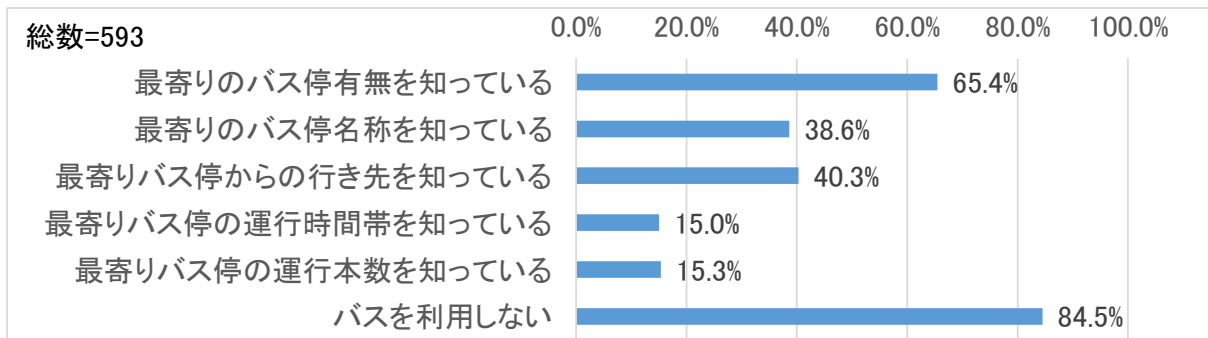
バス運行情報の入手方法は、インターネットやスマートフォン等の普及に伴い、「紙媒体によるもの」から「インターネット検索」が最も多くなっています。



【調査日】平成28年8月調査（町民アンケート調査）

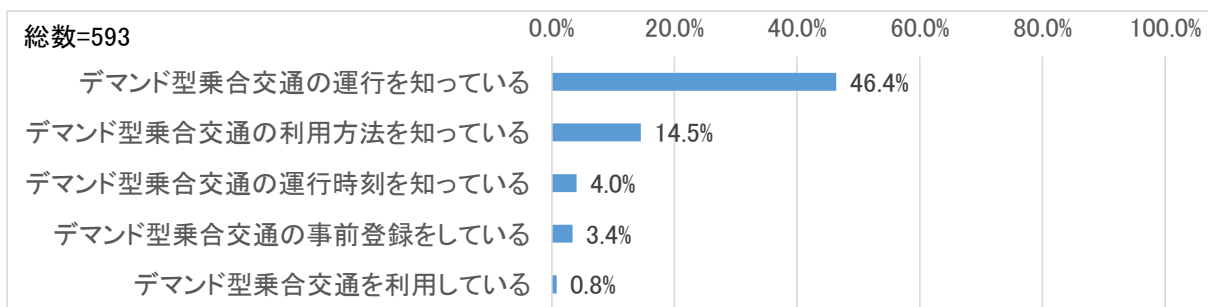
4.3.3 バス運行情報の認知度・バス利用頻度

バス運行情報の認知度は低く、バスを利用しない人の割合は町民全体の85%を占めています。



4.3.4 デマンド型乗合交通の認知度・利用頻度

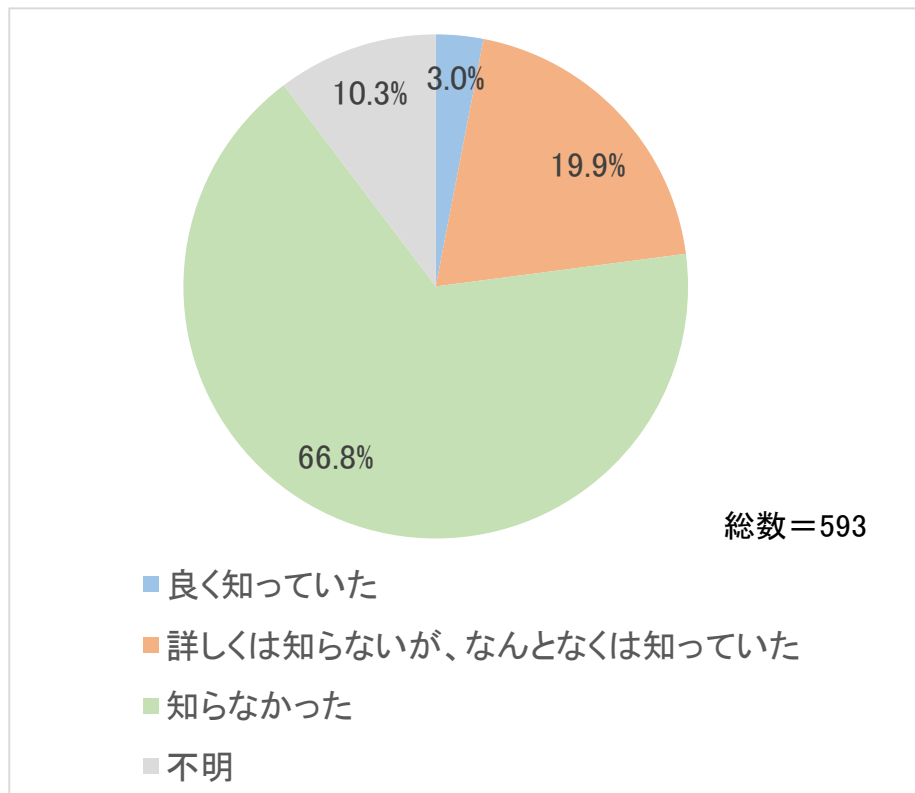
デマンド型乗合交通の運行情報の認知度は低く、デマンド型乗合交通の事前登録をしている人は町民全体の3%で、実際に利用している人は0.8%となっています。



【調査日】平成28年8月調査（町民アンケート調査）

4.3.5 路線再編の認知度

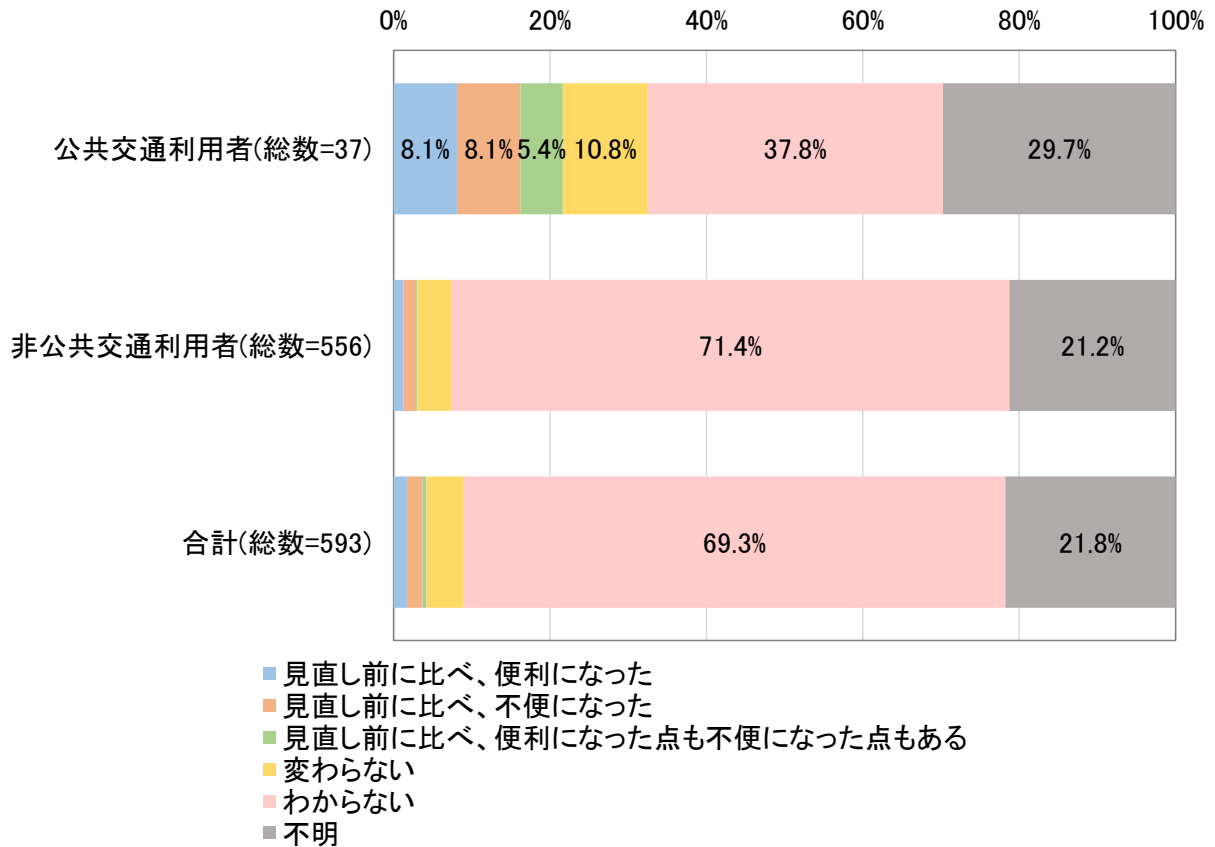
路線再編については「知らなかった」と回答した人が町民全体の67%、「良く知っていた」と「詳しくは知らないが、なんとなくは知っていた」を合わせた割合は23%であり、路線の再編状況を知らない人が大半を占める状況です。



【調査日】平成28年8月調査（町民アンケート調査）

4.3.6 路線再編の評価

現在、公共交通を利用している人（バスまたはデマンド型乗合交通を利用していると回答）は「見直し前に比べ、便利になった」と「見直し前に比べ、不便になった」がともに8%となっています。一方で、現在、公共交通を利用していない人は「わからない」が71%となっています。



参考. 公共交通利用者の便利になった・不便になった点

【主な便利になった点】

- ・デマンド型乗合交通は自宅近くの停留所から乗れて、帰りは自宅まで来てくれる。
- ・帰りは自宅まで送ってもらえるので荷物が多い時など、非常に便利。

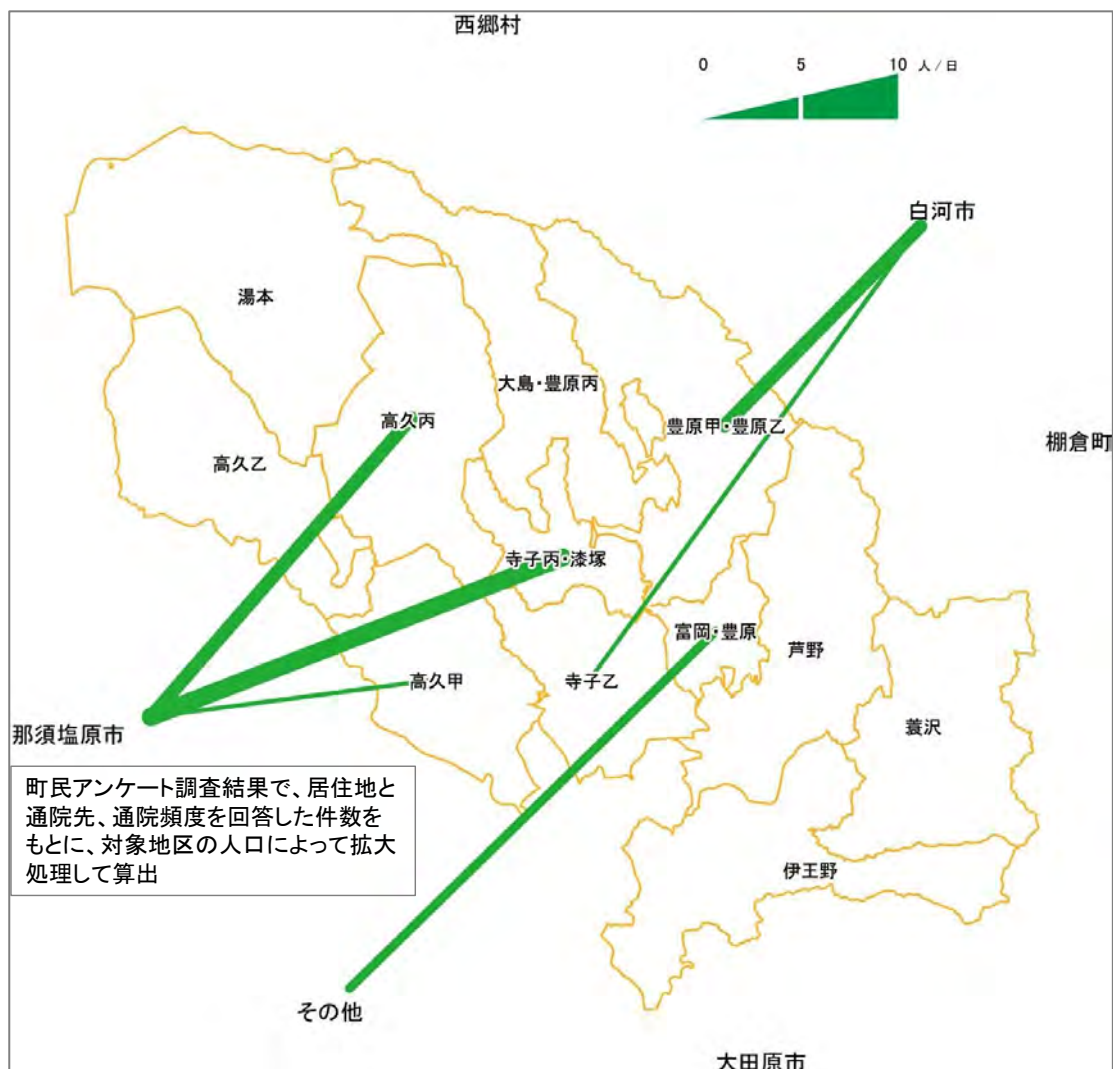
【主な不便になった点】

- ・バスがなくなり、利用したいときに行けない。
- ・デマンド型乗合交通は前日に電話で予約することが不便。当日でも利用出来たら良い。

【調査日】平成28年8月調査（町民アンケート調査）

4.3.7 公共交通での通院状況

町民アンケート調査結果から、町民の町外への公共交通での通院流動を整理した結果、那須塩原市の「国際医療福祉大学病院」や白河市にある「白河厚生総合病院」が多く、那須塩原市と白河市に通院する人が多くなっています。

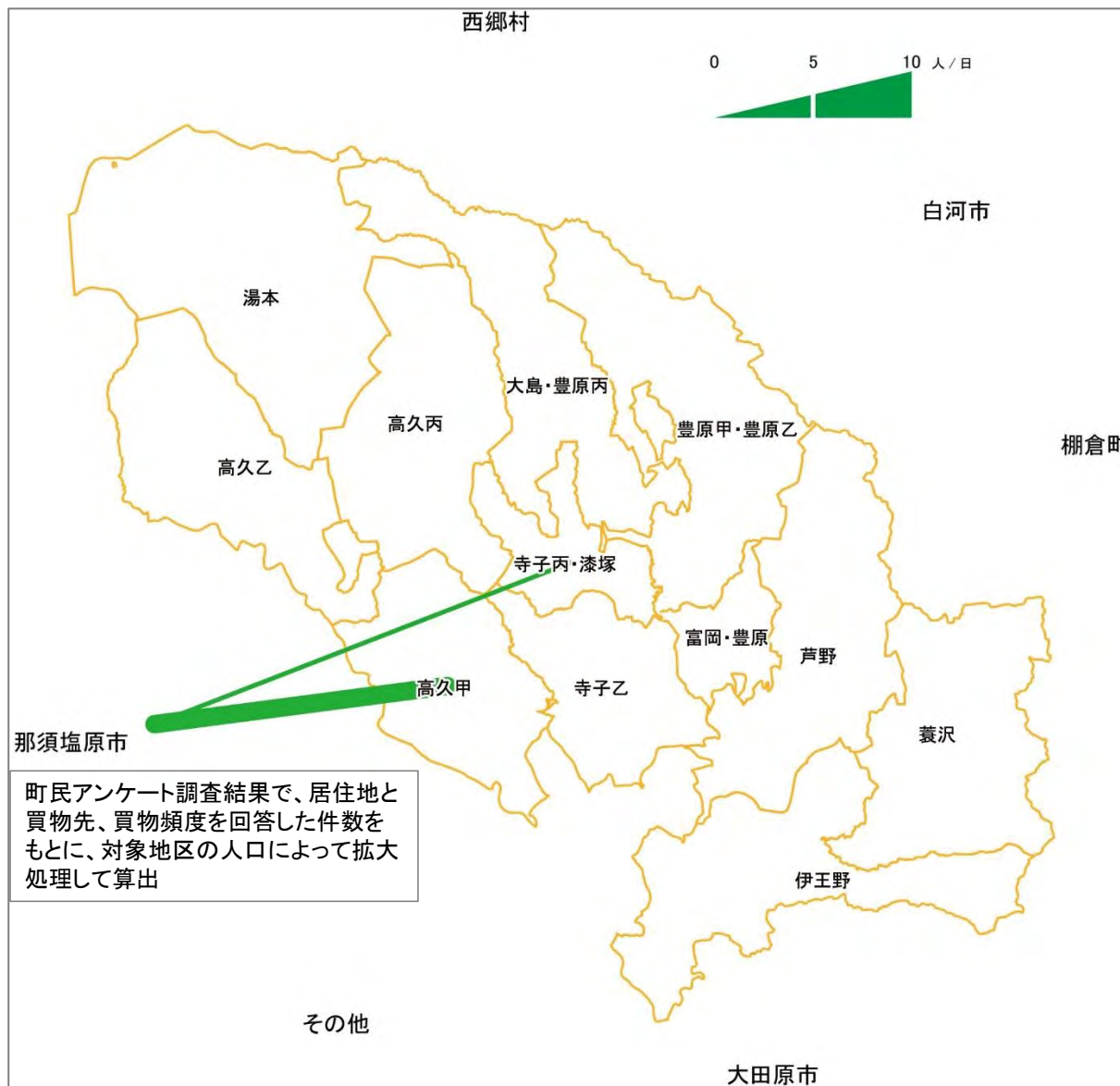


主な通院先	回答数
国際医療福祉大学病院	3
白河厚生総合病院	3
近藤眼科	1
慶應義塾大学病院	1
那須高原病院	1
菅間記念病院	1
那須高原病院	1
福島整形外科病院	1

【調査日】平成28年8月調査（町民アンケート調査）

4.3.8 公共交通での買物状況

町民アンケート調査結果から、町民の町外への公共交通での買物流動を整理した結果、「MEGA ドン・キホーテ 黒磯店」など那須塩原市へ買物をする人が多くなっています。

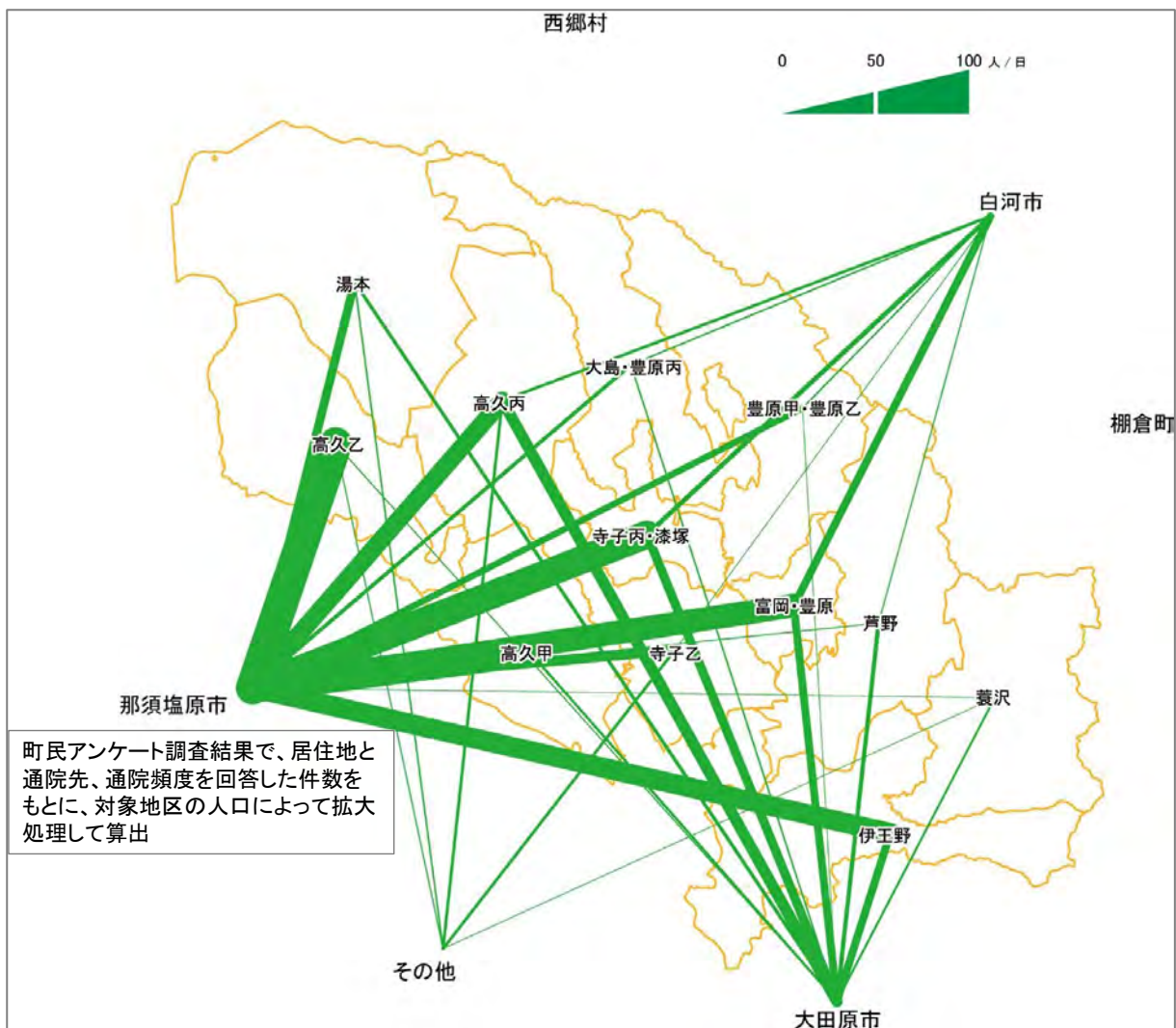


主な買い物先	回答数
MEGAドン・キホーテ 黒磯店	2
ヨークベニマル 黒磯店	1
ヨークベニマル那須塩原店	1
トライアル那須塩原店	1

【調査日】平成 28 年 8 月調査（町民アンケート調査）

4.3.9 自動車での通院状況

町民アンケート調査結果から、町民の町外への自動車での通院流動を整理した結果、那須塩原市の「菅間記念病院」や「国際医療福祉大学病院」、大田原市の「那須赤十字病院」が多くなっています。

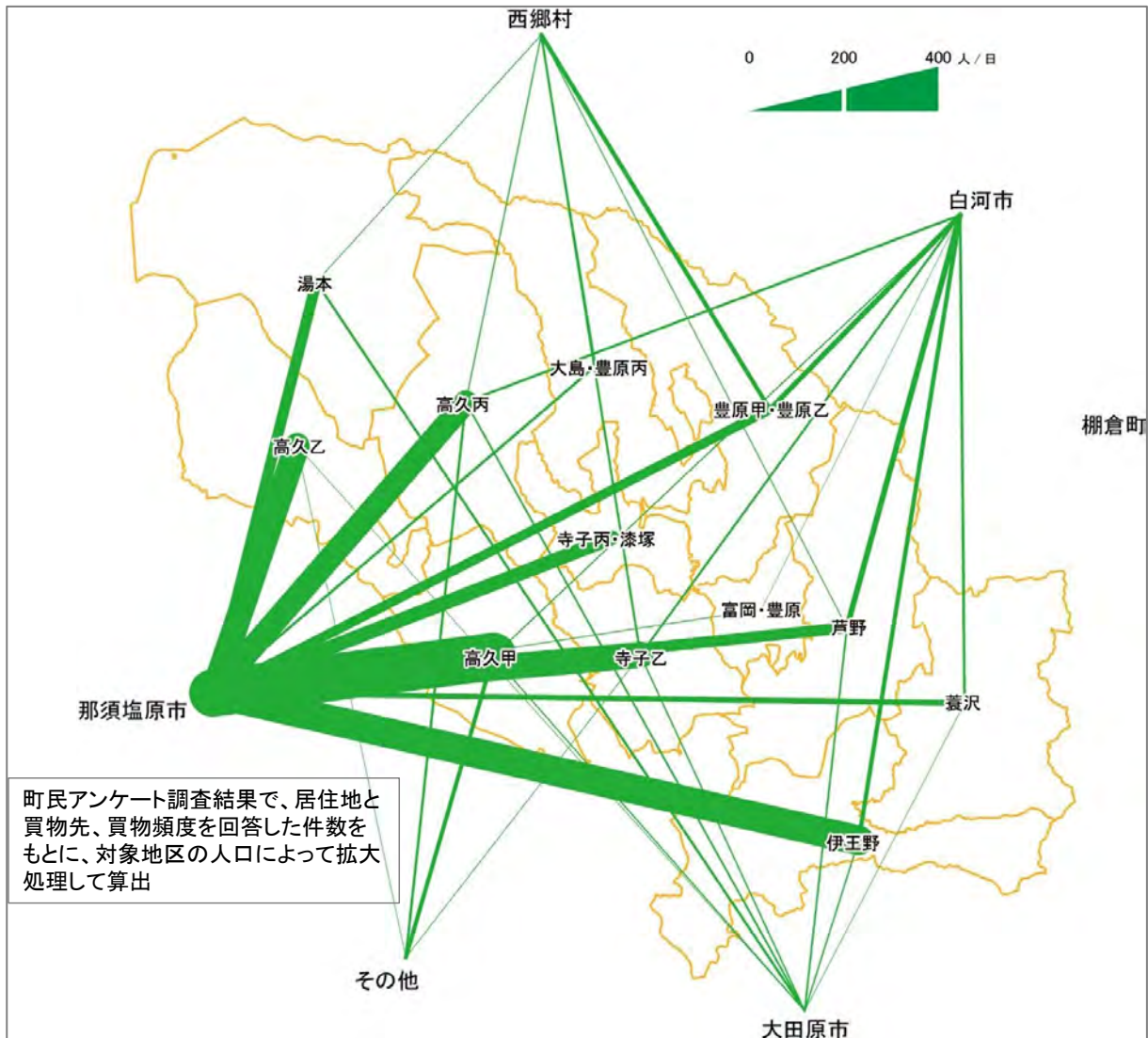


主な通院先	回答数
菅間記念病院	25
国際医療福祉大学病院	22
那須赤十字病院	20
那須脳神経外科病院	7
白河厚生総合病院	7

【調査日】平成 28 年 8 月調査（町民アンケート調査）

4.3.10 自動車での買物状況

町民アンケート調査結果から、町民の町外への自動車での買物流動を整理した結果、「ヨークベニマル（那須塩原店・黒磯店）」や「スーパービバホーム那須塩原店」など那須塩原市へ買物をする人が多くなっています。



主な買い物先	回答数
ヨークベニマル(那須塩原店・黒磯店)	85
スーパービバホーム那須塩原店	36
スーパーダイユー(町内・那須塩原市・大田原市)	29
MEGAドン・キホーテ黒磯店	27
トライアル那須塩原店	21

【調査日】平成28年8月調査（町民アンケート調査）

4.4 町内バスOD調査

4.4.1 バス利用状況

観光ピーク時期のバス利用状況について、平日と休日に実施したバスOD調査結果では、平日休日ともに特に「那須線」と「きゅーびー号」の利用が多くなっています。

■平日（平成28年10月18日（火）実施）

路線	方向	日当たり 運行便数	日当たり 利用者数	便当たり 利用者数	
那須線	上り	那須湯本温泉→那須中学校	2	15	7.5
	下り	那須中学校→那須湯本温泉	2	12	6.0
	上り	山麓駅・那須湯本→黒磯駅・那須塩原駅	14	161	11.5
	上り	山麓駅～平成の森→黒磯駅・那須塩原駅	4	119	29.8
	下り	那須塩原駅・黒磯駅→那須湯本・山麓駅	18	297	16.5
小計		40	604	15.1	
伊王野線	上り	上町→黒田原駅	4	13	3.3
	下り	黒田原駅→上町	4	15	3.8
小計		8	28	3.5	
湯本線	上り	いこいの家→ゆめプラザ前	3	7	2.3
	下り	ゆめプラザ前→いこいの家	3	8	2.7
小計		6	15	2.5	
追分・黒磯駅線	上り	追分→黒磯駅	3	14	4.7
	下り	黒磯駅→追分	3	9	3.0
小計		6	23	3.8	
きゅーびー号	-	道の駅那須高原友愛の森～道の駅那須高原友愛の森	11	227	20.6
那須もみじ号	上り	那須湯本→那須フラワーワールド	3	8	2.7
	下り	那須フラワーワールド→那須湯本	3	11	3.7
小計		6	19	3.2	
合計		77	916	11.9	

■休日（平成28年10月10日（月・祝日）実施）

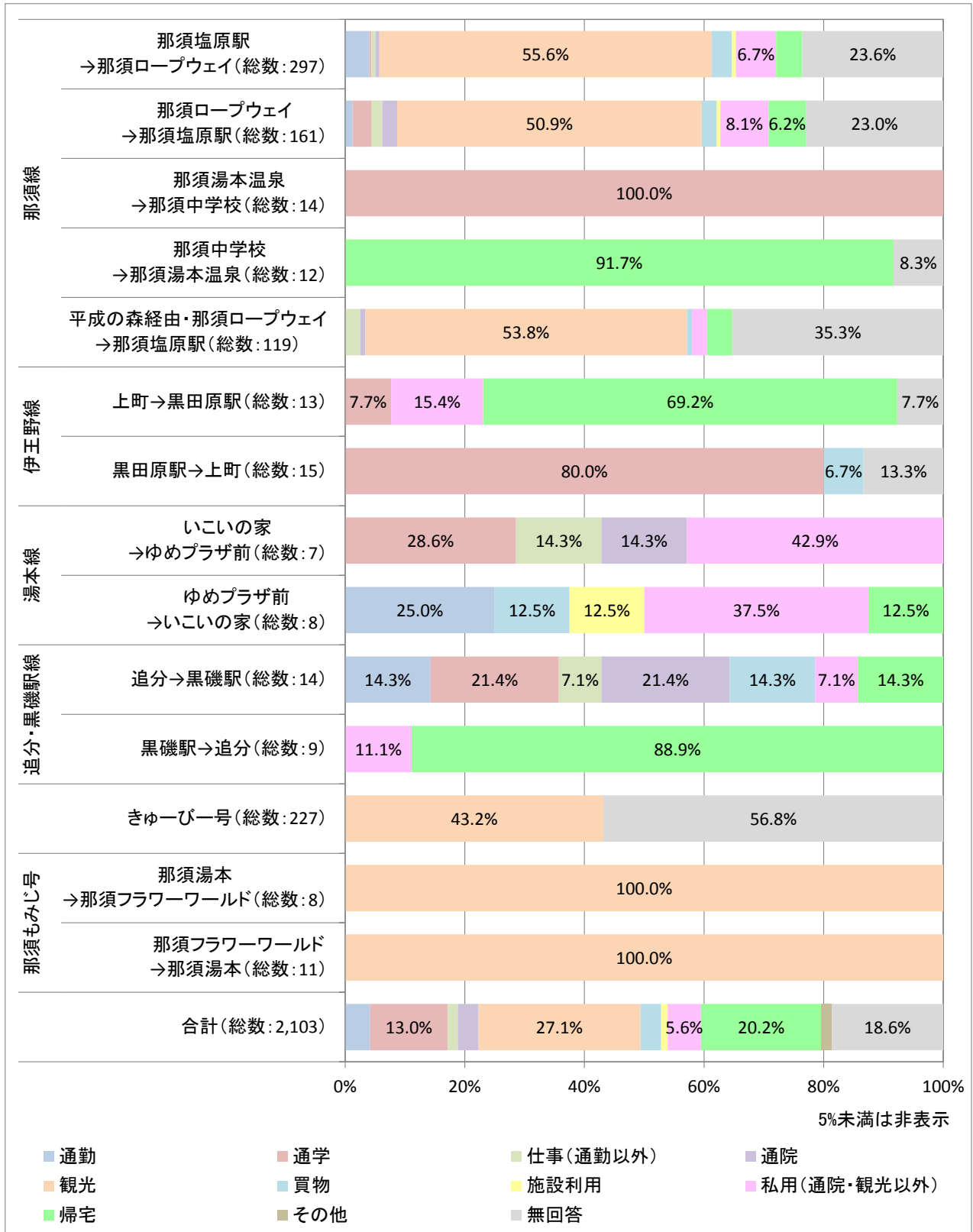
路線	方向	日当たり 運行便数	日当たり 利用者数	便当たり 利用者数	
那須線	上り	那須ハイランドパーク→黒磯駅・那須塩原駅	2	10	5.0
	下り	黒磯駅・那須塩原駅→那須ハイランドパーク	2	8	4.0
	上り	山麓駅・那須湯本→黒磯駅・那須塩原駅	13	194	14.9
	上り	山麓駅～平成の森→共和大学・那須塩原駅	1	15	15.0
	上り	山麓駅～平成の森→黒磯駅・那須塩原駅	4	181	45.3
	下り	那須塩原駅・共和大学→平成の森・山麓駅	1	39	39.0
	下り	那須塩原駅・黒磯駅→那須湯本・山麓駅	17	372	21.9
小計		40	819	20.5	
伊王野線	上り	上町→黒田原駅	4	5	1.3
	下り	黒田原駅→上町	4	6	1.5
小計		8	11	1.4	
湯本線	上り	いこいの家→ゆめプラザ前	3	9	3.0
	下り	ゆめプラザ前→いこいの家	3	6	2.0
小計		6	15	2.5	
追分・黒磯駅線	上り	追分→黒磯駅	3	6	2.0
	下り	黒磯駅→追分	3	3	1.0
小計		6	9	1.5	
きゅーびー号	-	道の駅那須高原友愛の森～道の駅那須高原友愛の森	10	156	15.6
那須もみじ号	上り	那須湯本→那須フラワーワールド	3	9	3.0
	下り	那須フラワーワールド→那須湯本	3	11	3.7
小計		6	20	3.3	
合計		76	1,030	13.6	

【調査日】平成28年10月調査（バスOD調査）

4.4.2 バス利用目的

(1) 平日

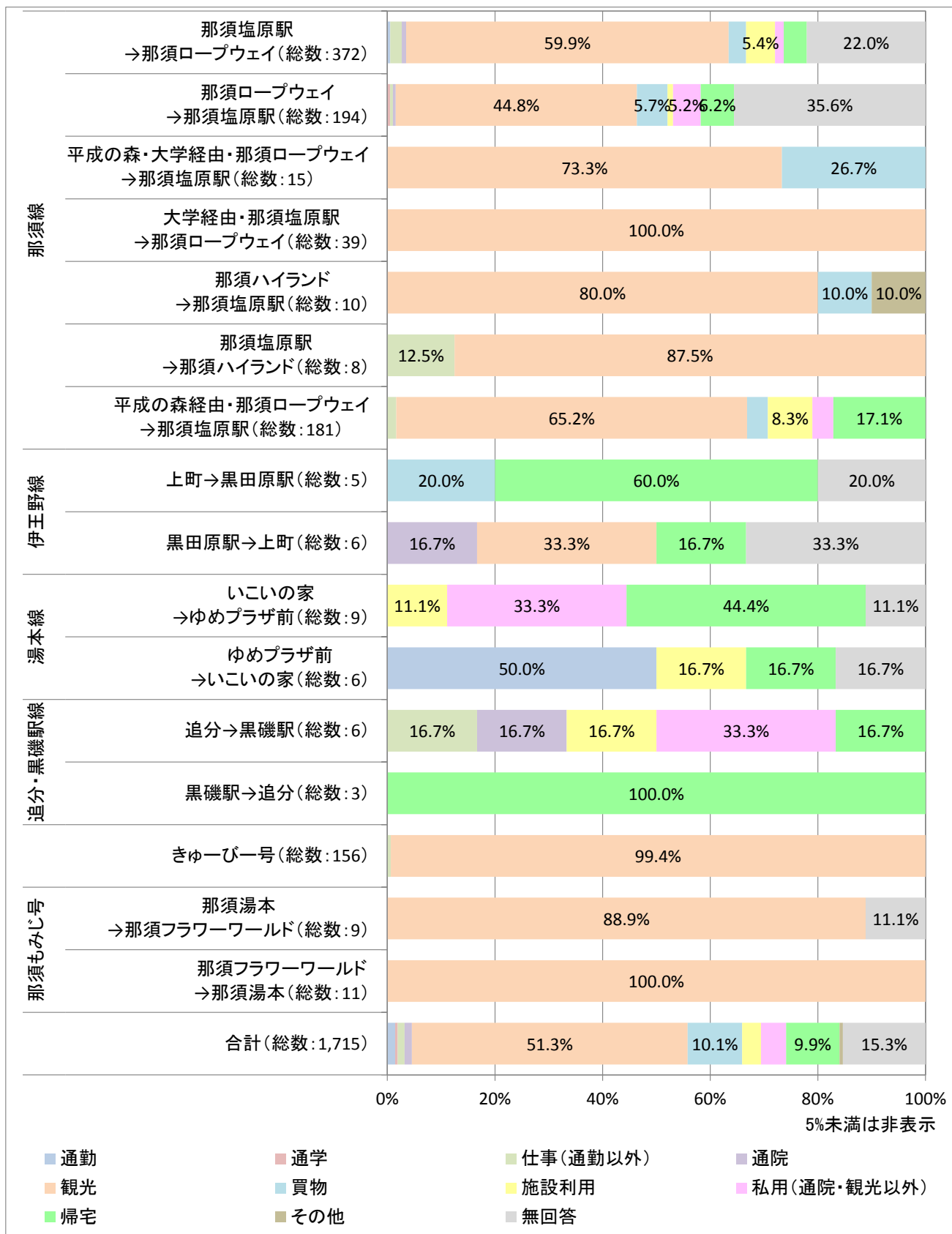
バスOD調査結果より、平日の路線別の利用目的を整理すると、「那須線」や「きゅーびー号」、「那須もみじ号」は観光目的の利用が多く、「湯本線」や「追分・黒磯駅線」は「通勤」や「通院」、「私用」など沿線住民の生活利用としてバスが利用されています。



【調査日】平成28年10月調査(バスOD調査)

(2) 休日

バスOD 調査結果より、休日の路線別の利用目的を整理すると、平日と比べて「通勤や通学目的」の利用者が減少し、「観光目的」の利用者が多くなっています。

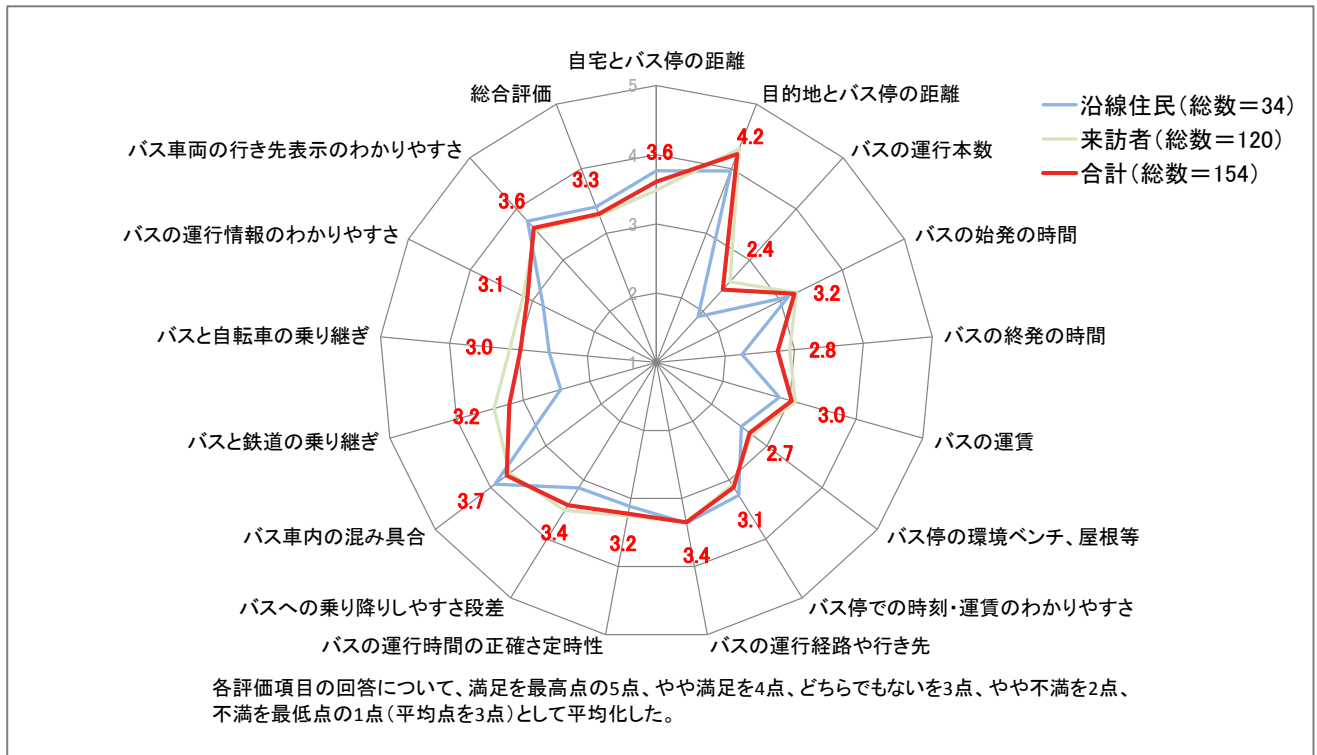


【調査日】平成28年10月調査(バスOD調査)

4.5 町内バス利用者アンケート調査

4.5.1 満足度

沿線住民と来訪者によるバスサービスの満足度を整理すると、「目的地とバス停の距離」や「バス車内の混み具合」、「バス車両の行き先表示のわかりやすさ」は沿線住民、来訪者ともに満足度が高く、「バスの運行本数」や「バスの始発の時間」、「バスの終発の時間」、「バスの運行本数」や「バスの終発の時間」、「バス停の環境ベンチ、屋根等」は満足度が低くなっています。



	沿線住民 (総数=34)	来訪者 (総数=120)	合計 (総数=154)
自宅とバス停の距離	3.8	3.5	3.6
目的地とバス停の距離	4.0	4.3	4.2
バスの運行本数	1.9	2.6	2.4
バスの始発の時間	3.1	3.3	3.2
バスの終発の時間	2.2	2.9	2.8
バスの運賃	2.8	3.1	3.0
バス停の環境ベンチ、屋根等	2.5	2.7	2.7
バス停での時刻・運賃のわかりやすさ	3.3	3.1	3.1
バスの運行経路や行き先	3.4	3.3	3.4
バスの運行時間の正確さ定時性	3.1	3.3	3.2
バスへの乗り降りしやすさ段差	3.1	3.5	3.4
バス車内の混み具合	3.9	3.7	3.7
バスと鉄道の乗り継ぎ	2.4	3.4	3.2
バスと自転車の乗り継ぎ	2.6	3.1	3.0
バスの運行情報のわかりやすさ	2.8	3.1	3.1
バス車両の行き先表示のわかりやすさ	3.8	3.6	3.6
総合評価	3.4	3.3	3.3

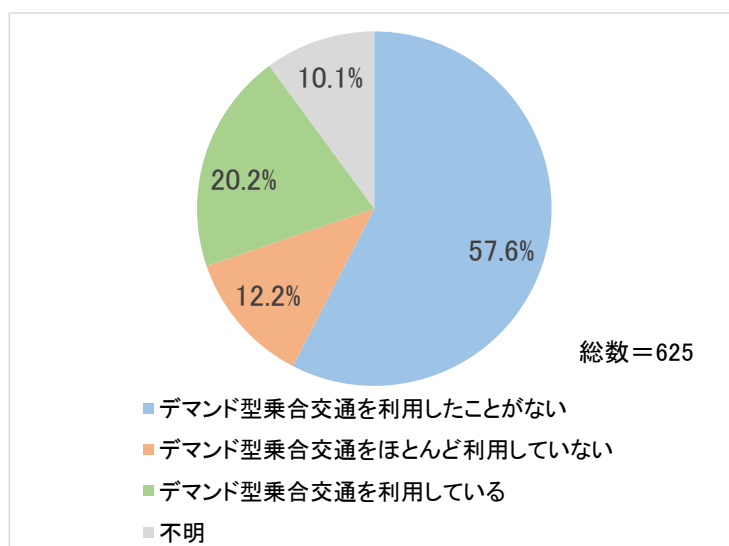
※3.6 以上赤字：満足度高い、2.4 以下青字：満足度低い

【調査日】平成 28 年 10 月調査（バス利用者アンケート調査）

4.6 デマンド型乗合交通登録者アンケート調査

4.6.1 デマンド型乗合交通登録者の利用状況

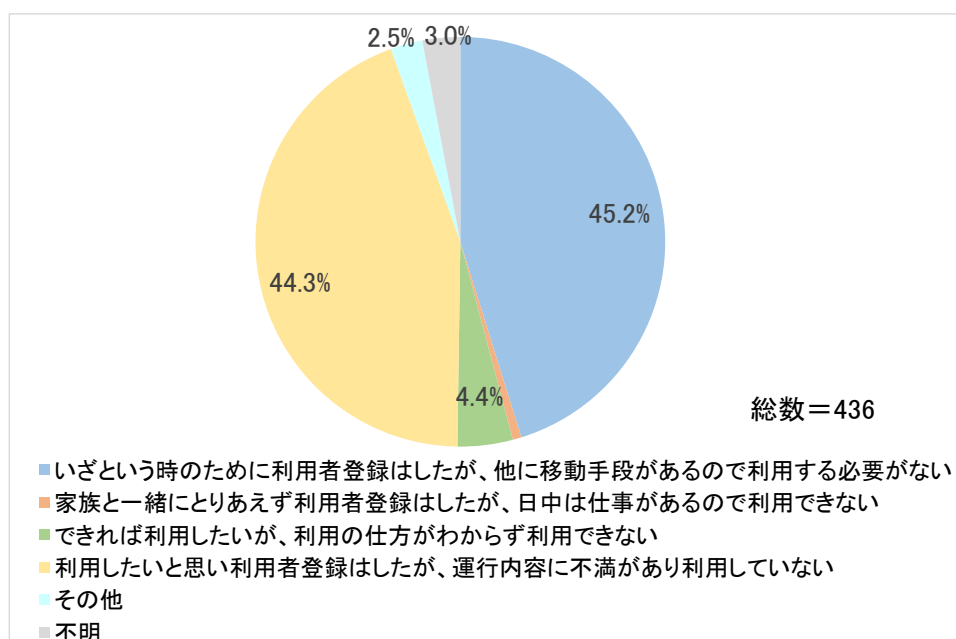
デマンド型乗合交通登録者のうち、「デマンド型乗合交通を利用している」と回答した割合は20%となっています。



【調査日】平成28年8月調査（デマンド型乗合交通登録者アンケート調査）

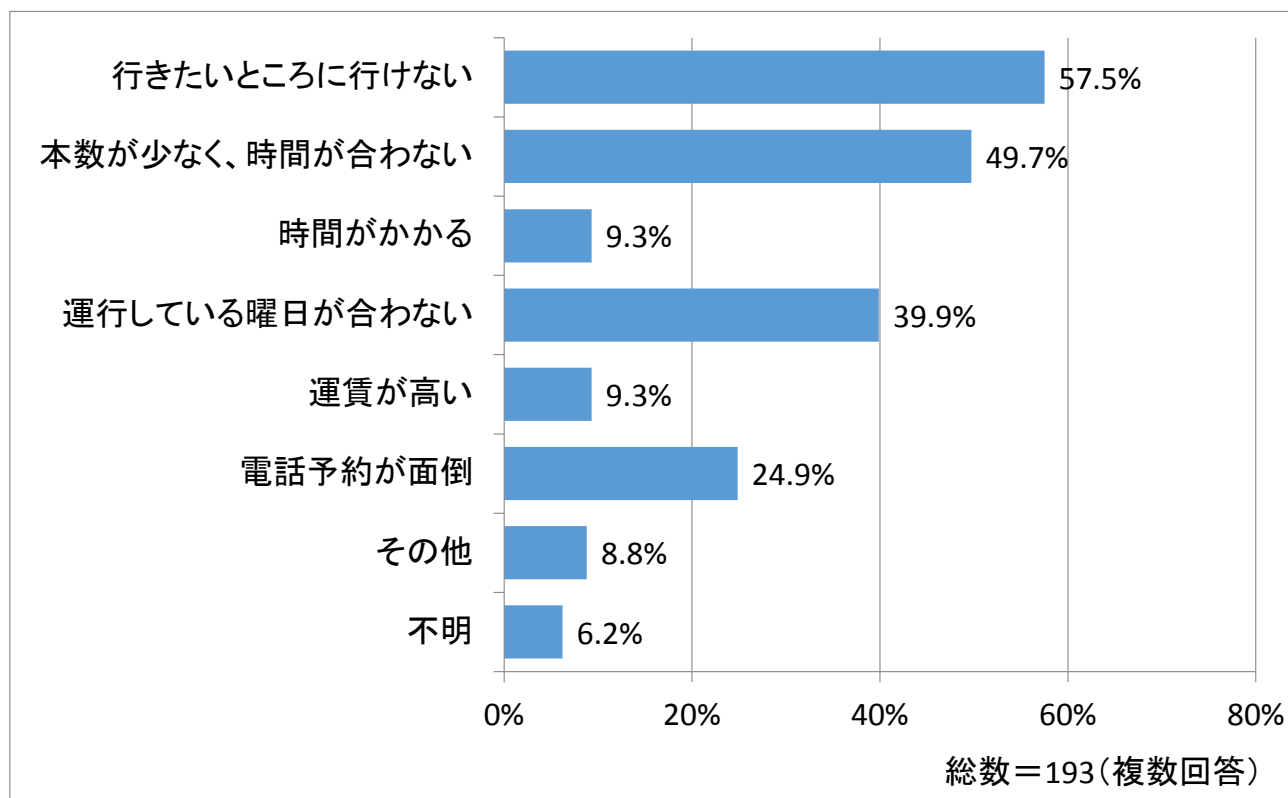
4.6.2 デマンド型乗合交通登録者でデマンド型乗合交通を利用していない理由

デマンド型乗合交通登録者のうち、「デマンド型乗合交通を利用していない」と回答した人の利用していない理由は「いざという時のために利用者登録はしたが、他に移動手段があるので利用する必要がない」及び「利用したいと思い利用者登録はしたが、運行内容に不満があり利用していない」の割合が高くなっています。



【調査日】平成28年8月調査（デマンド型乗合交通登録者アンケート調査）

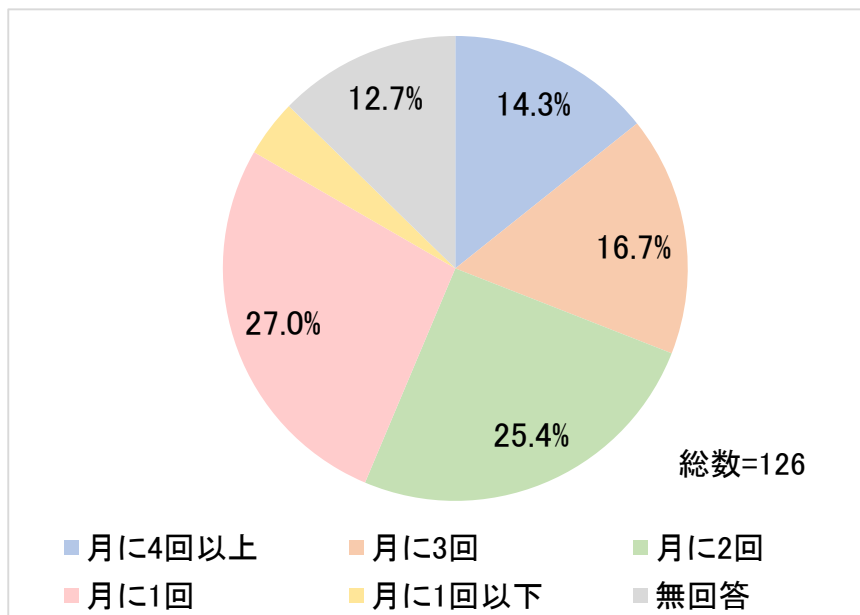
参考. 運行内容に不満がある人の不満内容



【調査日】平成28年8月調査（デマンド型乗合交通登録者アンケート調査）

4.6.3 利用頻度

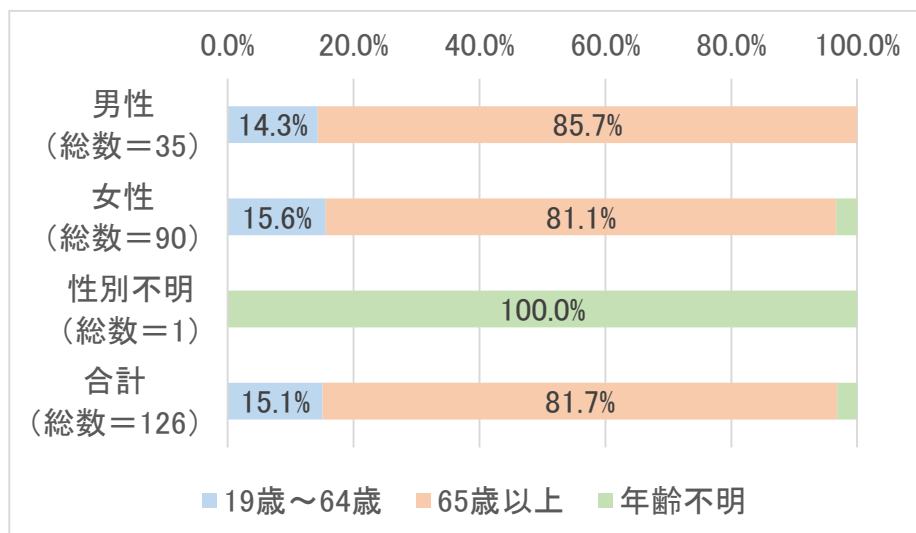
デマンド型乗合交通の利用頻度は、「月に1回」が27%、「月に2回」が25%となっていて、「月に4回以上（週に1回以上）」を利用している人は14%となっています。



【調査日】平成28年8月調査（デマンド型乗合交通登録者アンケート調査）

4.6.4 性別・年齢

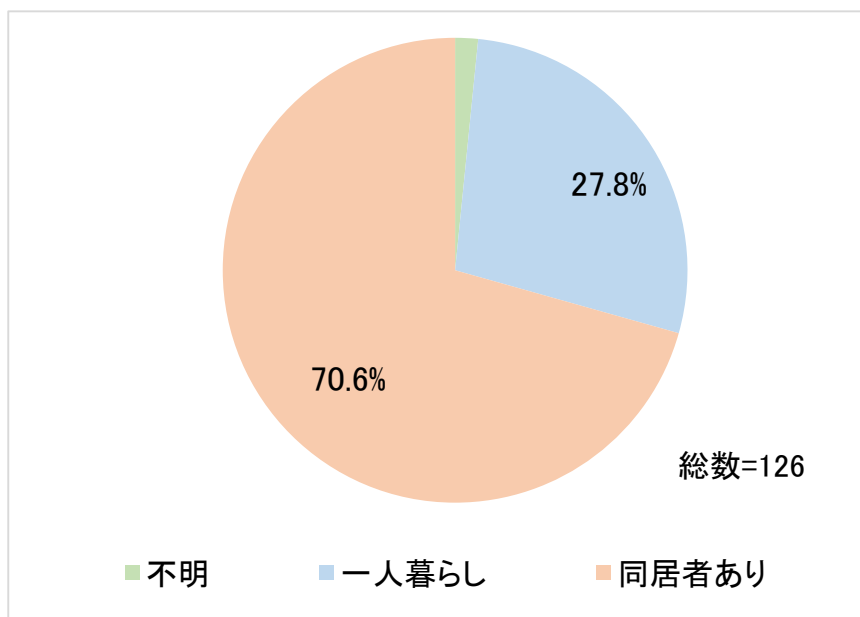
デマンド型乗合交通の利用者は「女性」が多く、「男女ともに65歳以上」の利用者が多くなっています。



【調査日】平成28年8月調査（デマンド型乗合交通登録者アンケート調査）

4.6.5 世帯構成

デマンド型乗合交通の利用者のうち、「一人暮らし」は28%を占めています。



【調査日】平成28年8月調査（デマンド型乗合交通登録者アンケート調査）

4.6.6 免許保有・自動車保有

デマンド型乗合交通の利用者のうち、「一人暮らしで運転免許や自動車類*がない人」は25人（20%）で、「同居者はいるものの運転免許や自動車類*がない人」は60人（48%）を占めています。

	自動車類あり	自動車類なし	車両保有不明	合計
一人暮らし	4	29	2	35
免許あり	4	4	2	10
免許なし		25		25
同居者あり	22	67		89
免許あり	22	6		28
免許なし		60		60
免許保有不明		1		1
不明	1		1	2
免許あり	1			1
免許保有不明			1	1
合計	27	96	3	126

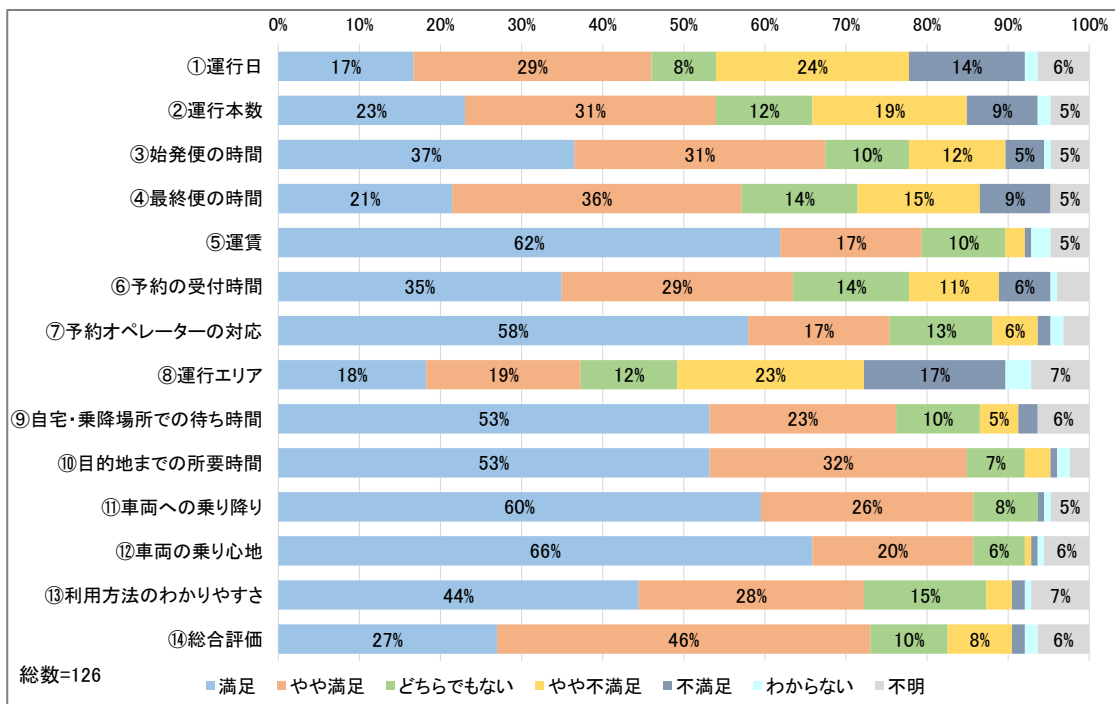
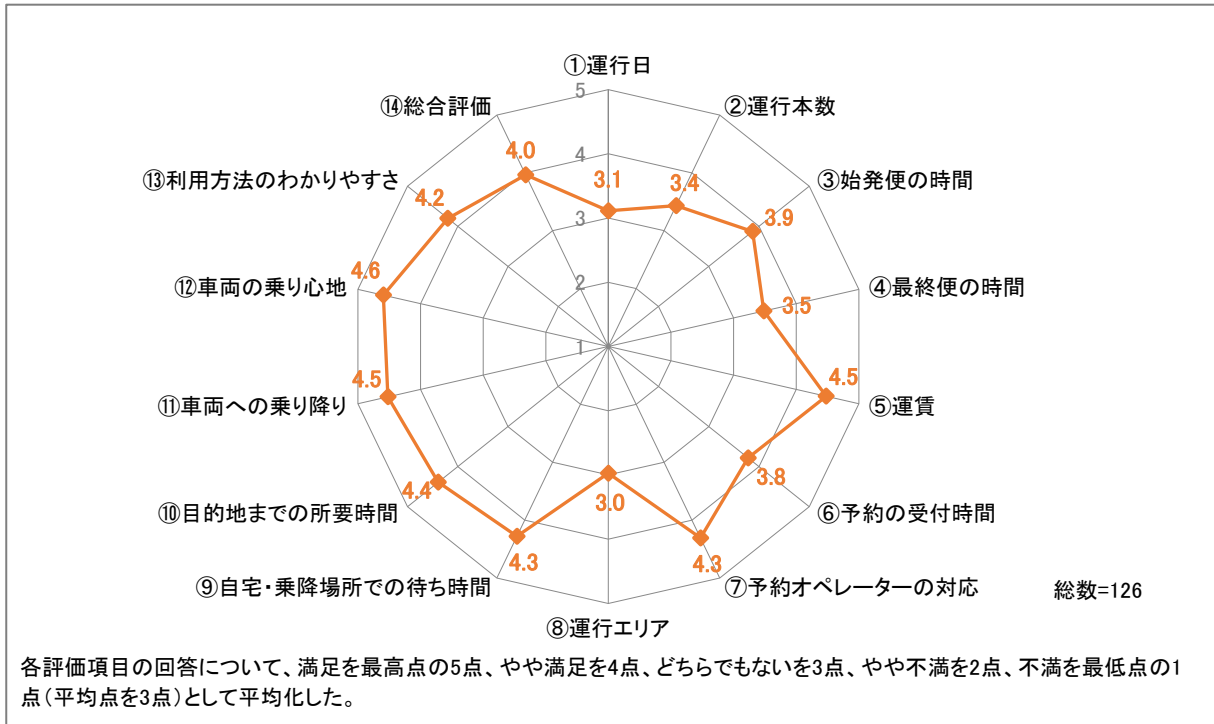
【調査日】平成28年8月調査（デマンド型乗合交通登録者アンケート調査）

*自動車類：自動車と自動二輪、原動機付自転車

4.6.7 満足度

デマンド型乗合交通の総合評価は、満足・やや満足の割合が73%、不満足・やや不満足の割合が10%であることから、平均満足度が4.0点となり、満足度が高い状況となっています。

サービス項目別では、「車両の乗り心地（4.6点）」や「車両への乗り降り・運賃（各4.5点）」の満足度が高く、一方で、「運行エリア（3.0点）」や「運行日（3.1）」は他の項目と比べると満足度が低くなっています。



【調査日】平成28年8月調査（デマンド型乗合交通登録者アンケート調査）

4.7 タクシー利用者調査

4.7.1 タクシーの利用実態

町内に営業所を置く黒田原タクシーの利用状況を整理すると、町内居住者で65歳以上の利用者が多くなっています（図内赤枠の赤字）。

調査	乗降場所	居住地	利用駅	方向	18歳以下	19歳以上 64歳以下	65歳以上	年代不明	合計	
夏季調査	自宅	那須塩原市	那須塩原駅西口	発		11	2		13	
			なし				1		1	
		大田原市	那須塩原駅西口	発		1	1			2
			那須町	那須塩原駅西口	発			1		
				着		1		1		2
		黒田原駅		発		9	2			11
			着		3	2			5	
		なし			11	56	1		68	
		不明	那須塩原駅西口	発		1			1	
	自宅以外	不明	那須塩原駅西口	発		15		1		16
				着		2			2	
			黒磯駅西口	着			1			1
			黒田原駅	発		3	2			5
				着	1	2	2			5
				なし		1	4	4	4	
	西那須野駅西口	着			1			1		
小計					2	64	73	8	147	
秋季調査	自宅	那須塩原市	那須塩原駅西口	発		1		1	2	
			那須町	黒田原駅	発			1		1
				着			3		3	
			なし			3	27	2		32
	不明	黒田原駅	発			1			1	
			着		1			1		
	自宅以外	不明	那須塩原駅西口	発		13	1		14	
				着		1			1	
			黒磯駅西口	着		1			1	
			黒田原駅	発		3	2	1	6	
着					1	1		2		
	なし			6	3		9			
小計					0	30	39	4	73	
合計					2	94	112	12	220	

【調査日】平成28年8月及び10月調査（タクシー利用状況調査）

タクシーの利用状況は「自宅から買物」や「自宅から通院」の利用が多くなっています。

調査	乗降場所	居住地	利用駅	方向	駅間移動	商用	宿泊	通院	買物	飲食	公共施設利用	観光	不明	施設利用	総計		
夏季調査	自宅	那須塩原市	那須塩原駅西口	発									13		13		
			なし										1		1		
		大田原市	那須塩原駅西口	発											2		2
			なし												1		1
		那須町	那須塩原駅西口	発											2		2
			黒田原駅	発											11		11
			なし					2		6	26	2	7		5		5
	不明	那須塩原駅西口	発										1		1		
	自宅以外	不明	那須塩原市	那須塩原駅西口	発		1	1	4	2		1	1	6		16	
				黒磯駅西口	着			1				1			1		2
			黒田原市	黒田原駅	発	1						1	1		2		5
				なし				1			2	1	2		6	1	13
			西那須野駅西口	着				1									1
			小計				1	3	5	10	30	5	15	1	76	1	147
秋季調査	自宅	那須塩原市	那須塩原駅西口	発									2		2		
			なし										1		1		
		那須町	黒田原駅	発										3		3	
			なし					9	13	1	1		8		32		
	不明	黒田原市	黒田原駅	発									1		1		
			着									1		1			
	自宅以外	不明	那須塩原市	那須塩原駅西口	発		2	1		4		2		5		14	
				着		1									1		
			黒田原市	黒磯駅西口	着									1			1
				黒田原駅	発	2	1							3			6
着										2			2				
なし				4		1	1		1	1	1	1		9			
小計				2	8	1	10	18	1	4	7	22	0	73			
合計				3	11	6	20	48	6	19	8	98	1	220			

【調査日】平成28年8月及び10月調査（タクシー利用状況調査）

5. 地域公共交通に係る問題・課題と基本方針

5.1 個別調査結果からわかる現状と問題

現況整理、まちづくり計画、アンケート調査等から把握した地域公共交通に係わる現状・問題は次のとおりです。

項目		現状・問題
人口		<ul style="list-style-type: none"> 町内の人口は減少傾向で高齢化が進展しています。
施設配置		<ul style="list-style-type: none"> 施設（医療施設、商業施設等）が黒田原駅周辺に偏って立地しています。 町内に総合病院が立地しないことなどから、町民の町外への外出（主に那須塩原市の黒磯駅周辺）も比較的多くみられますが、現状では公共交通で直接または乗り継いで外出することが難しい状況です。
上位・関連計画		<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン等の上位計画に加え、八溝山周辺地域定住自立圏と那須地域定住自立圏を締結し、広域連携を図っています。
公共交通	鉄道	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道は町内に3駅が存在し、日中時間帯でも1時間1本の運行頻度が保たれています。 各駅ともに改札とホームの間に跨線橋が設けられていますが、エレベーター等は設置されていません。 黒田原駅には路線バス及びデマンド型乗合交通が結節していますが、鉄道と路線バス・デマンド型乗合交通との乗り継ぎ利用を行うためには構内跨線橋の階段を乗降する必要があり、駅施設のバリアフリー化が課題となっています。
	民間路線バス	<ul style="list-style-type: none"> 那須線は黒磯駅とロープウェイ山麓駅を結んでいて日中時間帯でも1時間1本の運行頻度が保たれており、観光客の利用も多い状況です。 伊王野線は那須高校生の利用が大半を占めていますが、通学時間帯のみの運行で運行本数が4本/日と少なく、利用者も1日平均27人と少ない状況です。
	町民バス	<ul style="list-style-type: none"> 追分・黒磯駅線は通勤や通学、通院など様々な目的で利用されていますが、運行本数は3本/日と少なく、利用者も1日平均17人と少ない状況です。 湯本線は通勤や通学、私用目的など様々な目的で利用されていますが、運行本数は3本/日と少なく、利用者も1日平均12人と少ない状況です。 バスを利用していない町民の割合は約85%と高く、最寄りバス停の運行情報を知っている町民の割合は約15%と低い状況にあることから、公共交通の運行情報が十分に知られていません。
	デマンド型乗合交通	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の満足度は高いことから運行は好評ですが、登録者からは目的地側停留所（町外の総合病院等を含む）の新設などの改善要望が多く挙がっています。 1人1乗車当りの運行経費が5,685円となっており、持続性の観点から利用促進による改善が課題となっています。
	タクシー	<ul style="list-style-type: none"> 町内に営業所を置く事業者は1社のみで、主に高齢者の買物・通院の足として活用されています。
連携計画の評価		<ul style="list-style-type: none"> 町民バスの路線再編事業（デマンド型乗合交通の導入）により町内の公共交通体系を再構築し、利用者数を増加させることができました。 一方で「町民バスの通学利用促進」及び「わかりやすい公共交通情報の提供」では施策の実施が効果として発現しておらず、また「利用しやすい運賃制度の導入」は実施課題として残されています。

5.2 課題の整理結果

前記の各調査からの課題は集約すると次のとおりです。

那須町が抱える地域公共交通の課題

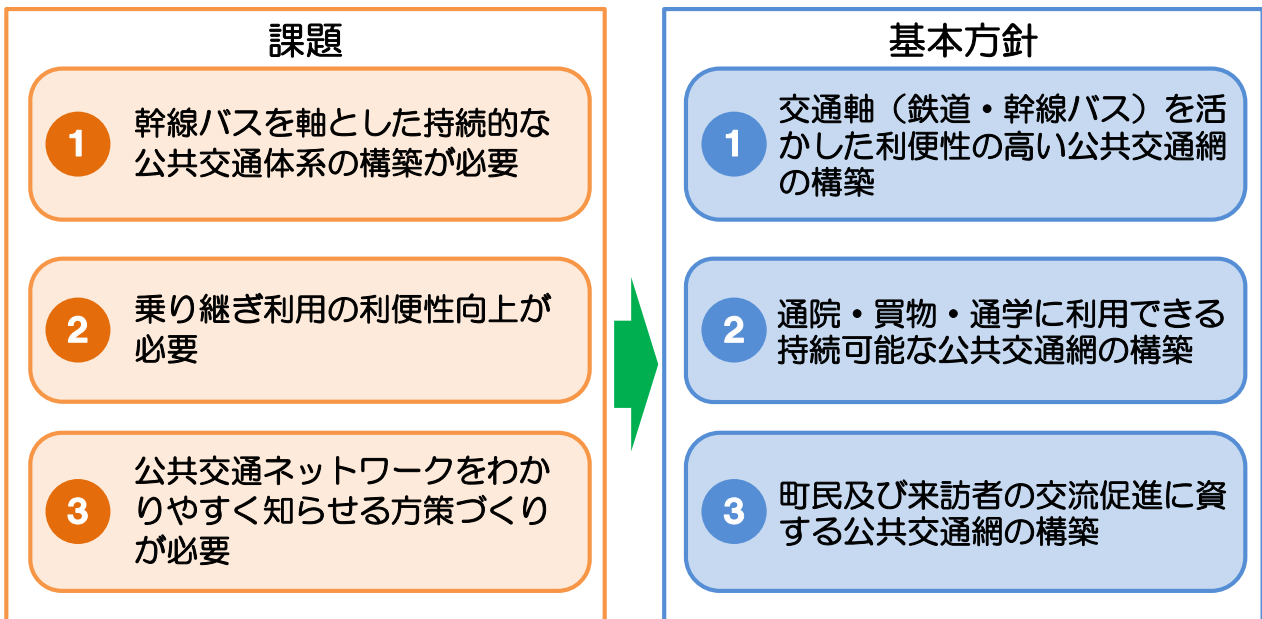
①幹線バスは観光需要への対応を目的に比較的高い運行頻度が保たれているが、町民の過度な自動車依存や幹線バス停へのアクセス手段が不十分であることなどから、町民の足として有効に活用されていない。観光資源を活かした活力あるまちづくりに向け、幹線バスを軸とした持続的な公共交通体系の構築が必要。

②鉄道・幹線バスとデマンド型乗合交通の組合せで通院・買物する場合、乗り継ぎ回数が多く、乗り継ぎにおける物理的・時間的なバリアも存在している。住みやすいまちづくりに向け、乗り継ぎ利用の利便性向上が必要。

③町民の地域公共交通に対する認知度が低く、特定の人利用に留まっている。また観光客に対する公共交通情報の提供も十分とは言えない。安心して過ごし暮らせるまちづくりに向け、公共交通ネットワークをわかりやすく知らせる方策づくりが必要。

5.3 基本方針

地域公共交通網の課題解決に向け、以下を本計画の基本方針（＝地域公共交通のあるべき姿）とします。



基本方針1 交通軸（鉄道・幹線バス）を活かした利便性の高い公共交通網の構築

- 鉄道（東北本線）及び幹線バス（那須線）に接続するフィーダー交通（町民バス及びデマンド型乗合交通など）の利便性向上を図るとともに、交通結節点（乗り継ぎ拠点）における乗り継ぎ利便性向上に向けた取り組みを実施します。

基本方針2 通院・買物・通学に利用できる持続可能な公共交通網の構築

- 自動車を利用できない人の日常生活に利用できる公共交通を確保・維持します。
- 持続性の確保に向け「公共交通活性化の担い手づくり」にも取り組みます。

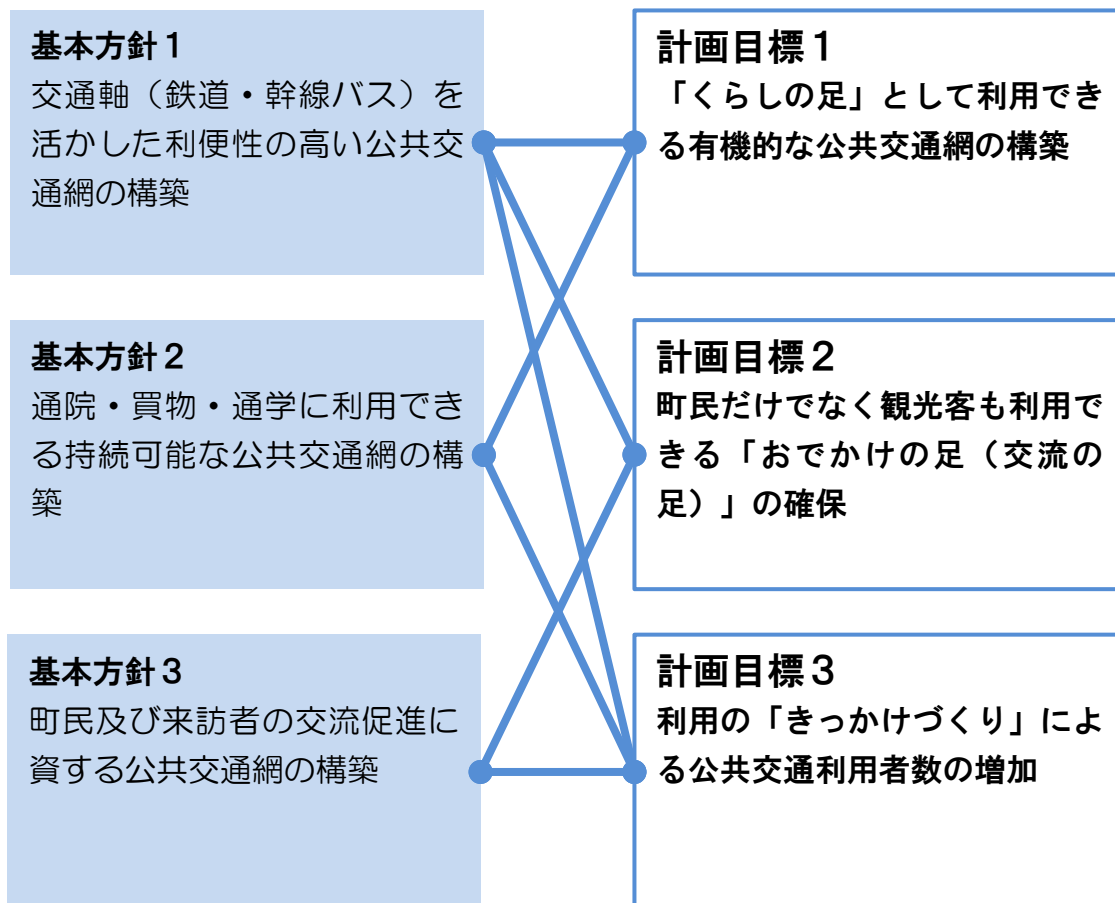
基本方針3 町民及び来訪者の交流促進に資する公共交通網の構築

- 運行事業者や観光協会等と連携し、観光交流促進に向けた取り組みを実施します。
- 町内における交流施設整備を踏まえ、アクセス手段を整備します。

6. 計画目標と計画事業

6.1 施策体系

前章にて定めた基本方針（＝地域公共交通のあるべき姿）に対し、計画目標（＝それを実現するために計画期間中に達成すべき目標）は、那須町の現在の状況、問題・課題から次のとおりとします。



3つの計画目標に対し、さらに細分化した計画目標とその達成度を測る指標（数値目標）、さらにそれを実現するための具体的事業を次のとおりとします。

■目標と事業

計画目標		数値目標	事業
目標1：「くらしの足」として利用できる有機的な公共交通網の構築			
1-1	町内フィーダー交通の利便性向上	町内フィーダー交通の利用者数	町民バス及びデマンド型乗合交通の改善
1-2	デマンド型乗合交通の相乗り利用の促進	車両1台当り利用者数	相乗り利用促進に向けた運賃制度の導入
目標2：町民だけでなく観光客も利用できる「おでかけの足（交流の足）」の確保			
2-1	交流促進に向けた公共交通ネットワーク機能の向上	交流促進に向けた新設・見直し路線数	「おでかけの足」となる路線の新設・既存路線の見直し
2-2	乗り継ぎ抵抗軽減による公共交通の利便性向上	乗り継ぎ抵抗軽減に向けた取組の実施	民間路線バス・那須町デマンド型乗合交通の乗り継ぎ割引券発行
目標3：利用の「きっかけづくり」による公共交通利用者数の増加			
3-1	情報提供による公共交通利用しやすさの向上	公共交通おでかけマップの作成・情報提供	公共交通マップの作成と定期的な発行
3-2	公共交通利用啓発に向けた企画の実施	きっかけづくりの取り組みの実施回数	きっかけづくりイベントの実施
3-3	公共交通活性化に向けた担い手づくり	住民協働スキームの構築	住民協働スキームの構築

6.2 目標1 「くらしの足」として利用できる有機的な公共交通網の構築

目標1「「くらしの足」として利用できる有機的な公共交通網の構築」を達成するために、ここでは以下の2つの事業を実施することとします。

【目標1-1 町内フィーダー交通の利便性向上】

【事業1-1 町民バス及びデマンド型乗合交通の改善】

町民が「くらしの足」として通院・買物・通学に利用できる公共交通網の構築に向けては、幹線機能を有する鉄道（JR東北本線）及び幹線バス（東野交通那須線）を交通軸とし、居住地域と交通軸との間を結ぶフィーダー交通（町民バス、デマンド型乗合交通等）と交通軸を有機的に機能させることが必要です。交通軸とフィーダー交通との相互の接続強化に向け町民バス（湯本線、追分・黒磯駅線）及びデマンド型乗合交通について運行ダイヤ見直しや停留所の追加等の改善を行い、町内フィーダー交通の利便性向上を図ることにより、「くらしの足」として利用できる有機的な公共交通網の構築を目指します。

【目標1-2 デマンド型乗合交通の相乗り利用の促進】

【事業1-2 相乗り利用促進に向けた運賃制度の導入】

デマンド型乗合交通は、1人1乗車当りの運行経費が5,685円となっており、「くらしの足」としての持続に向けては改善が課題となっています。車両1台当りの乗車数は1.76人と少ないことから、相乗り利用促進に向けた新たな運賃制度を導入し、乗合率を高め1人1乗車当りの運行経費の改善を図ることにより、「くらしの足」の持続性向上を目指します。

なお、本計画では町内の公共交通網が計画対象となっておりますが、市町間を跨ぐ広域な移動ニーズへの対応については、那須地域定住自立圏地域公共交通活性化協議会※にて検討します。課題解決に必要な事業は那須地域定住自立圏地域公共交通網形成計画（平成29年9月策定予定）に記載し、推進します。

※那須地域定住自立圏（那須塩原市、大田原市、那須町、那珂川町により形成）における広域的な公共交通ネットワークの協議・検討を目的に設置された法定協議会

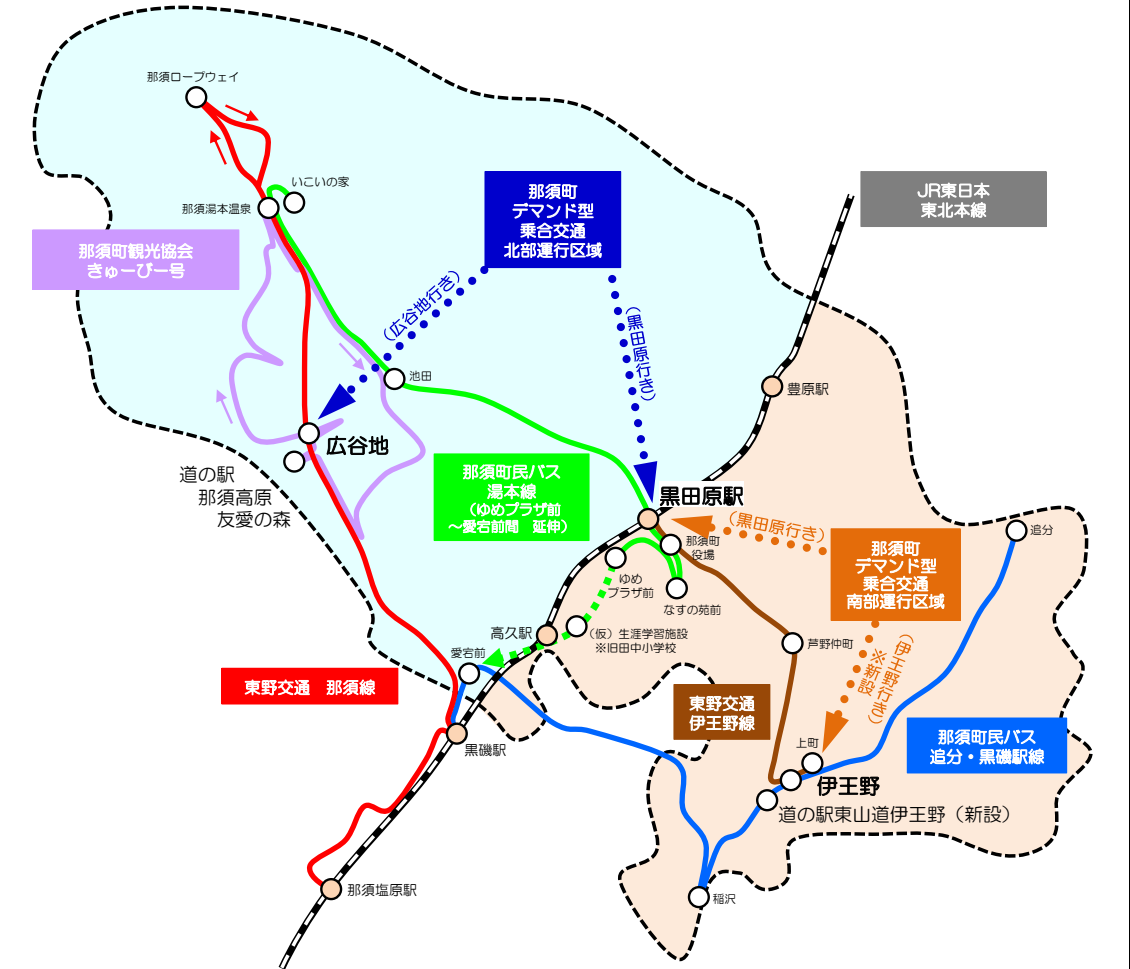
目標1-1 町内フィーダー交通の利便性向上	
評価指標	町内フィーダー交通の利用者数
現況値	年間 16,892 人（平成 27 年度） 町民バス 追分・黒磯駅線：6,388 人、湯本線：4,530 人 デマンド型乗合交通：5,974 人
目標値	現況値より増加（平成 33 年度）

事業1-1 町民バス及びデマンド型乗合交通の改善

- ・ 町民バス追分・黒磯駅線について増便を検討するとともに、道の駅東山道伊王野（第7次那須町振興計画における交流拠点）に停留所を設置します。
- ・ 町民バス湯本線について増便を検討します。また、ゆめプラザ前から旧田中小学校跡地に計画されている生涯学習施設を経由し愛宕前（イオンタウン那須前）までの延伸について検討します。
- ・ 町民バスについては、車両更新の際に小型車両への転換を検討します。
- ・ 鉄道（JR 東北本線）・幹線バス（那須線）とデマンド型乗合交通との接続強化を図るため、デマンド型乗合交通について運行ダイヤの見直しや目的地側停留所の追加等の改善を行います。
- ・ デマンド型乗合交通の南部運行区域に「伊王野行き」を新設し、町民バス追分・黒磯駅線との連携による利便性向上を図ります。

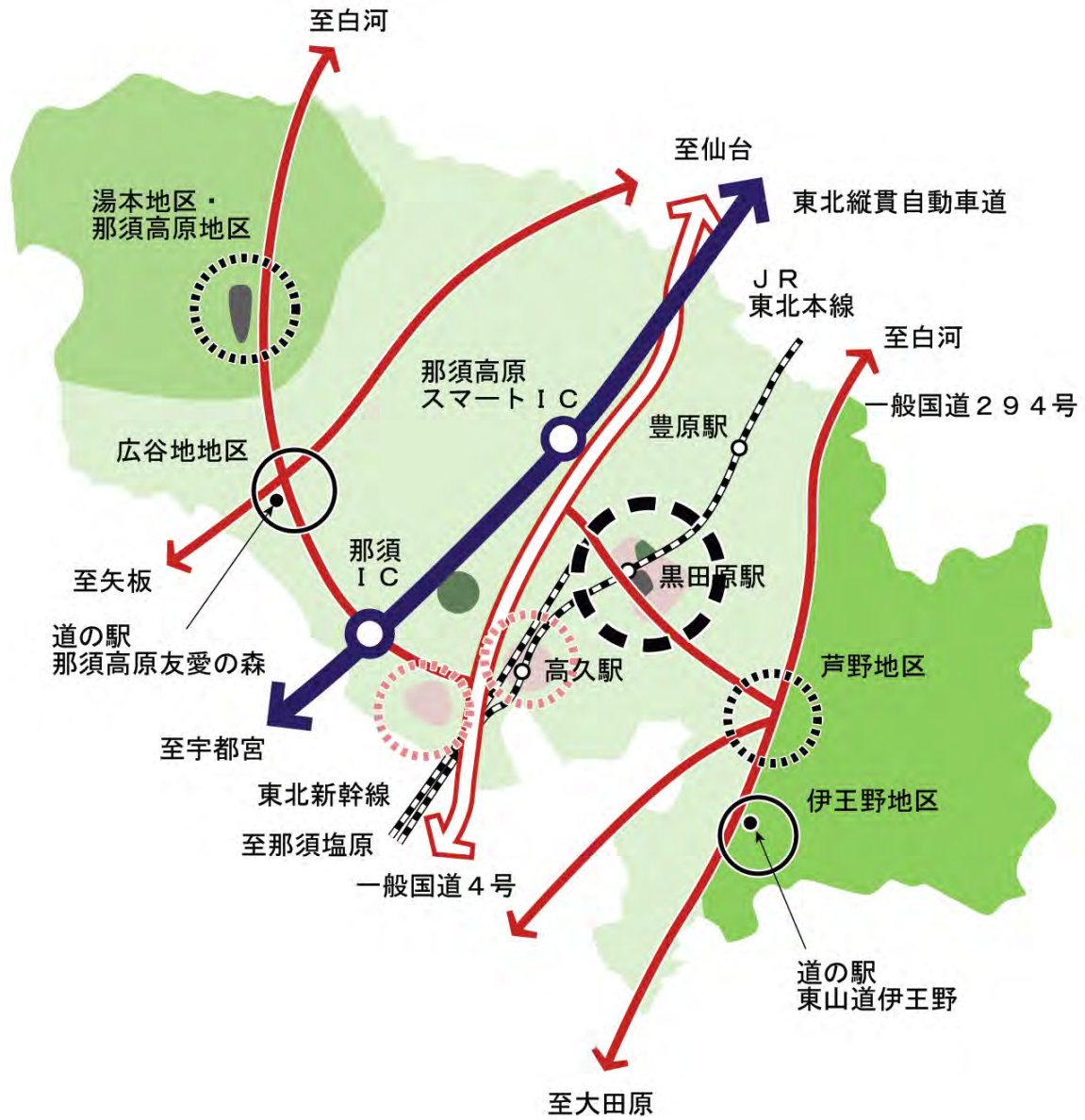
町内フィーダー交通の改善イメージ図

事業内容



実施主体	那須町、運行事業者
実施時期	平成 29 年度～：詳細検討

再掲. 第7次那須町振興計画における将来像図



目標 1-2 デマンド型乗合交通の相乗り利用の促進	
評価指標	車両 1 台当りの利用者数
現況値	1.76 人/台 (平成 26 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)
目標値	2.00 人/台 (平成 33 年度)

事業 1-2 相乗り利用促進に向けた運賃制度の導入									
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 1 回の予約で 2 人以上の予約をした場合に適用する「相乗り割引」の導入を検討し、利用者及び運賃収入の増加を目指します。 								
	<p>参考事例</p> <ul style="list-style-type: none"> 新潟県見附市では、バス等が運行していない公共交通空白地域の解消を目的に、市内 5 地区でデマンド型乗合タクシー(以下「乗合タクシー」)を運行しています。片道 1 乗車当たりの運賃は大人：300 円、小学生：150 円ですが、1 回の電話で 2 人以上の予約をされた場合は「乗合い予約料金」となり、片道 1 乗車当たりの運賃は大人：200 円、小学生：100 円とお得になります。 								
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">運 賃</div> 運賃は前払い、未就学児は無料								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 40%;">今町農方地区⇄今町6丁目～見附駅</th> <th style="width: 40%;">今町農方地区⇄市野坪～郵便局</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大人 (中学生以上)</td> <td>300円(乗合い予約 200円)</td> <td>400円(乗合い予約300円)</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>150円(乗合い予約 100円)</td> <td>200円(乗合い予約150円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎乗合い予約(2人以上)がお得です！ 1回のお電話で2人以上の予約をされた場合は「乗合い予約料金」となります。</p> <p style="text-align: right;">出典：見附市 web ページ</p>		今町農方地区⇄今町6丁目～見附駅	今町農方地区⇄市野坪～郵便局	大人 (中学生以上)	300円(乗合い予約 200円)	400円(乗合い予約300円)	小学生	150円(乗合い予約 100円)
	今町農方地区⇄今町6丁目～見附駅	今町農方地区⇄市野坪～郵便局							
大人 (中学生以上)	300円(乗合い予約 200円)	400円(乗合い予約300円)							
小学生	150円(乗合い予約 100円)	200円(乗合い予約150円)							
実施主体	那須町、運行事業者								
実施時期	平成 29 年度～：詳細検討								

6.3 目標2 町民及び来訪者の交流促進による公共交通利用者数の増加

目標2「町民だけでなく観光客も利用できる「おでかけの足（交流の足）」の確保」を達成するために、ここでは以下の2つの事業を実施することとします。

【目標2-1 交流促進に向けた公共交通ネットワーク機能の向上】

【事業2-1 「おでかけの足」となる路線の新設・既存路線の見直し】

町民及び来訪者の交流促進に向けては、観光客が観光周遊に利用できる路線や町民が主要公共施設へのアクセスに利用できる路線の確保・維持が必要です。路線の新設や既存路線の見直しによって交流促進に向けた公共交通ネットワーク機能の向上を図ることにより、町民だけでなく観光客も利用できる「おでかけの足」の確保を目指します。

【目標2-2 乗り継ぎ抵抗軽減による公共交通の利便性向上】

【事業2-2 民間路線バス・那須町デマンド型乗合交通の乗り継ぎ割引券発行】

構築された公共交通ネットワークを拠点にて乗り継ぎ利用することにより、町民が公共交通で「おでかけ」できる範囲は大きく広がりますが、乗り継ぎ利用の抵抗感は大きく、乗り継ぎによって運賃が割高になる点も乗り継ぎ利用促進の妨げとなっています。東野交通が運行する那須線と那須町デマンド型乗合交通を乗り継ぎ利用する際に使用できる乗り継ぎ割引券を発行することで、乗り継ぎ抵抗の軽減を図り、乗り継ぎを前提とした新たな「おでかけの足」の確保を目指します。

なお乗り継ぎに関しては、黒田原駅における鉄道とバス・デマンド型乗合交通の乗り継ぎ抵抗軽減も課題となっています。黒田原駅のバリアフリー化推進について、引き続き鉄道事業者に要請します。

目標 2-1 交流促進に向けた公共交通ネットワーク機能の向上	
評価指標	交流促進に向けた新設・見直し路線数
現況値	未実施（平成 28 年度）
目標値	2 路線以上（平成 33 年度）

事業 2-1 「おでかけの足」となる路線の新設・既存路線の見直し	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 那須町観光協会は県内広域観光の可能性を探るため、日光と那須間を結ぶバス路線の実証実験を実施します。 ・ 那須町は旧田中小学校跡地に生涯学習施設の配置を計画しています。町民バス湯本線の延伸による当該施設へのアクセス手段の確保を検討します。 ・ 観光対応路線（きゅーびー号等）の新設においては、町民バスとの再編も視野に入れ、柔軟な対応により地域公共交通網の持続可能性向上を目指します。
	<p>「日光・那須 満喫ライナー」企画概要（一部案）</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内広域観光の可能性を探るため、日光と那須間を結ぶバス運行の実証実験と位置づける。 ・ 「日光国立公園」に位置する県北観光地を結び、“回遊型連泊プラン”の提供等により人の流動を生み活性化を図る。 ・ これまで、「東京→日光→東京、東京→那須→那須」だった旅行の流れを県北周遊ルートに変えることで、日帰りだけでなく、連泊・数日かけて栃木を楽しむ滞在型旅行の提案を可能にする。 ・ アクティブシニア層や外国人観光客などの誘客へつなげる。 <p>【運行日程】</p> <p>2017 年 5 月 13 日～6 月 4 日の土日曜日 8 日間</p> <p>1 日 2 往復（1 号車）日光→那須→日光 ・（2 号車）那須→日光→那須</p> <p>【ルート】</p> <p>東武日光駅～鬼怒川温泉駅～道の駅・湯西川～塩原温泉 BT～アグリパル塩原～戸田交差点～道の駅・友愛の森～那須湯本温泉</p> 
実施主体	那須町、那須町観光協会、運行事業者
実施時期	平成 29 年度～：詳細検討

目標 2-2 乗り継ぎ抵抗軽減による公共交通の利便性向上	
評価指標	乗り継ぎ抵抗軽減に向けた取り組みの実施
現況値	未実施（平成 28 年度）
目標値	実施（平成 33 年度）

事業 2-2 民間路線バス・那須町デマンド型乗合交通の乗り継ぎ割引券発行	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 東野交通が運行する那須線とデマンド型乗合交通の相互で使用できる共通券の発行により、相互の利用促進・利便性向上に繋がり、利用者の増加を目指します。 <p>参考事例</p> <ul style="list-style-type: none"> 茨城県守谷市では、「路線バス」のほか公共交通空白地域をカバーすることを目的として「モコバス(もりやコミュニティバス)」が運行されており、「モコバス-別ルート」のモコバス、「モコバス-路線バス」の乗り継ぎを行う際には、乗り継いだ次のバスの乗車運賃が一律 100 円(小人 50 円)で利用することが可能となっている。
	<p>出典：守谷市 web ページ</p>
実施主体	那須町、運行事業者
実施時期	平成 29 年度～：詳細検討

6.4 目標3 利用の「きっかけづくり」による公共交通利用者数の増加

目標1及び目標2において「くらしの足」と「おでかけの足」の確保を目指した取組が計画されていますが、自動車を中心としたライフスタイルが定着している那須町では、新たな公共交通網が構築されてもそのこと自体を知る「きっかけ」がなく、公共交通の利便性の向上が利用者数の増加に繋がらない可能性があります。そのため3つ目の目標は「利用の「きっかけづくり」による公共交通利用者数の増加」とし、町民や観光客に情報提供や啓発活動の実施等によって公共交通利用の「きっかけ」をつくることにより、利用者数の増加を目指すこととしました。目標の達成に向け、ここでは以下の3つの事業を実施します。

【目標3-1 情報提供による公共交通利用しやすさ向上】

【事業3-1 公共交通マップの作成と定期的な発行】

新たに構築される町内の公共交通網と沿線おでかけ情報などの町内公共交通に関する全ての情報を網羅した公共交通マップを作成し、情報提供を行うことで公共交通利用しやすさの向上を図り、公共交通利用者数の増加を目指します。

【目標3-2 公共交通利用啓発に向けた企画の実施】

【事業3-2 きっかけづくりイベントの実施】

公共交通利用啓発に向けた企画として、体験乗車会の開催や路線沿線にある商業施設や観光施設、及び町内開催イベントと連携した公共交通利用促進策を展開し、公共交通を利用する「きっかけづくり」を実施します。

【目標3-3 公共交通活性化に向けた担い手づくり】

【事業3-3 住民協働スキームの構築】

地域のニーズに的確に対応した公共交通を構築していくため、これまでの行政が主体となる「陳情・要望対応型」から、町民・行政・事業者が共同で維持確保に努め責任を分担する「協働・責任分担型」への転換を図るため、行政・事業者だけではなく町民が容易に参画できるような住民協働スキームの構築し、公共交通活性化に向けた担い手づくりを目指します。

目標3-1 情報提供による公共交通利用しやすさ向上	
評価指標	公共交通おでかけマップの作成・情報提供
現況値	未実施（平成28年度）
目標値	実施（平成33年度）

事業3-1 公共交通マップの作成と定期的な発行

- 新たに構築される町内の公共交通網と沿線おでかけ情報などの町内公共交通に関する全ての情報を網羅した公共交通マップを作成し、情報提供を行うことで公共交通利用しやすさの向上を図り、公共交通利用者数の増加を目指します。

参考事例

- 埼玉県秩父市では、西武観光バス秩父営業所が自社路線だけでなく市営・町営バス、タクシー、鉄道の情報（路線図・時刻表・乗り方）を網羅した「秩父地域ルートマップ（A5版・約70ページ）」を作成・配布しています。路線バスで巡る秩父地域の観光案内も掲載されており、住民だけでなく観光客にも多く利用されています。

事業内容



秩父地域ルートマップ INDEX

平成28年4月1日現在

バス路線図・乗り方・のりは図	
秩父エリア バス路線案内図（全域図）	4・5
秩父エリア バス路線案内図（詳細図）	6・7・8・9・10・11
秩父駅周辺拡大図	12
西武観光バス ご利用案内	13
秩父地域 バスの乗り方	14・15
西武秩父駅 バスのりば案内・西武秩父駅～御花畑駅連絡図	28・29
秩父地域観光案内	
路線バスで行く、秩父市おすすめスポット	16・17
バス路線べつ「みどころ」紹介	18・19
バスでも巡れる秩父4ダム！	20
「あの花」聖地巡礼モデルコース	21
秩父市街地「礼所巡礼コース」	21
秩父礼所めぐりアクセス一覧	22
秩父地域各市町 アクセス早見表	
秩父市	23
皆野町	24
小鹿野町	25
横瀬町	26
長瀬町	27
バス時刻表	
G1 小鹿野 G2 栗尾	西武秩父駅～小鹿野車庫・栗尾 28・29・30・31
G16 G13 坂本	小鹿野役場～坂本 30
G10 G14 長沢	小鹿野役場～長沢 31
P1 ミューズパーク	西武秩父駅～ミューズパーク循環 32
Y1 緑古屋 Y2 長瀬 Y3 松枝	西武秩父駅～緑古屋・長瀬・松枝 32
KN K2 N2 花見の里	西武秩父駅～花見の里・久那循環 33
K1 K1 浦山常盤橋	西武秩父駅～浦山常盤橋 33
H1 和銅黒谷駅	西武秩父駅～和銅黒谷駅循環 33
T1 定峰 T2 定峰峠入口	西武秩父駅～定峰・定峰峠入口 34
T3 皆野駅	西武秩父駅～皆野駅 34
D1 吉田総合支所 D2 吉田元尻村	西武秩父駅～吉田総合支所・吉田元尻村 35
M4 三峯神社	西武秩父駅～三峯神社 36・37・38・39
M6 川又堤由中津川 M7 中津川	(西武秩父駅)三峰口駅～川又・中津川 36・37・38・39
M3 秩父駅 M5 大滝老人福祉センター	三峰口駅～秩父湖・大滝老人福祉センター 36・37・38・39
M2 川又線	36・37・38・39
● 秩父市営バス	K6 浦山線 40
● 皆野町営バス	H4 日野沢線・H5 金沢線 41・42
● 小鹿野町営バス	B1 白向大谷三峰口線・G12 白井差線・P2 西武秩父駅線 42・43
タクシー	秩父市東合タクシー 秩父地域タクシー事業者 44・45・46
鉄道時刻表	
西武鉄道	平日 62・63 土曜・休日 64・65
秩父鉄道	平日・土曜・休日 66・67 宝登山ロープウェイ 22

【お問い合わせ】 西武観光バス秩父営業所 0494-22-1635
西武観光バス運輸部乗合営業課 04-2995-8130

※天候、道路状況により遅延等が生じた場合、電車・バスに乗り継ぎができないことがありますので、ご了承ください。

出典：西武観光バス秩父営業所 2016 秩父地域ルートマップ

実施主体	那須町、運行事業者
実施時期	平成29年度～：詳細検討

目標3-2 公共交通利用啓発に向けた企画の実施	
評価指標	きっかけづくりの取り組み実施回数
現況値	0回（未実施・平成28年度）
目標値	通算8回以上（平成33年度） 【目標値の設定根拠】 ・平成30年度以降、年に2回以上の実施を想定している。

事業3-2 きっかけづくりイベントの実施

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通利用のきっかけづくりを行うため、「体験乗車会」や「バススタンプラリー」、「小学生による車内音声案内」や「車内絵画展」等を企画し、実施します。 <p>参考事例</p> <ul style="list-style-type: none"> 大田原市は、大田原市観光協会の協力を得ながら路線バスを利用して市内観光地を周遊するイベント「路線バスの旅 与一くんとめぐる大田原」を開催し、公共交通利用のきっかけづくりに貢献しています。
	    <p>出典：大田原市観光協会 web ページ</p>
実施主体	那須町、運行事業者、住民
実施時期	平成29年度～：詳細検討

目標3-3 公共交通活性化に向けた担い手づくり	
評価指標	住民協働スキームの構築
現況値	未実施（平成28年度）
目標値	実施（平成33年度）

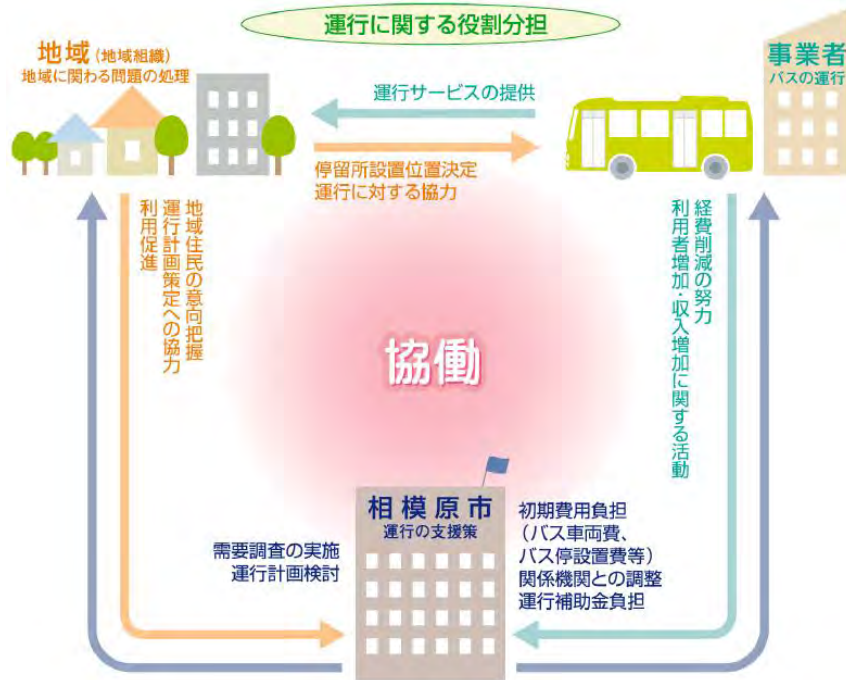
事業3-3 住民協働スキームの構築

• 地域のニーズに的確に対応した公共交通を構築していくため、これまでの行政が主体となる「陳情・要望対応型」から、町民・行政・事業者が共同で維持確保に努め責任を分担する「協働・責任分担型」への転換を図るため、行政・事業者だけではなく町民が容易に参画できるような住民協働スキームの構築し、公共交通活性化に向けた担い手づくりを目指します。

参考事例

• 神奈川県相模原市は、交通不便地区における高齢者など移動に制約のある人の生活交通を確保するため、コミュニティバスの導入を「地域住民」「交通事業者」「市」が三者協働で実施するスキームを構築し、それぞれの役割分担を明確化しています。地域住民は利用促進の役割を担い、利用促進活動を継続的に実施しています。

事業内容



- 【相模原市コミュニティバスせせらぎ号運行協議会の利用促進活動実績】
- ◆ のぼり旗の作製や自治会等による沿線施設、沿線地域全戸へのチラシ配布
 - ◆ バス車内での写真展等の実施
 - ◆ 沿線企業等の協賛金によるパンフレットの作成
 - ◆ 本格運行移行後の愛称募集
 - ◆ 協議会委員によるバスの利用実態調査
 - ◆ 情報提供のせせらぎ号通信、見ごろポスターの発行 等

出典：相模原市 web ページ

実施主体	那須町、運行事業者、住民
実施時期	平成29年度～：詳細検討

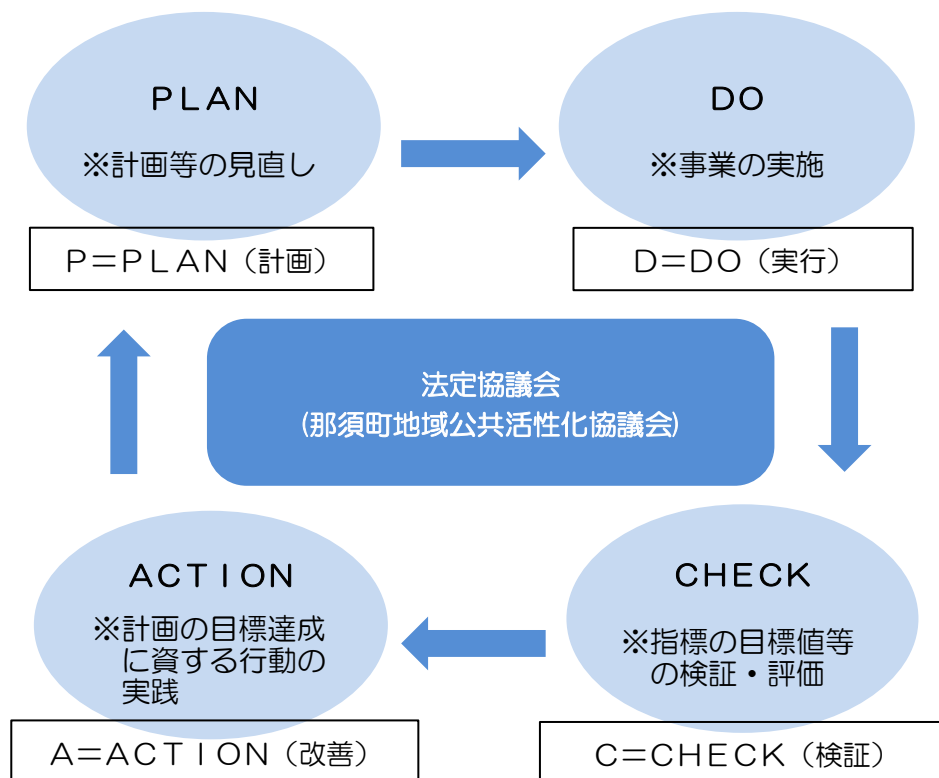
6.5 スケジュール

計画目標	事業	実施主体			実施スケジュール				
		那須町	交通事業者	住民	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
目標1:「くらしの足」として利用できる有機的な公共交通網の構築									
1-1	町内フィーダー交通の利便性向上	町民バス及びデマンド型乗合交通の改善	○	○		検討		順次実施	
1-2	デマンド型乗合交通の相乗り利用の促進	相乗り利用促進に向けた運賃制度の導入	○	○		検討		順次実施	
目標2: 町民だけでなく観光客も利用できる「おでかけの足(交流の足)」の確保									
2-1	交流促進に向けた公共交通ネットワーク機能の向上	「おでかけの足」となる路線の新設・既存路線の見直し	○	○		検討		順次実施	
2-2	乗り継ぎ抵抗軽減による公共交通の利便性向上	民間路線バス・那須町デマンド型乗合交通の乗り継ぎ割引券発行	○	○		検討		順次実施	
目標3: 利用の「きっかけづくり」による公共交通利用者数の増加									
3-1	情報提供による公共交通利用しやすさ向上	公共交通マップの作成と定期的な発行	○	○		検討		順次実施	
3-2	公共交通利用啓発に向けた企画の実施	きっかけづくりイベントの実施	○	○	○	検討		順次実施	
3-3	公共交通活性化に向けた担い手づくり	住民協働スキームの構築	○	○	○	検討		順次実施	

7. 進行管理

7.1 進行管理体制

計画の達成状況に関する評価は、法定協議会が、PDCAサイクルに則り、指標の目標値や事業の進捗状況を定期的に評価するものとします。また、地域の状況や社会情勢が変化した場合についても、計画を見直すなどの進行管理を行うものとします。



7.2 進行管理内容

①町の役割

施策・事業の進捗状況をモニタリングします。1年に1回程度、事業の進捗状況及び設定した指標の評価値を法定協議会に報告します。

②各事業主体の役割

町及び交通事業者等は、計画に示された事業を着実に実施するものとします。

③町民の役割

町民は公共交通の利用推進を行うものとします。

④公共交通の運行継続・見直しルール

路線バスについては、利用者数や収支率等による運行継続・見直し等の基準を設け、定期的に必要な見直しを行うものとします。

⑤法定協議会の役割

法定協議会では、町のモニタリング報告を受け、適切に事業が実施されているか、その成果が適正であるか等を検討し、今後の事業の進め方を助言します。また必要に応じて地域公共交通網形成計画を変更するものとします。